令和２年度

新居浜市の教育

令和２年度の計　画

令和元年度のあゆみ

新居浜市教育委員会

望ましき市民像

○　文化を尊重し、そのために貢献する創造的で教養ある市民

○　すべての人々を敬愛するとともに、真理と正義にたって行動する市民

○　科学精神を身につけ、生活の合理化を図り、勤労にいそしむ市民

○　健康明朗で強い精神力を持ち、情操豊かな市民

○　社会の改良、公共の福祉に参加して、郷土の発展に努める市民

（市の教育方針として昭和29年４月教育委員会が策定）

めざす都市像

第五次新居浜市長期総合計画では、将来都市像を「── あかがねのまち、笑顔輝く ──　産業・環境共生都市」と定め、次の４つの理念を基本にまちづくりを推進しています。

１　市民が安全・安心を実感できるまちづくり

２　市民、団体、事業者と行政が一体となったまちづくり

３　市民が郷土に誇りと愛着を持てるまちづくり

４　子どもたちの未来に責任が持てるまちづくり

目　　次

令和２年度の計画 …… 1

新居浜市教育大綱 …… 3
教育委員会の沿革 …… 4
教育長、教育委員、歴代教育委員 …… 8
教育委員会事務局組織図、職員数 …… 11
事務局事務分掌 …… 12
教育費歳出予算（目別、令和元年度・令和２年度当初予算） …… 14
年度別教育費歳出決算（目別、平成26～令和元年度） …… 15

社会教育課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業、別子ハイツ自然学習館 …… 16
2　社会教育委員名簿 …… 18
3　公民館等一覧表 …… 19
4　公民館事業計画 …… 20

青少年センター
1　重点目標、重点事項 …… 38
2　施設状況、地区別少年補導委員の状況 …… 39

生涯学習センター
1　重点目標、重点事項、施設状況 …… 40

高齢者生きがい創造学園
1　重点目標、重点事項、施設状況 …… 41

学校教育課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業 …… 42
2　新居浜市教育研究所の概要 …… 44
3　学校教育計画資料 …… 46
4　令和２年度児童・生徒・園児・教職員数 …… 48
5　学校等一覧 …… 52
6　放課後児童クラブ一覧表 …… 55
7　通学区域 …… 56
8　園児・児童・生徒数の推移（平成27年度～令和６年度） …… 58
9　中学校卒業者の進路状況 …… 59

発達支援課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業 …… 60
2　発達支援システムイメージ図 …… 62

学校給食課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、施設状況 …… 63
2　学校給食運営組織図 …… 65
3　新居浜市学校給食の推移 …… 66

スポーツ振興課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業……67
2　体育施設一覧表　……69

文化振興課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業……70
2　文化施設……72
3　国指定文化財、県指定文化財、市指定文化財、登録有形文化財……73
4　広瀬歴史記念館……76
5　総合文化施設（あかがねミュージアム）……77

図書館
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業、施設状況……78
2　蔵書冊数　……80

人権教育課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業……81

令和元年度のあゆみ……83

教育委員会の主な施策と実績……85
1　令和元年度決算額　……85
2　主な施設の建設及び環境整備事業……89

社会教育課の主な施策と実績……90
1　地域教育力向上プロジェクト推進事業……90
2　公民館施設環境整備事業……90
3　別子ハイツ自然学習館の利用状況……90
4　学校体育施設開放の利用状況……91
5　公民館事業報告　……92
新居浜公民館　……92
口屋跡記念公民館　……93
地域交流センター　……94
金栄公民館　……95
高津公民館　……96
浮島公民館　……97
惣開公民館　……98
若宮公民館　……99
垣生公民館　……100
神郷公民館　……101
多喜浜公民館　……102
大島交流センター……103
泉川公民館　……104
中萩公民館　……105
船木公民館　……106
大生院公民館　……107
角野公民館　……108
別子山公民館　……109

青少年センターの主な施策と実績 …… 110
1　運営協議会 …… 110
2　街頭補導 …… 110
3　相談活動 …… 110
4　関係機関・団体との連絡連携 …… 111
5　青少年善行表彰 …… 111
6　青少年健全育成の活動状況 …… 111

生涯学習センターの主な施策と実績 …… 112
1　生涯学習センター事業報告 …… 112
2　生涯学習大学の開設 …… 112

高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績 …… 113
1　高齢者生きがい創造学園事業報告 …… 113

学校教育課の主な施策と実績 …… 114
1　教職員研修の推進 …… 115
2　教育研究所の歩み …… 117
3　適応指導教室（あすなろ教室）の歩み …… 118
4　教育における国際化への対応 …… 118
5　中学生による国際交流事業 …… 119
6　放課後関連事業 …… 121
7　奨学金等 …… 122
8　新居浜市寺尾音楽教育振興基金 …… 124
9　新居浜市工藤交通災害遺児修学基金 …… 125
10　就学援助費 …… 125
11　特別支援教育就学奨励費 …… 126
12　幼稚園就園奨励事業 …… 126
13　私学助成 …… 127
14　学校保健 …… 127
15　学校体育活動の推進 …… 129
16　人権・同和教育実践の状況 …… 129

発達支援課の主な施策と実績 …… 131
1　特別支援教育支援員の配置状況 …… 131
2　教育支援委員会の開催状況 …… 131
3　新居浜市地域発達支援協議会の開催状況 …… 132
4　総合相談の実施状況 …… 132
5　巡回相談の実施状況 …… 133
6　保育ステップアップ講座（園内研修支援事業）の実施状況 …… 133
7　聴覚障がい児相談事業の実施状況 …… 133
8　発達検査の実施状況 …… 134
9　早期療育通園事業（親子通園事業）の実施状況 …… 134
10　５歳児発音検査の実施状況 …… 134
11　ペアレントトレーニングの実施状況 …… 134
12　研修会等の開催状況 …… 135
13　自閉症・情緒障がい学級通学費補助の状況 …… 136
14　私立幼稚園等特別支援教育事業費補助の状況 …… 136

学校給食課の主な施策と実績 …… 137
1　学校給食の意義 …… 137
2　学校給食の運営等 …… 137
3　学校給食の充実等 …… 137
4　主な行事等 …… 137
5　給食の状況 …… 137

スポーツ振興課の主な施策と実績 …… 138
1　市民体育・スポーツの振興 …… 138
2　市民体育振興事業 …… 138
3　競技力向上事業 …… 138
4　講習会・研修会事業 …… 138
5　野外活動施設整備と運営 …… 139
6　体育施設の充実 …… 139
7　体育施設建設基金 …… 139
8　総合型地域スポーツクラブ設立 …… 139
9　体育施設年度別利用状況 …… 139
10　令和元年度体育施設月別利用状況 …… 140

文化振興課の主な施策と実績 …… 142
1　芸術文化活動 …… 142
2　文化財・郷土資料の保存活用 …… 142
3　文化施設の充実 …… 142
4　文化振興基金 …… 142
5　（公財）新居浜市文化体育振興事業団 …… 142
6　文化施設年度別利用状況 …… 143
7　令和元年度月別利用状況（市民文化センター・ふるさと館） …… 144

広瀬歴史記念館の主な施策と実績 …… 146
1　展示内容等 …… 146
2　資料の収集状況 …… 146
3　令和元年度事業実績 …… 146
4　令和元年度月別観覧者内訳 …… 146

総合文化施設（あかがねミュージアム）の主な施策と実績 …… 147
1　月別入館者数 …… 147
2　令和元年度美術館展覧会開催実績 …… 147
3　令和元年度の主なイベント …… 148
4　教育普及事業、ワークショップ …… 149
5　新居浜市美術品購入基金 …… 149

図書館の主な施策と実績 …… 150
1　図書館の利用状況 …… 150
2　主な事業 …… 151

令和２年度の計画

新　居　浜　市　教　育　大　綱

～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

施策	望ましい姿	基本計画
１学習活動の充実	誰もが学べる環境をつくります	１　生涯学習機会の内容充実 ２　生涯学習関連施設・機能の充実 ３　高等教育機関との連携充実 ４　図書館機能の充実
２地域づくりの推進	住民主体の地域づくりを推進します	１　地域課題を解決する住民活動の推進 ２　地域を担う人材の育成 ３　郷土愛を育むための活動の推進
３家庭、地域の教育力の向上	社会全体で子どもを育てる体制をつくります	１　子育て世代に対する家庭教育の充実 ２　学社融合の推進 ３　青少年健全育成の推進
４学校教育の充実	生きる力を育みます	１　地域に開かれた特色ある学校づくり ２　社会変化に対応した多様な教育の推進 ３　児童・生徒の健全育成 ４　教育施設・教育環境の整備充実 ５　幼児教育の推進
５特別支援教育の充実	個々に適した支援を行います	１　早期からの教育相談・支援の充実 ２　特別支援教育の充実・体制の整備 ３　地域生活における自立に向けた支援体制の整備
６芸術文化の振興	芸術文化の香りを未来に伝えます	１　芸術文化活動の推進 ２　芸術文化施設の整備・充実 ３　文化財の保護と活用
７スポーツの振興と競技力の向上	いつでもどこでも誰でもスポーツを楽しむことができます	１　社会体育の推進 ２　競技スポーツの振興 ３　施設環境の整備
８近代化産業遺産の保存・活用の充実	生きた博物館都市を目指します	１　別子銅山の近代化に携わった人々に学び、伝承・発信を促進 ２　別子銅山近代化産業遺産のネットワークの促進 ３　別子銅山近代化産業遺産の保存・整備の推進 ４　あかがね基金の育成 ５　多喜浜塩田文化の保存・継承
９人権の尊重	人権尊重のまちづくりを推進します	１　社会における人権・同和教育及び啓発の推進 ２　学校における人権・同和教育の推進 ３　人権擁護体制の充実

教　育　委　員　会　の　沿　革

昭和27年 4月　市庁舎落成
8月　「義務教育費国庫負担法」 公布
11月　新居浜市教育委員会設置　新居浜市教育委員会事務局設置
28年 5月　神郷村・垣生村・多喜浜村・大島村合併
7月　「青少年問題協議会設置法」 公布
12月　市営野球場設置
29年 6月　「へき地教育振興法」 「学校給食法」 公布
30年 3月　泉川町・中萩町・船木村・大生院村合併
泉川公民館・船木公民館設置
4月　社会教育委員会設置
6月　青年学級開校
31年 2月　大島公民館・惣開公民館設置
3月　「就学奨励援助法」 公布
6月　「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」 公布
7月　「文化財保護条例」 制定
12月　「幼稚園設置基準」 告示　多喜浜公民館設置
32年 6月　川東支所開所
33年 4月　神郷公民館・高津公民館設置　教育研究所設置
「義務教育学校施設費国庫負担法」 「学校保健法」 公布
5月　「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」 公布
34年 4月　郷土館設置　角野町合併　王子幼稚園・神郷幼稚園設置
12月　「日本学校安全会法」 公布
35年 4月　市立商業高等学校設置
10月　上部支所開所
36年 6月　「スポーツ振興法」 公布
9月　大島地域・離島振興法適用
10月　中学校全国一斉学力テスト実施
37年 3月　「教科書無償法」 公布
11月　市民文化センター設置　中央公民館設置
39年 1月　東予新産業都市指定
4月　記念会館設置　重量挙練習場設置　弓道場設置　武徳殿設置
「奨学資金貸付基金条例」 制定
7月　青少年問題協議会設置　少年補導センター設置
40年 5月　勤労青少年ホーム設置
42年 3月　市樹クスノキ　市花ツツジ 制定
44年 7月　「同和対策事業特別措置法」 公布
45年 4月　「入学準備金貸付基金条例」 制定
10月　第１回市民体育祭開催 （以後毎年開催）　口屋跡記念公民館設置
12月　山根市民グラウンド設置
46年 5月　「義務教育教員給与特別措置法」 公布
7月　第１回憲法を暮らしに生かす市民の集い開催
10月　テニスコート設置
12月　「特別奨学基金条例」 制定　スポーツ振興審議会設置
47年 4月　川東中学校開校 （神郷中・垣生中・多喜浜中・大島中統合）
市民プール開設　体育施設建設基金設置　第一次長期総合計画策定
6月　社会教育指導員設置
11月　市民憲章 制定
48年 4月　桃山学院短期大学開校　別子銅山休山
49年 2月　「教員人材確保法」 公布
5月　市立学校体育施設開放
8月　市民福祉会館設置
50年 4月　金子公民館設置　心身障害児就学指導委員会設置
7月　「私立学校振興助成法」 公布
8月　市立商業高校夏の高校野球で準優勝

51年 3月　泉川公民館新築
9月　身体障害者福祉センター設置
12月　「青野記念奨学基金条例」 制定
52年 7月　市民体育館設置
54年 2月　中央児童センター設置
6月　滝の宮トリム公園設置　角野公民館新築
55年 3月　新庁舎落成　惣開公民館・船木公民館新築
4月　第二次長期総合計画策定　生徒指導推進事務局設置　新設校推進臨時事務局設置
10月　郷土美術館設置
56年 3月　大島公民館新築
4月　金栄公民館設置
57年 4月　豊かな心を育てる施策推進モデル指定　若宮公民館・浮島公民館設置
58年 4月　新居浜公民館設置
59年 4月　青少年健全育成推進事務局設置
12月　美術館建設推進臨時事務局設置
60年 3月　新居浜市文化振興基金条例制定
東中・中萩小・船木小校舎増改築
中萩中プール増改築
6月　市営野球場改築
61年 2月　重量挙練習場改築　中萩小プール増改築
3月　神郷公民館新築　生徒指導推進事務局廃止
8月　財団法人新居浜市文化体育振興事業団設立
62年 1月　中学校柔剣道場新築 （～元年度）
2月　新居浜小学校改築　東中体育館増改築
3月　山根総合体育館設置　多喜浜公民館増改築
63年 3月　船木中・泉川中・北中校舎改築　宮西小プール増改築
10月　山根屋内プール完成
11月　銅山の里自然の家新築
平成元年 1月　角野中校舎増築
3月　若宮小校舎改築　南中体育館増改築
10月　「寺尾音楽教育振興基金条例」 制定
２年 2月　部室整備 （中萩中・大生院中）　大生院中体育館増改築
3月　プール増改築 （新居浜小・惣開小）　垣生公民館新築
桃山学院短期大学閉校　市立商業高校県立移管
4月　第三次長期総合計画策定
３年 3月　船木中体育館増改築　泉川中体育館、屋上プール増新築
部室整備 （船木中・泉川中）　中萩公民館増改築　大島教育集会所新築
4月　生涯学習センター設置
12月　パソコン教室設置（西・南・北中）
４年 2月　川東中部室整備
3月　金栄小体育館増改築　金子小プール増改築　口屋跡記念公民館改修
銅山の里自然の家集会所棟新築　別子銅山記念図書館住友より寄贈
4月　広瀬記念邸設置
５年 3月　大生院公民館増改築　文化振興会館新築
北中プール増改築　北中部室整備
パソコン教室設置（川東・東・船木・泉川・角野・中萩・大生院中）
4月　高齢者生きがい創造学園設置
６年 3月　部室整備（東中・西中・南中・角野中）
高津小プール増改築
７年 3月　高津公民館増改築
多喜浜小屋内運動場改築
泉川小プール増改築
船木小運動場造成
9月　小学校パソコン教室設置
８年 3月　若宮小プール改築
川東中屋内運動場大規模改造

９年 3月　広瀬歴史記念館完成
神郷小屋内運動場大規模改造
大島小プール新築
9月　生涯学習都市宣言制定
10年 2月　高津小北校舎大規模改造
10月　東中完全給食開始
11年 1月　心の教室整備（東中）
7月　市営サッカー場（グリーンフィールド新居浜）　完成
8月　心の教室整備（中萩中、川東中）
10月　泉幸吉文庫開設（別子銅山記念図書館）
12年 3月　西中北校舎棟改築
男女共同参画都市宣言制定
4月　地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律　（地方分権一括法）　施行
9月　心の教室整備（北中、泉川中）
13年 3月　学校給食センター完成
4月　西・南・北・船木・泉川・角野・中萩・川東中学校完全給食実施
船木小学校わかば分教室開設
船木中学校ひびき分校開校
6月　第四次長期総合計画策定
10月　心の教室整備（南中・角野中）
11月　西中南校舎棟外改築
14年 4月　学校週５日制の完全実施
15年 1月　心の教室整備（船木中・大生院中）
3月　垣生小学校プール改築
4月　別子山村との合併により別子小学校、別子中学校、教職員住宅、別子山公民館、別子山ふるさと館、別子山市民プール、別子山市民グラウンドが加わる
総務課を廃止、同課の業務を社会教育課と学校教育課に移管
同和教育課を廃止、同課の業務と大島教育集会所を人権擁護課に移管
生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園を市民活動推進課に移管
多喜浜体育館（旧勤労者体育センター）を商工観光課から体育文化課に移管
新設校推進臨時事務局廃止
視聴覚ライブラリー廃止
教職員住宅保土野寮Ｂ棟焼失
6月　旧広瀬家住宅が国の重要文化財に指定
7月　泉川公民館新築
16年　台風の被害、避難所の設置
3月　武徳殿　国の登録有形文化財登録
17年 1月　子ども見守り隊結成
3月　角野小学校プール改築
18年　耐震補強工事
（角野小・宮西小・高津小・若宮小・泉川小・惣開小・中萩小・浮島小）　体育館
3月　新居浜市伝える力を育てる教育特区（英語で話そう科・表現科）認定
9月　新居浜市こども夢未来基金創設
19年　耐震補強工事の実施（金子小・大生院小・西中・川東中）　体育館
（船木小・金子小・泉川小・中萩中）　校舎
20年　耐震補強工事の実施（金栄小・中萩小・高津小・垣生小・東中）　校舎
4月　発達支援準備室設置
新居浜・西条地区広域市町村圏事務組合の解散により、同組合の施設　「別子ハイツ自然学習館」　が新居浜市に帰属
地域主導型公民館へ移行（金子・惣開・若宮・泉川公民館）
21年　耐震補強工事の実施（角野小・神郷小・大生院小・惣開小・角野中・船木中・泉川中）校舎
4月　発達支援課設置
地域主導型公民館へ移行（新居浜・金栄公民館）
22年　大規模改造工事の実施　（神郷小・中萩小・角野小・別子小中・川東中）　校舎
太陽光発電設備設置工事　（新居浜小外26校）

4月	新居浜市地域交流センター設置　（金子公民館廃止）
	地域主導型公民館へ移行　（口屋跡記念・高津・浮島・垣生・神郷・多喜浜・船木・大生院公民館）
10月	こども発達支援センター開所
23年 3月	北中学校体育館改築
4月	生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園が市民活動推進課から移管
	放課後児童健全育成事業が児童福祉課から移管
	地域主導型公民館へ移行　（中萩・角野公民館）
	第五次長期総合計画策定
	体育文化課を廃止、スポーツ文化課設置
	耐震補強工事　（多喜浜小・北中・角野中）　校舎
24年 3月	新居浜市神郷学習館及び垣生学習館を廃止
	大規模改造工事の実施　（角野小）　校舎
	耐震補強工事の実施　（宮西小・浮島小・南中）　校舎
25年	アセットマネジメントにより、公民館施設環境整備事業で、公民館の外壁塗装　（惣開・若宮・大生院公民館）、公民館の屋上防水（神郷・大生院公民館体育館）等を実施
	金栄小学校プール建設
	多喜浜体育館防水外壁改修
3月	神郷公民館駐車場を拡張
10月	市内小学校14校（新居浜小・金子小・金栄小・高津小・浮島小・惣開小・若宮小・垣生小・神郷小・多喜浜小・船木小・中萩小・大生院小・角野小）と市内中学校３校（東中・船木中・南中）がユネスコスクールに認定
27年 3月	市内小学校２校（宮西小・泉川小）と市内中学校７校（西中・北中・泉川中・中萩中・大生院中・角野中・川東中）がユネスコスクールに認定
4月	大島小学校（廃校）を利用して大島交流センターを新設　（大島公民館は廃止）
	学校図書館支援センターを学校教育課内に設置
5月	多喜浜公民館耐震補強及び大規模改修
7月	新居浜市総合文化施設・美術館開館
	口屋跡記念公民館耐震補強及び大規模改修
9月	国連で17の目標として「持続可能な開発目標(SDGs)」が示される
11月	多目的ホール天井落下対策工事（新居浜小・西中）
28年 3月	新居浜市立郷土美術館閉館
	体育館天井落下対策工事（金栄小・泉川中）
5月	市民体育館耐震補強工事
8月	武道場屋根改修工事（北中・西中・川東中・南中・泉川中・角野中・中萩中）
9月	市営サッカー場アップ場増設
	小中学校体育館照明落下対策工事（新居浜小　外15校）
29年 3月	東雲市民プール幼児用プール増設
	長寿命化改修工事（泉川小）南校舎
4月	スポーツ文化課をスポーツ振興課と文化振興課に分課
	別子小中学校がユネスコスクールに認定され、市内の全小中学校がユネスコスクールに
5月	角野公民館耐震補強工事
12月	大生院小学校プール改築
30年 2月	旧広瀬氏庭園が国の名勝に指定
3月	別子中学校寄宿舎　落成
4月	若宮小学校（閉校）を利用して生涯学習センター若宮学習館を新設
10月	銅山の里自然の家　廃止
31年 2月	銅山峰のツガザクラ群落が国の天然記念物に指定
3月	川東中学校・南中学校・金栄小学校・金子小学校・高津小学校がコミュニティスクールに指定され、市内の全小中学校がコミュニティスクールに
令和元年 6月	重量挙げ練習場 移転 改築
	おもいやり駐車場 整備（新居浜・口屋跡記念・高津・浮島・惣開・若宮・垣生・神郷・泉川・中萩・角野公民館）
12月	小中学校へのエアコン導入開始
２年 4月	人権教育課を新設（市民環境部人権擁護課の業務を併任）

教　育　長

職　名	氏　名	就任年月日	備　考
教　育　長	高　橋　良　光	平成31年　4月　1日	

教　育　委　員

職　名	氏　名	就任年月日	備　考
教育委員	近　藤　智　佳	平成29年　6月27日	
教育委員	本　田　郁　代	平成30年　4月　1日	
教育委員	尾　藤　一　彦	平成30年12月24日	
教育委員	大　橋　勝　英	令和元年12月24日	

歴　代　教　育　委　員

公選された教育委員

氏　名	就任年月日	離任年月日	備　考
小　野　基　道	昭和　27年11月　1日	昭和　31年　9月30日	初代教育委員長
大　場　英　雄	〃　27年11月　1日	〃　31年　9月30日	二、三代教育委員長
村　上　精　逸	〃　27年11月　1日	〃　31年　9月30日	四代教育委員長
加　藤　長　次	〃　27年11月　1日	〃　30年　4月22日	
青　野　重　馬	〃　27年11月　1日	〃　30年　4月22日	議会選出
黒　川　　晋	〃　30年　5月　2日	〃　31年　9月30日	
高須賀　佐太郎	〃　30年　5月　2日	〃　31年　9月30日	議会選出

任命された教育委員

氏　名	就任年月日	離任年月日	備　考
大　場　英　雄	昭和　31年10月　1日	昭和　32年　9月30日	五代教育委員長
久　門　英　雄	〃　31年10月　1日	〃　33年　9月30日	六代教育委員長
黒　川　　晋	〃　31年10月　1日	〃　34年　9月30日	七代教育委員長
三　浦　義　一	〃　31年10月　1日	〃　35年　9月30日	八代教育委員長
加　藤　　実	〃　31年10月　1日	〃　35年　9月30日	教育長を兼ねる
三　野　　担	〃　32年10月　1日	〃　34年　4月　3日	
高　橋　玉　置	〃　33年10月　1日	〃　37年　9月30日	九代教育委員長
永　井　伊三郎	〃　34年　5月30日	〃　36年　9月30日	
山　下　桂太郎	〃　34年10月　8日	〃　38年10月　7日	十代教育委員長
久　米　　申	〃　35年10月　1日	〃　38年12月13日	十一代教育委員長
加　藤　　実	〃　35年10月　1日	〃　39年　9月30日	教育長を兼ねる
亀　井　清太郎	〃　36年10月30日	〃　40年10月29日	十二代教育委員長
神　野　一　郎	〃　37年10月12日	〃　41年10月11日	十三、四代教育委員
山　下　桂太郎	〃　38年10月　8日	〃　42年10月　7日	十六代教育委員長
岡　本　悦　良	〃　39年　3月25日	〃　39年　9月30日	
岡　本　悦　良	〃　39年10月　1日	〃　43年　9月30日	十五、七代教育委員
岡　　虎　義	〃　40年12月　4日	〃　44年12月　3日	
神　野　一　郎	〃　41年10月12日	〃　45年　6月13日	十八代教育委員長
栗　原　利得喜	〃　42年　4月　1日	〃　46年　3月31日	教育長を兼ねる
藤　田　秀　朋	〃　42年12月22日	〃　46年12月21日	十九代教育委員長
近　藤　続　行	〃　43年12月22日	〃　47年　2月21日	
斉　藤　　一	〃　45年　7月　4日	〃　49年　7月　3日	二十、二十一代教育委員長
岡　　虎　義	〃　45年　7月　4日	〃　45年10月11日	
岡　　虎　義	〃　45年12月21日	〃　49年12月20日	二十二代教育委員長
村　上　哲　亮	〃　46年　8月　1日	〃　50年　7月31日	教育長を兼ねる
藤　田　秀　朋	〃　46年12月24日	〃　50年12月23日	二十三代教育委員長
神　野　忠　利	〃　48年　4月　2日	〃　52年　4月　1日	二十四代教育委員長
藤　田　図南夫	〃　49年12月24日	〃　53年12月23日	二十五代教育委員長
藤　田　秀　朋	〃　50年12月24日	〃　54年12月23日	二十六代教育委員長

氏　名	就任年月日	離任年月日	備　考
村上哲亮	昭和　51年 3月18日	昭和　55年 3月17日	教育長を兼ねる
神野忠利	〃　52年 4月 2日	〃　56年 4月 1日	二十七代教育委員長
堀越和衛	〃　54年12月24日	〃　58年12月24日	二十八代教育委員長
印南忠一	〃　54年12月24日	〃　58年12月23日	二十九代教育委員長
坂口勲	〃　54年12月24日	〃　58年12月23日	三十代教育委員長
伊達孝	〃　55年 3月26日	〃　59年 3月25日	教育長を兼ねる
大西博臣	〃　56年 6月 6日	〃　60年 6月 5日	三十一代教育委員長
堀越和衛	〃　57年12月24日	〃　61年12月23日	三十二代教育委員長
印南忠一	〃　58年12月24日	〃　62年12月23日	三十三代教育委員長
坂口勲	〃　58年12月24日	〃　62年12月23日	三十四代教育委員長
伊達孝	〃　59年 3月26日	〃　63年 3月25日	教育長を兼ねる
篠原利光	〃　60年 6月 6日	平成　元年 6月 5日	三十五代教育委員長
守谷照男	〃　61年12月24日	〃　2年12月23日	三十六代教育委員長
千葉文政	〃　62年12月24日	〃　3年12月23日	三十七代教育委員長
田坂冨美子	〃　62年12月24日	〃　3年12月23日	三十八代教育委員長
伊達孝	〃　63年 3月26日	〃　4年 3月25日	教育長を兼ねる
篠原利光	平成　元年 6月27日	〃　5年 6月26日	三十九代教育委員長
真鍋栄	〃　2年12月24日	〃　6年12月23日	四十代教育委員長
天野征郎	〃　3年12月24日	〃　7年12月23日	四十一代教育委員長
田坂冨美子	〃　3年12月24日	〃　7年12月23日	四十二代教育委員長
渡邉健	〃　4年 4月 1日	〃　8年 3月31日	教育長を兼ねる
近藤求	〃　5年 6月27日	〃　9年 6月26日	四十三代教育委員長
千葉昭夫	〃　6年12月24日	〃　10年12月23日	四十四代教育委員長
千葉陽三	〃　7年12月24日	〃　11年12月23日	四十五代教育委員長
小野トヨミ	〃　7年12月24日	〃　11年12月23日	四十六代教育委員長
西原洋昴	〃　8年 4月 1日	〃　12年 3月31日	教育長を兼ねる
一色康範	〃　9年 6月27日	〃　13年 6月26日	四十七代教育委員長
加藤信一	〃　10年12月24日	〃　14年12月23日	四十八代教育委員長
千葉陽三	〃　11年12月24日	〃　15年12月23日	四十九代教育委員長
小野トヨミ	〃　11年12月24日	〃　15年12月23日	五十代教育委員長
西原洋昴	〃　12年 4月 1日	〃　14年 3月31日	教育長を兼ねる
栗田敬子	〃　13年 6月27日	〃　17年 6月26日	五十一代教育委員長
阿部義澄	〃　14年 4月 1日	〃　16年 3月31日	教育長を兼ねる
小野正師	〃　14年12月24日	〃　18年12月23日	五十二代教育委員長
宇野征一	〃　15年12月24日	〃　19年12月23日	五十三代教育委員長
太田恵理子	〃　15年12月24日	〃　19年12月23日	五十四代教育委員長
阿部義澄	〃　16年 4月 1日	〃　20年 3月31日	教育長を兼ねる
栗田敬子	〃　17年 6月27日	〃　21年 6月26日	五十五代教育委員長
小野正師	〃　18年12月24日	〃　22年12月23日	五十六代教育委員長
宇野征一	〃　19年12月24日	〃　23年12月23日	五十七代教育委員長
太田恵理子	〃　19年12月24日	〃　23年12月23日	五十八代教育委員長
阿部義澄	〃　20年 4月 1日	〃　24年 3月31日	教育長を兼ねる
三木由紀子	〃　21年 6月27日	〃　25年 6月26日	五十九代教育委員長
伊藤嘉秀	〃　22年12月24日	〃　26年12月23日	六十代教育委員長
宮内文久	〃　23年12月24日	〃　27年12月23日	六十一代教育委員長
長野美和子	〃　23年12月24日	〃　27年12月23日	六十二代教育委員長
阿部義澄	〃　24年 4月 1日	〃　28年 3月31日	教育長を兼ねる
三木由紀子	〃　25年 6月27日	〃　29年 6月26日	六十三代教育委員長
長野美和子	〃　27年12月24日	〃　30年 3月31日	
伊藤嘉秀	〃　26年12月24日	〃　30年12月23日	
宮内文久	〃　27年12月24日	令和　元年12月23日	
近藤智佳	〃　29年 6月27日		
本田郁代	〃　30年 4月 1日		
尾藤一彦	〃　30年12月24日		
大橋勝英	令和　元年12月24日		

教育長任期変更（4年→3年）後の歴代教育長

氏　　名	就任年月日	離任年月日	備　　考
関　　福　生	平成28年 4月 1日	平成31年 3月31日	
高　橋　良　光	平成31年 4月 1日		

組　　織　　図

（令和２年５月１日 現在）

- 教育長
  - 事務局長
    - 事務部局
      - 社会教育課 ― 教育総務係・社会教育係
      - 学校教育課 ― 管理係・学務係・指導係
        地域学校協働係
      - 発達支援課 ― 発達支援係
      - スポーツ振興課 ― 競技力向上係・生涯スポーツ係
      - 文化振興課 ― 文化政策係・文化財係
      - 学校給食課 ― 給食係
      - 人権教育課 ― 人権教育係・啓発推進係
      - 別子銅山記念図書館 ― 司書係・管理係・相談係
      - 広瀬歴史記念館 ― 管理係
      - 青少年センター
      - 生涯学習センター
      - 高齢者生きがい創造学園
      - 美術館 ― 学芸係
      - 公民館（16館）
      - 交流センター（２館）
      - 幼稚園（２園）
      - 小学校（16校）
      - 中学校（12校のうち分校１校）
      - 学校給食センター
      - 高津共同調理場
      - 教育研究所
      - 体育施設（17施設）
      - 文化施設（２施設）
      - 別子ハイツ自然学習館

職　　員　　数

（令和２年５月１日 現在）

	定数	現員
事務部局	109	92

	課所別	職員	フルタイム職員	パートタイム職員	短時間再任用職員	計
事務部局	社会教育課	9	1			10
	学校教育課	19		92		111
	発達支援課	7	2	23		32
	スポーツ振興課	5		2		7
	文化振興課	4		1	1	6
	学校給食課	3	1			4
	人権教育課	4	1	8	1	14
	別子銅山記念図書館	7	9	3		19
	広瀬歴史記念館	2		4		6
	青少年センター		2			2
	生涯学習センター・高齢者生きがい創造学園		2	8		10
	美術館	4		4		8
	公民館	1		62		63
	交流センター			8		8
	幼稚園	5	1	5	1	12
	小学校（県費教職員を除く。）	19	7	175		201
	中学校（県費教職員を除く。）			88		88
	学校給食センター			38		38
	高津共同調理場	3	1	12		16
	教育研究所			3		3
	計	92	27	536	3	658

事　務　局　事　務　分　掌

課	事　　務
社会教育課	教育委員会の会議及び庶務に関すること。 教育長及び教育委員会委員の報酬、費用弁償、請求、支払、儀式及び交際に関すること。 職員(県費負担教職員を除く)の任免、給与、分限、褒賞、懲戒、服務、福利及び厚生並びに定数配置に関すること。 公印の管守に関すること。 教育委員会の規則及び規程の制定及び改廃並びに規則の公布に関すること。 情報公開の調整に関すること。 個人情報保護の調整に関すること。 事務局の庶務に関すること。 予算経理の指導助言に関すること。 社会教育施設の設置及び廃止に関すること。 社会教育施設の管理、営繕及び保全に関すること。 社会教育委員会の庶務に関すること。 成人教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 社会教育指導者の育成及び社会教育関係団体の育成指導に関すること。 公民館、交流センター、生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園、図書館、別子ハイツ自然学習館及び青少年センターに関すること。 青少年健全育成の推進に関すること。 青少年団体指導者の育成に関すること。 家庭教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 学校及び生涯学習センター若宮学習館の体育施設開放の事務及び運営指導に関すること。 学校及び生涯学習センター若宮学習館の体育施設開放に伴う使用許可及び使用料収納に関すること。
学校教育課	学校及び幼稚園の設置及び廃止に関すること。 学校敷地及び建物の設置及び変更に関すること。 学校施設及び幼稚園施設の管理、営繕及び保安に関すること。 学校及び幼稚園の管理運営の指導に関すること。 学校休業日の決定に関すること。 学校行事等の調整、指導及び承認に関すること。 教育団体関係事務に関すること。 児童・生徒の就学事務に関すること。 通学区域の設定変更事務に関すること。 学級編成関係事務に関すること。 教科書関係事務に関すること。 県費負担教職員の人事、給与、福利及び厚生事務に関すること。 就学援助事務に関すること。 奨学資金事務に関すること。 教育課程及び教育内容の編成に関すること。 教科用図書の採択に関すること。 学校及び幼稚園の教育指導に関すること。 教員の現職教育研修に関すること。 児童・生徒活動の指導に関すること。 教育研究所事務に関すること。 中学生等の国際交流に関すること。 児童・生徒の生活指導に関すること。 学校体育に関すること。 就学時の健康診断事務に関すること。 児童・生徒及び学校職員の健康診断事務に関すること。 学校保健に関すること。 学校安全に関すること。 放課後児童健全育成事業等の実施に関すること。 地域、学校及び家庭の協働及び連携に関すること。 共同調理場の建設に関すること。

課	事　　務
スポーツ振興課	体育施設の設置及び廃止に関すること。 体育施設の管理、営繕及び保安に関すること。 市民スポーツの振興に関すること。 スポーツ推進審議会の庶務に関すること。 スポーツ推進委員に関すること。 スポーツの指導者等の養成及び資質の向上並びにその活用に関すること。 体育及びスポーツの行事の企画、運営及び指導に関すること。 市民体育関係団体の育成に関すること。 体育施設の使用許可及び使用料収納に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。
文化振興課	文化施設の設置及び廃止に関すること。 文化施設の管理、営繕及び保安に関すること。 芸術文化の振興に関すること。 文化財保護委員会の庶務に関すること。 文化財の保存活用に関すること。 新居浜市美術館及び広瀬歴史記念館に関すること。 文化施設の使用許可及び使用料収納に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 公益財団法人新居浜市文化体育振興事業団に関すること。
学校給食課	学校給食に関すること。 共同調理場に関すること。
発達支援課	特別支援教育に関すること。 発達支援に関すること。
人権教育課	人権教育の計画、運営及び指導に関すること。 人権教育に係る資料の作成並びに教材及び教具の整備に関すること。 人権教育講座、研修等の開設、運営及び指導に関すること。 地域改善対策奨学金事務に関すること。 人権教育研究協議会等関係団体との連絡調整に関すること。

教育費歳出予算（目別、令和元年度・令和２年度当初予算）

※福祉部分含む（単位：千円）

区分	令和元年度 当初予算		令和２年度 当初予算		前年度比較
費目	金額	構成比	金額	構成比	
教育総務費	991,694	21.1%	1,380,145	27.7%	139.2%
教育委員会費	6,425	0.1%	6,459	0.1%	100.5%
事務局費	474,473	10.1%	572,806	11.5%	120.7%
諸費	510,796	10.9%	800,880	16.1%	156.8%
小学校費	714,772	15.2%	771,221	15.5%	107.9%
学校管理費	465,168	9.9%	542,155	10.9%	116.6%
教育振興費	249,604	5.3%	229,066	4.6%	91.8%
学校建設費	－	－	－	－	－
中学校費	455,869	9.7%	432,102	8.6%	94.8%
学校管理費	324,934	6.9%	344,926	6.9%	106.2%
教育振興費	130,935	2.8%	87,176	1.7%	66.6%
学校建設費	－	－	－	－	－
幼稚園費	181,796	3.9%	429,047	8.6%	236.0%
幼稚園費	181,796	3.9%	429,047	8.6%	236.0%
社会教育費	821,922	17.5%	978,051	19.5%	119.0%
社会教育総務費	255,239	5.4%	213,319	4.3%	83.6%
公民館費	216,451	4.6%	321,057	6.4%	148.3%
図書館費	92,385	2.0%	101,694	2.0%	110.1%
青少年教育費	226	0.0%	230	0.0%	101.8%
青少年センター費	3,770	0.1%	4,881	0.1%	129.5%
広瀬歴史記念館費	38,054	0.8%	75,730	1.5%	199.0%
総合文化施設費	215,797	4.6%	261,140	5.2%	121.0%
美術品購入基金費	－	－	－	－	－
保健体育費	1,536,663	32.7%	998,674	20.1%	65.0%
保健体育総務費	59,864	1.3%	73,181	1.5%	122.2%
保健体育施設管理費	－	－	－	－	－
体育施設費	812,849	17.3%	342,710	6.9%	42.2%
学校給食費	663,950	14.1%	582,783	11.7%	87.8%
合計	4,702,716	100%	4,989,240	100%	106.1%
一般会計総額	49,259,096		50,515,190		102.5%
教育費の割合	9.5%		9.9%		0.4P

放課後児童対策費（民生費　児童福祉費　児童福祉総務費）157,111 千円

高齢者生きがい創造学園講座事業費（介護保険事業特別会計　地域支援事業費　一般介護予防事業費）8,869 千円

年度別教育費歳出決算（目別、平成２６～令和元年度）

（単位：千円）

費目＼年度	２６年度	２７年度	２８年度	２９年度	３０年度	元年度
教育総務費	925,950	820,190	907,040	898,526	856,428	1,003,363
教育委員会費	6,355	6,614	6,300	6,297	6,303	6,266
事務局費	401,945	451,324	458,097	464,648	457,617	479,776
諸費	517,650	362,252	442,643	427,581	392,508	517,321
小学校費	641,832	632,369	1,406,237	824,868	660,552	1,568,624
学校管理費	406,769	378,597	377,209	438,972	406,475	436,869
教育振興費	173,584	210,302	215,470	228,380	226,276	221,719
学校建設費	61,479	43,470	813,558	157,516	27,801	910,036
中学校費	349,654	448,644	467,931	634,784	399,272	1,073,812
学校管理費	217,698	220,626	217,216	237,737	266,390	274,477
教育振興費	81,800	97,655	116,130	116,394	114,836	118,076
学校建設費	50,156	130,363	134,585	280,653	18,046	681,259
幼稚園費	109,034	154,444	161,509	182,565	186,417	224,244
幼稚園費	109,034	154,444	161,509	182,565 （うち32,805は福祉部）	186,417 （うち42,251は福祉部）	224,244 （うち52,508は福祉部）
社会教育費	918,834	918,910	792,381	905,260	733,921	825,780
社会教育総務費	276,175	203,150	193,949	253,830	191,955	257,787
公民館費	278,573	344,634	195,753	243,246	171,820	197,230
図書館費	97,687	83,516	97,686	87,846	90,463	89,414
郷土美術館費	12,036	11,274	－	－	－	－
青少年教育費	350	344	378	388	257	216
青少年センター費	3,194	3,186	3,266	3,402	3,210	3,294
広瀬歴史記念館費	54,567	53,834	58,312	65,100	50,410	65,138
総合文化施設費	83,752 （企画部）	218,955	243,023	251,439	225,797	212,686
美術品購入基金費	112,500 （企画部）	17	14	9	9	15
保健体育費	1,086,096	1,044,303	1,221,997	1,138,172	964,025	1,254,681
保健体育総務費	39,679 （うち5,110は企画部）	62,505 （うち26,186は企画部）	209,615 （うち170,719は企画部）	338,196 （うち295,812は企画部）	48,699	50,942
保健体育施設管理費	64,117	57,434	35,548	21,526	20,241	－
体育施設費	470,785 （うち179,246は企画部）	421,629 （うち52,855は企画部）	464,188 （うち63,720は企画部）	288,040	338,545	662,444
学校給食費	511,515	502,735	512,646	490,410	556,540	541,295
合計	4,031,400	4,018,860	4,957,095	4,584,175	3,800,615	5,950,504

ただし、繰越分含む。

令和元年度おもいやり駐車場整備事業決算額（民生費）2,608 千円
令和元年度放課後児童対策費決算額（民生費）144,312 千円
令和元年度放課後児童クラブ施設整備事業（民生費）3,175 千円
令和元年度高齢者生きがい創造学園講座事業費決算額（介護保険事業特別会計　地域支援事業費）8,496 千円

社　会　教　育　課

第１　最重要課題

地域、家庭及び学校との協働を育み、次世代へ継承される社会の実現

第２　重点事項（取組方針）

１　誰もが学べる環境づくりの推進

（１）生涯学習機会の内容充実
　ア　生涯学習大学及び高齢者生きがい創造学園の講座の充実
　イ　公民館事業の充実と市民サークル活動への支援

（２）生涯学習関連施設・機能の充実
　ア　アセット・マネジメントに基づく公民館施設環境整備事業の推進
　イ　生涯学習センターの機能向上
　ウ　高齢者生きがい創造学園の機能維持と今後のあり方検討
　エ　別子ハイツ自然学習館の機能維持

（３）高等教育機関との連携充実
　ア　生涯学習大学講座に係る愛媛大学、松山大学及び新居浜工業高等専門学校との連携維持
　イ　愛媛県総合科学博物館の学芸員などとの連携強化

２　住民主体の地域づくりの推進

（１）地域課題を解決する住民活動の推進
　ア　地域教育力向上プロジェクト推進事業への取り組み
　イ　関係各課等との連携した防災、子育て支援、健康増進、環境講座等の開催

（２）地域を担う人材の育成
　ア　地域のまちづくり活動を支える地域自主組織の結成・維持・強化
　イ　学校運営協議会や地域学校協働本部との連携による地域学校協働活動を通じた、地域づくりを担う人材の育成と技術継承
　ウ　公民館・交流センター職員の研修機会の充実

（３）郷土愛を育むための活動の推進
　ア　地域団体（まちづくり推進委員会や社会体育振興会、老人会、婦人会など）と連携した郷土愛を醸成する取り組み

３　社会全体で子どもを育てる体制づくりの推進

（１）子育て世代に対する家庭教育の充実
　ア　公民館・交流センターで取り組む三世代交流事業や家庭教育講座、乳幼児期家庭づくり講座などの事業を通じた家庭教育力の向上

（２）学社融合の推進
　ア　コミュニティ・スクール活動を支援しながら、地域と家庭、学校との絆の強化
　イ　コミュニティ・スクール活動を通じての地域住民の社会教育活動への参画と住民交流の促進
　ウ　中学生・高校生と連携した事業の企画・運営への取り組み推進

（３）青少年健全育成の推進
　ア　子どもの居場所づくりへの取り組み
　イ　青少年健全育成・啓発活動の推進
　ウ　青少年センターを核とした相談活動の充実
　エ　少年補導委員による街頭補導活動の継続

４　近代化産業遺産の保存・活用の充実

（１）多喜浜塩田文化の保存・継承

ア　多喜浜のまち全体が塩の博物館事業への支援

イ　ソルティ多喜浜・塩の学習館を活用した学習活動支援

５　今後の公民館のあり方等についての調査・研究

（１）今後の公民館のあり方についての検討

ア　社会教育委員会議等での検討

（２）新たな地域運営組織設立等に向けての調査・研究

ア　市長事務部局との協働による社会教育事業と地域コミュニティ事業との融合など、新たな地域運営組織設立に向けての調査・研究

第３　主な事業

１　地域教育力向上プロジェクト推進事業（10,300千円）

地域ごとに実情・課題は様々であるため、“つどう”（生活のなかで気軽に人々が集うことができる場）、“まなぶ”（自らの興味関心に基づいて、また社会の要請にこたえるための知識や技術を学ぶための場）を事業の柱とし、学びを活かして地域の課題解決を目指していく。

２　公民館施設環境整備事業（143,697千円）

住民の地域づくりの拠点として、利用者により安全快適な施設環境を提供するために、必要な整備・維持管理を実施している。

第４　別子ハイツ自然学習館

市民に豊かな自然環境の中での学習や研修の場を有料で提供し、青少年の健全な育成と社会教育活動の推進を図るため、設置している。

施設状況

所　在　地	設立年月日	構　　造	敷地面積（㎡）	建物延面積（㎡）	電　　話
立川町1番地1	平成20.4.1	鉄筋コンクリート造２階建	3,207.00	566.50	４１－０４４３

社　会　教　育　委　員　名　簿

（令和２年７月 10 日現在）
（50 音順）

氏　　名	性 別	備　　考
安　藤　進　一	男	スポーツ協会代表
小笠原　忠　彦	男	中学校校長会代表
加　藤　すみれ	女	女性連合協議会代表
久　保　弥　生	女	公民館連絡協議会代表
久保田　真　士	男	小学校校長会代表
篠　原　雅　士	男	文化協会代表
神　野　洋　輔	男	青年会議所代表
秦　　榮　子	女	ボランティア連絡協議会代表
日　野　幸　彦	男	連合自治会代表
福　島　嘉　昭	男	企業代表
藤　田　誠　一	男	市議会企画教育委員長
藤　本　　毅	男	愛媛新聞社東予支社長
宮　川　まゆみ	女	ＰＴＡ連合会代表
森　　昭　彦	男	市内県立高等学校校長会代表
山　内　保　生	男	医師会代表

任期　令和元年７月１日　～　令和３年６月 30 日

公　民　館　等　一　覧　表

（令和２年５月１日 現在）

施設名	所在地	開設年月日	新改築年度	人口 2.3.31	世帯数 2.3.31	構造	建物面積（㎡）	敷地面積（㎡）	施設長氏名
新居浜 32-8312	新居浜市新須賀町 三丁目２番17号	昭和 58.4.1	昭57年度 新築	4,302	2,258	鉄筋 ２階建	535.50	1,586.00	高田 実
口屋跡記念 32-8430	新居浜市西町 ６番２号	昭和 45.10.3	平27年度 改築	4,751	2,589	鉄筋 ３階建	970.65	2,214.87	岡野 弥生
地域交流センター 34-6320	新居浜市庄内町 一丁目14番７号	平成 22.4.1	平21年度 新築	11,181	5,416	鉄筋 ２階建	945.02	2,021.40	山下 和之
金栄 33-3212	新居浜市高木町 ６番25号	昭和 56.4.1	昭55年度 新築	6,148	2,839	鉄筋 ２階建	456.00	1,758.00	小野 英昭
高津 32-3320	新居浜市沢津町 二丁目３番30号	昭和 33.4.1	平７年度 改築	11,250	5,566	鉄筋 ２階建	987.25	2,220.77	小野 健治
浮島 34-7617	新居浜市八幡 二丁目６番52号	昭和 57.4.1	昭56年度 新築	3,549	1,649	鉄筋 ２階建	456.00	1,480.48	小西 優
惣開 33-1031	新居浜市王子町 １番３号	昭和 31.2.24	昭54年度 新築	4,168	2,000	鉄筋 ２階建	456.00	1,130.81	久石 保
若宮 34-7612	新居浜市新田町 一丁目８番37号	昭和 57.4.1	昭56年度 新築	1,667	974	鉄筋 ２階建	456.00	1,124.96	久保 弥生
垣生 45-0024	新居浜市垣生 二丁目12番26号	昭和 24.12.1	平元年度 新築	4,174	1,903	鉄筋 平屋建	483.00	1,985.80	髙尾 美好
神郷 46-1181	新居浜市郷 三丁目７番20号	昭和 33.4.1	昭60年度 新築	9,850	4,563	鉄筋 ２階建	624.00	1,803.58	藤井 和晴
多喜浜 45-0014	新居浜市多喜浜 五丁目７番27号	昭和 31.12.27	平27年度 改築	3,770	1,966	鉄筋 ２階建	545.63	1,245.00	今村 美鈴
大島交流センター 45-1006	新居浜市大島 甲589番地	平成 27.4.1	平27年度 移転	177	123	鉄筋 ３階建	交流センター 942.02 体育館 634.05 プール 80.05	交流センター 4,671.32 プール 610.00	村上 和夫
泉川 41-6463	新居浜市瀬戸町 12番34号	昭和 30.3.31	平15年度 新築	11,587	5,920	木造 平屋建	公民館 693.00 体育館 286.00	2,966.00	真鍋 智明
中萩 41-6735	新居浜市萩生 740番地の１	昭和 22.11.1	平２年度 改築	19,275	9,160	鉄筋 ２階建	984.00	2,024.02	衣川 裕二
船木 41-6003	新居浜市船木 2579番地の１	昭和 24.9.14	昭54年度 新築	7,091	3,374	鉄筋 ２階建	456.00	1,917.99	篠原 元久
大生院 41-6604	新居浜市大生院 1063番地の１	昭和 25.9.28	平４年度 改築	3,829	1,847	鉄筋 ２階建	公民館 562.70 体育館 233.20	4,324.28	松本 彰
角野 41-6224	新居浜市中筋町 二丁目４番24号	昭和 23.11.3	昭54年度 新築	11,607	5,570	鉄筋 ２階建	864.00	2,963.24	横山 泰茂
別子山 64-2211	新居浜市別子山 甲347番地の１	昭和 59.4.1	昭59年度 新築	145	91	鉄筋 ２階建	631.00	821.54	和田 仲吉
合計				118,521	57,808				

※　改築は、増築・大規模改修等とする。

公　民　館　事　業　計　画

新 居 浜 公 民 館

公民館重点目標	～夢・ロマン・感動を求めて～ 1　ボランティア活動の推進 2　学校・家庭・地域を結ぶ青少年育成と見守り隊の推進 3　生涯学習の活性化と推進 4　三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成 5　小学生・中学生・高校生の居場所づくりと交流
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
女性講座	手芸教室、健康講座、人権講座、料理教室
シニアネットワーク	男性料理教室、新居浜校区歴史研修
三世代交流校区史跡めぐりウォーキング	校区内の史跡を巡りながら、校区の歴史を学ぶ
活き生きセミナー	伝統工芸教室、手芸教室、料理教室
小中学生料理教室	伝統料理に挑戦する。
家庭教育支援講座	思春期の子どもの接し方を学習する。
地域活性化事業	住民の健康・体力向上を目的に軽スポーツを実施する。
三世代交流事業	餅つき、しめ縄作り、凧作り、七草粥
健康セミナー	健康に関する研修、自宅でできる簡単なケアを学び、健康維持を推進する。
読書感想文書き方講座	読書感想文の書き方について学習する。

公　民　館　事　業　計　画

口屋跡記念公民館

公民館重点目標	～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～ １　豊かな心を育てる生涯学習の充実 ２　青少年の健全育成 ３　社会教育関係団体相互の連携・交流 ４　人権・同和教育の推進 ５　生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
家庭教育講座	親子で楽しめる講座や母親同士の交流の場、父親も参加できる講座を実施する。 親子化学実験・教料理教室等
女性講座	多岐にわたる講座や、子どもたちに郷土芸能を継承する教室を実施する。 干支作り、太極拳教室等脳と手先を使う教室、口屋音頭の伝承教室
高齢者講座	１日研修、奉仕活動（２回)、軽スポーツ（２回)、園児との交流、防災教室、交通安全教室
高齢者・女性合同講座	人権・同和教育を学ぶ（１回）
生活文化講座	愛護班が中心になり、１日研修を実施する。
男の料理教室	料理の知識、楽しさを学ぶための教室を実施する。
宮西サロン	地域の方の居場所づくりを目指して地域の方の交流の場をつくる。いのちのはなし・住まいの地震対策講座
スポーツ健康教室	子どもたちを対象に、知らない軽スポーツの楽しさを体験してもらう教室を実施する。 シャフルボード、ペタンク、ダーツ等
北中校区子ども絵画展	子どもたちの文化的な活動を後押しし、心を癒し育む。地域の元美術の先生を中心として、子ども（宮西小・新居浜小児童、北中生徒）から絵を募集し、審査・展示・表彰式を実施した後、指導教室を開催する。
三世代交流講座	異世代交流と文化の伝承を目的に、七草粥、読み聞かせ、昔の遊びなどの講座を開催する。
三世代ふれあい交流大会	小学６年生、ＰＴＡ、老人会、自治会等で餅をつき、女性部による赤飯作りを実施する。また、老人会と愛護班の指導による凧作りを実施し、１月の新居浜凧あげ大会に出場する。餅つき終了後に、地域の独居老人宅に、民生委員と児童が赤飯と手紙を添えて訪問する。
口屋あかがねプロジェクト事業	口屋あかがねの会と、くちやあゆみの会を中心に、次世代に残していきたい口屋の歴史を後世に語り継いでいく事業 同じ歴史で繋がる角野公民館・別子山公民館との交流事業を実施する。
地域の未来を考えるプロジェクト	公民館を「小さな拠点」と捉え、誰もが自由に参加し、自分たちの地域を自分たちで考え、より良くするための事業。特に中学生が主体となった事業を企画から共に考え実践する。

交　流　セ　ン　タ　ー　事　業　計　画

地域交流センター

交流センター重点目標	～笑顔あふれる地域交流センター～ １　地域ふるさとづくりの推進 ２　生涯学習・スポーツの推進 ３　各種団体との連携・協力体制の強化 ４　地域が一体となった青少年の健全育成 ５　自主防災組織の充実と意識の向上
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者講座	料理教室、手芸、ダーツ大会、男の料理教室、グラウンドゴルフ大会、昔の遊び、認知症講座
家庭教育講座	親子カルチャー教室（５回)、人権教育
スポーツ健康教室	カローリング（２回)、ラダーゲッター（２回)、ウォーキング（１回）他
宿泊合宿	集団行動、集団学習、片付け、野外学習
文化教養講座	盆踊り、小女郎たぬき音頭練習（２回)、ふるさと探訪学習
三世代交流事業	しめ縄作り、竹馬・ミニ門松作り、七草粥、芸能発表、ジャンボ巻き寿司大会
地域リーダー育成事業	地域リーダー学習会、夏休み講座（１１回)、フラッシュモブ（５回）
まちづくり事業	防災運動会、入間市交流事業

公　民　館　事　業　計　画

金　栄　公　民　館

公民館重点目標	～地域と共に歩む公民館を目指して～ １　安全・安心のまちづくりの推進 ２　青少年健全育成の推進 ３　公民館活動への住民の参画促進及び各種団体との連携強化 ４　自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
婦人講座	手芸教室、料理教室、交通安全教室、踊り教室、干支作り等
高齢者講座	ダーツ大会、輪投げ教室、ペタンク教室
家庭教育講座	人権同和教室、手作り講座
ふれあい文化講座	料理教室、手作り講座
子育て支援講座	手作り講座、銭太鼓体験、リズム体操、子育て講座等
金栄まちづくり事業	地域パトロール、熟議
三世代交流事業	親子の集い、芸能発表会
金栄盆踊り	夏の交流の場として盆踊り・模擬店を行う。
ドリームツリー「金栄ふれあい広場」	ドリームツリー点灯式、アトラクション等を開催する。

公　民　館　事　業　計　画

高 津 公 民 館

公民館重点目標	～安心と安全のまち「たかつ」～ 1【住民交流】隣近所が支え合い、助け合って「みんなが明るく住みやすい」町等 2【育児】親、子どもが自由に集まって、ふれ合い、遊び、子どもたちが元気に「健やかに育つ」町等 3【高齢者】高齢者同士が交流し、地域の子どもたちと触れ合って「明るく生き生きと生活する」町等 4【障がい者】障がい者や障がいを正しく理解し、障がい者から真に求められる「手助けをする」町等 5【青少年健全育成】子どもたちが友達や仲間たちとふれ合い、助け合い、理解し合って「共に成長する」町等 6【環境】一人一人が気を配り、みんなの力で実現する「清潔で美しい」町等 7【防災】想定される災害を正しく理解し、災害に備える「災害に強い」町等

事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者講座	高齢者の健康な心と体を作り、充実した生活を送ること、社会的知識の習得のための講座を実施する。（計 10 回）
女性セミナー	女性としての豊かな資質の形成と相互の交流を図る。（計９回）
たんぽぽ・ふわり講座	乳幼児を育てる母親の交流の場として、託児付きの講座を実施する。（計４回）
家庭教育講座	親子関係が希薄になり、ネグレクトなどの家庭問題が頻発している昨今、保護者同士の交流や子育ての一助となる講演会を実施する。
たかつ史跡めぐり	地域についての歴史を学び、地域への関心を育むと同時に、地域の人々の親睦や交流を深める。
文化部発表会	公民館利用サークル間の情報交換や技術向上を目的として、１年間の成果発表の場として開催する。
健康講座	健康づくりと三世代交流を図るため、歩け歩け大会と軽スポーツを実施する。
スポーツ健康教室	日頃から身体を上手に動かすことで、肩こりや腰痛予防の方法について、専門の講師から指導を受ける。
たかつ花あふれるまちづくり	公民館の敷地内を中心に、地域各所での花づくりを通じて、地域住民の交流を図り、ボランティア精神を醸成する。
たかつ納涼夏祭り	盆踊り、各種模擬店、迷路、くじ引き大会などを開催し、三世代交流を図る。

公　民　館　事　業　計　画

浮 島 公 民 館

公民館重点目標	～明るく元気な浮島校区の構築～ １　青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。 ２　高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進 ３　「安全・安心」の地域の拠点としてのレベルアップ
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
家庭学級講座	人権講演会
男性料理教室	校区の男性が、季節にあった献立で料理する。初心者も含めて腕を磨く。
教養講座	身近な問題や疑問を解決できるように、専門家の話を聞いたり、文学や音楽に触れ、興味を持ち、身近に感じるような講座を実施する。
ものづくり講座	モノづくりを中心とした講座を実施する。
健康講座	健康寿命を延ばせるように、身体を動かす講座を実施する。
介護福祉講座	介護に関する話や実技について学ぶ。
伝統講座	昔ながらの伝統行事等を校区の子どもたちや住民に伝え、継承する。

公　民　館　事　業　計　画

惣　開　公　民　館

公民館重点目標	～地域と共に歩む活気ある公民館づくりを目指して～ １　事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る。 ２　地域資源を活かしたまちづくり ３　地域住民に親しまれる公民館づくり
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
乳幼児講座	家庭教育の向上と教養の幅を広げ、親同士のふれあいを深める。（計４回）
生活文化講座	はじめての子育てや転勤などで不安を抱えている世代を対象に、同世代の交流を深めながら教養を高め、地域で家庭教育の向上を目指す。
遊ＹＯＵセミナー	多種多様な講座を開設し魅力ある地域づくりを行う。 人権教育、男女共同参画、健康教室、料理教室、手作り教室
シニア教室	三世代交流を深め、高齢者の交流、健康づくり・生きがいを感じる場をつくる。 健康教室、園芸教室、料理教室
王子が丘教室	魅力ある惣開を目指して、地域の方が講師となり、児童に古き良き時代の王子が丘を伝承する。 郷土料理教室、歴史講座等
三世代交流事業	校区住民の交流と伝統文化の継承を行い、各世代間交流と親睦を深める。 もちつき大会、七草がゆ
まちづくり事業	伝統文化の継承や歴史・文化を掘り起こし、まちづくりに繋げる。 夕涼み会、観月会、ふれあいウォーク、自然ふれあい体験

公　民　館　事　業　計　画

若 宮 公 民 館

公民館重点目標	「地域とともに歩み育つ公民館」をスローガンとして家庭・学校・地域との連携をはかり、安全・安心で住みよい若宮地域づくりを目指す。
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者が引きこもりにならないように、外に出る機会を提供する。 笑い、健康体操、ビデオ鑑賞、簡単料理、知って得するシニア講座等
趣味と教養	生活の知恵や趣味の世界を広げるために、体験講座を実施する。
環境にやさしいまちづくり	環境意識を高め、美しい地域づくりを行う。 花植え運動、奉仕作業、環境講座等
安全・安心なまちづくり	地域の防災活動への支援と防災意識の高揚を図る。 防災訓練、防災まち歩き等
地域の伝統・歴史の伝承	年中行事の伝承や昔遊びを子どもたちと一緒に実施する。 昔遊び、紙ひこうき教室、書初大会、そうめん流し、七草粥等
スポーツと健康	スポーツを通して健康増進と地域の交流を図る。 軽スポーツ大会、親睦卓球大会等

公　民　館　事　業　計　画

垣　生　公　民　館

公民館重点目標	～地域と共に歩む公民館～ １　地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり ２　自ら学ぶ生涯学習の推進 ３　各種団体・機関との連携強化 ４　生活文化活動の振興 ５　安全で住みたい垣生づくり
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者講座	輪投げ大会、健康教室、交通安全教室、琴教室等
婦人講座	人権学習、環境学習、手芸学習等
家庭教育講座	イルミネーション飾りつけ、親子手作り教室
成人講座	男性料理教室、ＨＫＴ教室、健康ウォーキング
垣生山遊歩道めぐり	垣生山遊歩道を整備・清掃し、花壇等の環境を整えながら歩く。
スポーツ健康教室	軽スポーツ教室（年３回）
ふるさと文化講座	じょうさ節教室、しめ縄作り
子育て支援	みんなで楽しむ絵本の時間等
垣生キッズ共和国	ストラックアウト、お手玉、けん玉、アニメ上映等
緑のカーテン運動	エコ活動としての緑のカーテン作り
三世代交流軽スポーツ大会	三世代交流軽スポーツ大会を開催する。
垣生環境美化事業	環境美化のために、えひめＡＩ―２
イルミネーションファンタジー	公民館と垣生山を年末年始にかけて電飾で飾りつけ、活気ある校区づくりの雰囲気を盛り上げる。

公　民　館　事　業　計　画

神　郷　公　民　館

公民館重点目標	家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安心・安全で住みよいまちづくりを目指す。 １　青少年の健全育成 ２　地域の安全と安心の推進 ３　地域福祉の拡充 ４　生涯学習の推進と各サークル活動の支援 ５　スポーツの推進と健康づくりの推進 ６　お茶の間懇談会の拡充・強化 ７　自主防災組織作りの拡充・強化 ８　地域の環境美化の推進
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者講座	高齢者が生き生きと生活し交流することを目的として実施する。 認知症サポーター養成講座、男の料理、頭の体操等（計 10 回）
いきいきセミナー	年齢､性別を問わず各人の教養､技能を高めて生活に活かすために実施する。 史跡めぐり、干支作り、料理等（計 10 回）
ママ友講座	子育て世代の若いお母さんを対象に、地域の方を講師に迎え、郷土料理、手芸等の教室で教養を高めるとともに、異世代交流を図る。（計６回）
乳幼児期家庭づくり講座	乳幼児をもつ保護者同士の情報交換、子育て支援を目的に実施する。 サマーレクレーション、餅つき、パン教室等（計８回）
三世代交流事業	伝統文化を次世代に伝えるとともに、三世代交流、青少年の健全育成を目的に実施する。 ウォーキング、凧作り、しめ縄作り、昔の遊び等（計８回）
夏祭り	ふれあいのまちづくりを目的に実施し､三世代交流の場として地域活性化を目指す。
いきいきクラブ事業	地域住民の交流の場をつくることを目的に､郷土食の芋炊きや七草がゆで季節感や伝統文化を味わう。ピザ窯を有効活用し、地域活性化を図る。

公　民　館　事　業　計　画

多喜浜公民館

公民館重点目標	～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～ １　潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進 ２　世代間の交流、人材の発掘 ３　学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成 ４　郷土の伝統文化・塩田歴史文化・「かしょい」精神の継承 ５　人権・同和教育の推進
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
健康講座	スポーツ健康教室、健康セミナー、健康体操教室
青少年健全育成事業	青少年健全育成協議会講演、ＳＮＳの危険対策講座
婦人講座	手芸教室、マナー教室
子育て講座	親子ふれあい講座、親子体操教室
家庭教育講座	人権同和教育研修、救命救急研修
福祉講座	介護予防教室、認知症予防講座
食育、料理講座	栄養講座、伝統料理教室、親子料理教室、男の料理教室、スイーツ教室
高齢者大学	人権教育、交通安全教室、軽スポーツ、笑いヨガ
三世代交流事業	陶芸（多喜浜焼き）教室、しめ縄教室、昔の遊び教室
塩田文化バンク	塩田踊り教室、塩田ウォーク、塩田講座
環境・美化講座	環境美化活動・海岸清掃、ＡＩ―２講座、見廻りパトロール、花いっぱい運動、環境講座
まちづくり講座	防災・減災講座、防災マップ講座、危険箇所パトロール、交通安全講座

交　流　セ　ン　タ　ー　事　業　計　画

大島交流センター

交流センター重点目標	～地域住民に親しまれるセンターづくり～ １　高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業 ２　歴史と自然を守り伝統文化の伝承 ３　住民どうしのつながりと安全・安心なまちづくり
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
教養講座	男の（女の人も）料理、絵手紙教室、ポーセラーツ、寄せ植え、染色
高齢者講座	健康体操、輪投げ大会、認知症関係、施設見学、落語
伝統文化講座	七夕集会、念仏踊り（口説き）の練習、史跡巡り
防災教室	防災運動会
みんなの作品展	校区住民手作りの作品を展示する。

公　民　館　事　業　計　画

泉 川 公 民 館

公民館重点目標	～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～ 1　青少年の健全育成 2　高齢者が楽しみながらの健康増進事業 3　住民が総参加の事業展開 4　地域課題の解決に向けた学習会 5　郷土の伝統文化の伝承 6　まちづくりの醸成
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
星原市	まちづくりの中心に子どもを位置づけるために、子どもの活躍できる場を設け、地域の大人たちとコミュニケーションを図ることを目的にし、また、「星原市」の由来についても知らせる機会とする。
なんでも学習会	公民館までは少し遠いし、用事があって夜出かけるのが難しく、近くの自治会館だったら気軽に参加できるなど、自治会館での学習機会を作り、主に健康寿命延伸についての講座を実施する。
ふるさと塾	介護・交通安全・趣味など普段の生活に役立つ内容の講座を実施し、地域住民が主体的に取り組める地域づくりや課題解決に取り組む。
伝統行事を伝える	核家族化で、祖父母と生活する子どもたちも少なくなっており、昔から伝わる伝統行事を体験する機会が少なくなっている。三世代での交流を深め、伝統行事を継承していくよう実施する。

公　民　館　事　業　計　画

中　萩　公　民　館

公民館重点目標	～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～ 「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町　日本一の中萩」 １　生涯学習・生涯スポーツ活動の推進 ２　青少年健全育成の推進 ３　社会福祉活動の推進 ４　人権・同和教育の推進 ５　安心・安全な地域づくりの推進
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
中萩セミナー	教養や趣味を高め、地域へのボランティア活動などを視野に入れた内容を実施する。
高齢者セミナー	高齢者の生きがいづくりを進めるため、軽スポーツ競技、小学生とのふれあい活動、伝統文化の継承、介護予防講座、交通安全教室等を実施する。
健康セミナー	健康づくりを推進するため、各種軽スポーツの実施や健康についての講座を実施する。
福祉セミナー	これから迎える「超高齢化社会」をできる限り穏やかで有意義な生活を過ごせるように、介護する側もされる側もともに学ぶことを推進する。
十河信二翁を知り学ぶ活動	地域の偉人である十河信二翁に対して、偲ぶ会や展示、通学路を歩く会などの活動を通して知り学ぶことを推進する。
こどもスポレク祭	自治会単位に分かれてスポーツで汗を流し、郷土愛と地域での絆を深める。
中萩三世代交流事業	三世代の交流と絆を深めることを目的に、地域の子どもたちに伝統や文化を継承していくための事業を実施する。
環境改善事業	自然保護のために、家庭排水などの浄化を図る活動を推進する。また、花を育てるなど、環境整備活動を推進する。
まちづくり推進事業	地域に活力をもたらす様々なことや地域の問題を話し合い、集うことで解決策を探り、地域力を養い、今後の公民館・地域の方向性を探る場となることを目指す。
ふたごクラブ	多胎児を妊娠中または育児中の方が、子育てに対する不安や悩みを相談できる場・同じ悩みを抱える保護者同士の交流の場をつくる。

公　民　館　事　業　計　画

船　木　公　民　館

公民館重点目標	～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～ １　学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成 ２　心豊かな福祉のまちづくりの推進 ３　一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進 ４　人権・同和学習の推進 ５　地域に根ざした親しまれる公民館づくり
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
人権講座	人権について講話を聞き、共に考える場をつくる。
環境講座	花づくり等の環境整備をし、ボランティア精神を育てる。 グリーンカーテンを作ろう、花いっぱい運動
健康講座	健康づくりに関心を持ち、健康寿命を延ばす。 健康運動教室
伝統文化講座	伝統文化の継承を行う。 七夕教室、竹細工教室、七草教室、とうどまつり、鏡開き、昔の遊び教室、仏教に学ぶ
芸能祭	主に公民館等で活動するサークルの発表の場とする。小・中学校の音楽部も出演する。
こども講座	夏休み等、長期の休暇を利用し、親子で学んだり、楽しんだりする機会をつくる。 理科教室、カルビーおやつ教室、絵手紙教室、手芸教室、子どもスポーツ教室、子ども料理教室
ＨＡＰＰＹクッキング講座	異文化に触れたり、男性も料理に興味を持ってもらうため、料理教室を実施する。
趣味講座	モノづくりを通じて、新しい世界や知識にふれ、交流の場をつくる。 エコクラフト教室、陶芸教室、コットンパール教室
地域づくり講座	校区の子どもたちが、将来戻ってきたいまちづくり・地域づくりのために、幅広い世代を対象とした訓練や講座を行う。 消防訓練、交通安全教室
船木を歩こう	史跡が多く残されている船木を歩き、貴重な郷土遺産を知る。
三世代交流事業	各世代が集い、それぞれの得意分野で力を発揮し、連帯感を養い、三世代交流を図る。 盆踊り教室、そうめん流し

公　民　館　事　業　計　画

大 生 院 公 民 館

公民館重点目標	～地域住民が集まり、共に進む公民館～ １　事業の企画・運営への住民の参画促進 ２　地域歴史遺産を生かした特色ある事業の推進 ３　自主防災組織の更なる充実と意識の向上 ４　子どもの居場所づくりと交流
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者いきいきセミナー	学習を通して、健康づくりや仲間づくりができる場を提供する。
くらしのセミナー	文化教養を深めるため、多種多様な講座を開設し、仲間づくりができる場を提供する。
子育て支援セミナー	心身共にリフレッシュしてもらえる子育て支援を行うため、情報交換や交流の場を提供する。
郷土の歴史と文化	校区の豊かな自然・史跡・歴史・偉人について学び、地域への関心と愛情を育む。 歩いてゆく大野山ツアー、近藤篤山の孝道を訪ねて
スポーツ健康教室	軽スポーツを通して、各世代交流や健康増進を図る。 グラウンドゴルフ、ペタンク、カローリング等
三世代交流事業	地域の大人と子どもが伝統文化に触れ、学びながら交流を図り、親睦を深める。 たのも団子、昔の遊び、しめ縄作り、七草がゆ
大生院まちづくり事業	安心安全なまちづくり、魅力あるまちづくりに取り組むべく熟議を重ね、地域活性化を目指す。

公　民　館　事　業　計　画

角 野 公 民 館

公民館重点目標	～共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～ １　思いやる心を育てる生涯学習を推進し将来を見据えた地域づくり ２　伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり ３　学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり ４　自分達で命を守る防災意識の確立を図る地域づくり ５　三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
合同セミナー	異世代交流を目的とし、各種団体の協力を得て、子どもたちが地域の人との交流を図り、より良い人間関係・地域関係を築き、コミュニティを深める。 開講式記念講演会、おはようラジオ体操、三世代交流もちつき大会、しめ縄づくり教室、七草がゆ、閉講式記念講演会
手作りセミナー	文化教養を高める講座を企画し、新たな自分と出会える場にする。 エコクラフト、みそ作りに挑戦、干支づくり、つまみ細工体験
いき生き生活セミナー	高齢者を中心に、情報交換の場を提供する。健康で生き生きとした生活をおくり高め合い、地域に必要とされる高齢者になることを目的とし、よりよい仲間づくりへと進展させる。 簡単肉料理体験、からだのメンテナンス、１００年時代を生きる
スポーツ健康教室	各種スポーツを通じ、元気な体づくりを推進する。
未来まちづくりプラン	地域づくりに関わる将来の担い手を呼び込むため、小・中学校との連携を強化する。防災訓練教育、環境に配慮した環境緑化推進事業を実施する。 中学生と花の種まき事業、すみのシェイクアウト、動物ふれあい教室
伝統文化プラン	地域と学校が連携し、地域に残る近代化産業遺産や身近な歴史を深く知り学ぶことを目標とし次世代に託す。地域、高校生、中学生を交え、様々に触れ合う機会を作り、経験を積み重ねる。また、他校区間の交流を含め模索する。 ちびっこ相撲、観月祭、とうどおくり、宮西校区・別子校区との共催事業（第５弾歴史で繋がる、結び合う）
家庭教育セミナー	子どもたちの健全育成のために、親子関係、地域の大人とのコミュニケーションを深める。社会の担い手を育成する。 夏休み子ども教室、住友化学理科教室、防災サバイバルキャンプ、音楽を楽しむ、パパと子どものパン教室

公　民　館　事　業　計　画

別 子 山 公 民 館

公民館重点目標	～地域づくりの拠点として、暖かくぬくもりのある公民館を目指して～ １　学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる。 ２　伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る。 ３　人権・同和教育の推進 ４　青少年の健全育成を図る。 ５　世代間交流の充実強化
事業（講座）名	事　　業　　内　　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
スポーツ教室	健康で健全な生活を目的に、スポーツ教室を通じて、健康な身体づくり及び体力の向上に結びつける。 バドミントン、ソフトバレー、フットサル
地域を歩く散策ツアー	地域住民の高齢化に伴い、地域力の底上げを行うため、地域内を散策し、地域を知ることで、地域力を向上させる。
天体観測体験	別子山の澄んだ星空を眺めながら、天体望遠鏡によって宇宙の旅に出る。講師の説明を聞きながら、天体観測の体験をする。
登山体験	地域内外で働く住民を対象に、自然を体感し、健全な心と体を養うことを目的に、登山を実施する。
独居高齢者配布餅つき	地域の独居高齢者を対象に配布を行う餅をつくり、高齢者の皆さんに少しでも豊かで想いのこもった年始を迎えていただくために実施する。
別子校区秋季大運動会	地域住民が一体となって学校を盛り上げようとする気運もあり、体力の向上と地域内外の連帯を図ることを目的に、校区住民と学校が一体となって運動会を実施する。
地域文化の伝承	地域文化の伝承を行う。

青　少　年　セ　ン　タ　ー

重点目標

１　「見せる補導」を徹底し、非行の未然防止に努める。
２　学校周辺を巡回し、児童生徒の安全確保に努める。
３　安全情報ネットワークの整備に努める。

重点事項

１　健全育成活動の推進
（１）青少年の非行・被害防止全国強調月間　（７月）、子ども・若者育成支援強調月間　(11月)　の推進
（２）青少年善行表彰

２　相談活動の推進
（１）相談業務の周知徹底、積極的な相談活動
（２）適切な資料提供並びに専門機関への紹介

３　少年補導委員による補導活動の充実
（１）地域に密着した昼夜の街頭補導
（２）夏祭り、花火大会、年末等における特別街頭補導
（３）支部長による広域補導

４　環境浄化活動の推進
（１）危険箇所、非行集団等のたまり場の早期発見と指導
（２）未成年者喫煙、飲酒防止の推進

５　情報収集と啓発活動の充実
（１）青少年健全育成入選標語の広報による周知、啓発
（２）ホームページによる情報発信
（３）センターだよりの発行

６　研修活動
（１）少年補導委員研修大会の実施
（２）各種研修会への派遣

７　関係機関・団体・学校等との連携強化
（１）学校・警察・児童相談所等との相互情報交換並びに連携の推進
（２）少年補導委員会議等（支部長会）の開催
（３）青少年健全育成、非行防止に関する各種会合等への積極的な参加

施設状況

所　在　地	開　設 年月日	構　　造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	電　話	所長氏名
繁本町８番６５号	昭和 39.7.16	鉄筋コンクリート造 ２階建	403.68	403.68	33－4152	藤田　秀喜

地区別少年補導委員の状況

（令和２年４月１日現在）

地　区　別	補　導　委　員　数		
	男（人）	女（人）	計（人）
川　西　地　区	４０	１９	５９
川　東　地　区	３５	２２	５７
上　部　地　区	４６	２６	７２
計	１２１	６７	１８８

生　涯　学　習　セ　ン　タ　ー

重点目標

多様化し複雑化する課題と社会の変化への対応の要請のために、学ぶことと学びの成果を活かす循環型の学習社会づくりを目指す。その柱として、「人づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」を掲げ、個人の成長と地域社会の発展の双方に貢献する、「開かれ、つながる生涯学習」の実現のために、学習者が主体的に取組む体制づくりを推進する。ポストコロナの時代に向け、従来の集合形態の講座体系のみならず、新しい学習形態を模索する。

重点事項

１　生涯学習大学事業の推進

（１）大学、工業高等専門学校等の高等教育機関等との協働により、日本文学講座、松山大学公開講座、新居浜高専市民講座等、市民の専門化・高度化した学習要求に応える講座を開設する。
（２）市民の多様なニーズ、時代の変化に対応した講座や必要課題に関する講座を開設する。
（３）新しい学習メニューの提供、市民への幅広い情報発信により新たな層の参加を図るとともに、生涯学習推進員、スタッフが企画運営を担う、自主運営型の生涯学習大学を目指す。
（４）生涯学習の人材育成を目指し、生涯学習大学で培ったノウハウを地域づくりに還元できる仕組みづくりを推進する。
（５）ICTの有効活用を図り、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる学習環境の普及啓発を図る。

２　生涯学習情報の収集・提供及び学習体制の充実

（１）県生涯学習情報システムの有効活用を図る。
（２）生涯学習に関する情報を収集するとともに、「悠游たより」等により情報の提供及び交換を行う。
（３）生涯学習の情報網を整備し、学習体制を充実させる。

３　生涯学習を推進するネットワークの促進

（１）公民館、高齢者生きがい創造学園等との連携を密にするとともに、市社会教育課をはじめ市内の生涯学習関連機関、施設、事業所等との関係性を強化し、より多くの市民が学習に取り組むことができる生涯学習ネットワークの構築に努める。
（２）社会教育団体をはじめとする生涯学習に関連する団体との連携の強化に努め、各種事業を展開する。
（３）市内の人材の発掘と育成を進め、より多くの人材が活躍できる仕組みをつくる。

４　生涯学習に関連する指導者の育成と生涯学習のまちづくりの推進

（１）生涯学習まちづくり事業の企画運営に関わる人材育成のための研修機会の充実を図る。
（２）「まなびすと」（生涯学習大学の企画運営支援者）の組織化、活動分野の拡充を図る。
（３）生涯学習ボランティアの実践活動の拡充を目指す。

５　視聴覚ライブラリー機能の整備と有効活用

（１）自主教材の製作をすすめ、教材としての活用を図る。
（２）視聴覚指導者の育成を図る。

施設状況

所　在　地	開　設 年月日	構　　造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	電　話	所長氏名
繁本町８番６５号	平成 3.4.1	鉄筋コンクリート造 (市民文化センター本館２階)	－	－	３３－２９９１	関　福生

高　齢　者　生　き　が　い　創　造　学　園

重点目標

高齢化が急速に進展する社会の中で、ボランティア活動を行い、共に学ぶ喜びを共有することによって、生きがいを見つける学習機会を提供する。

重点事項

１　講座の開設

概ね60歳以上の方を対象に、講座を開設して高齢者の要望に応え、高齢者の基本的要求である健康維持と、生活上の諸問題をテーマとする講座と講義や実技を通して学習を楽しみ、生きがいの創造をテーマとする講座を設ける。

２　サークル活動

（１）講座終了者が、自主的で幅広い活動ができるようにする。
（２）週１回程度活動し、学習の深化・発展を図り、自由に積極的に学習する機会を提供する。
（３）サークルごとに会員登録を行い、代表者を中心に年間計画を立てて自主的な運営を図るとともに、学園の全体活動への積極的な参加を促進する。

３　代表者会活動

学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図る。 代表者会は、学園の各講座受講者とサークル会員の互選により選出された代表者で構成され、総務・広報・体育・文化・音楽のいずれかの委員会に属する。

４　ボランティア活動の推進

高齢者の豊かな経験と知識・技能を広く社会に還元できるよう学習をうながし、それによって自らの生きがい発見の場とさせる。
（１）受講者のボランティア活動について啓発を図る。
（２）その活動を通して仲間作りに発展するように努める。
（３）関係諸団体との連絡を密にして、現地研修、講師を招いての学習をすすめることによってボランティア活動の推進を図る。

５　生き方の啓発や学習情報の提供

高齢者にとっての必要な情報を把握し、その提供に努める。
（１）学園月刊紙「生きがい」を発行し、学園の全体的な学習活動を中心とした情報の提供や生き方の啓発に努める。
（２）アンケート調査やその他の方法によって受講者の要望を把握するとともに、掲示や学習資料・チラシ等を通してその期待に応えるようにする。

６　関係機関との連携

庁内関係各課はもちろん、各公民館・各交流センター・各高齢者福祉センターなどの関係機関との連携を密にし、協力する。
講座編成については、他機関のものとの重複を避け、講座の設置目的を明確にする。

施設状況

所　在　地	開　設 年月日	構　　造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	電　話	所長氏名
上原二丁目８番１号	平成 5.4.1	鉄筋コンクリート造 ２階建	18,684.23	3,759.85	４４－４８２６	一色　明繁

学　校　教　育　課

第１　最重要課題

子どもたちの豊かな学びを支える教育の充実

第２　重点事項（取組方針）～「チームとしての学校」の機能強化～

１　「持続可能な社会」の担い手育成に向けた、地域とともに育つ学校づくり

（１）地域とともに育つ学校づくりの推進

市内の全小・中学校にコミュニティ・スクールを導入しており、地域と学校が公式のパートナーとして、ともに子どもたちを育て、ともにつくる「地域とともに育つ学校づくり」を推進する。

ア　コミュニティ・スクール推進事業
イ　コミュニティ・スクールに係る研修会等の実施
ウ　地域学校協働本部事業
エ　別子中学校学び創生事業

（２）学校・地域の特色を生かした教育活動の展開

市内の全小・中学校がユネスコスクールに認定されており、ユネスコスクールとしてＥＳＤの視点に立った特色ある学校づくりに取り組むとともに、持続可能な社会の担い手を育てるため、学校と地域が連携して自主的に創意工夫を凝らした教育活動を展開する。また、それらの教育活動がどのＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）達成に向けたものなのかを明確にすることで、より深化した学びとなるよう努める。

ア　ふるさと学習の充実【ふるさと学習奨励賞】【新居浜ものしり検定】
イ　国際理解教育の充実【中学生海外派遣事業】
ウ　環境教育の充実【学校環境教育支援活動事業】
エ　海洋教育の推進【海洋教育推進事業】

（３）放課後における子どもの安全な居場所づくりと子どもたちの健全育成の推進

放課後における子どもの安全な居場所づくりとともに、子どもたちの健全育成に取り組むため、放課後児童クラブ、放課後子ども教室、放課後まなび塾の一体的な運営の推進を図る。

ア　放課後児童クラブ運営事業
イ　放課後子ども教室、放課後まなび塾の充実
ウ　放課後児童クラブ、放課後子ども教室、放課後まなび塾を連携して実施
エ　長期休業中の放課後まなび塾の実施

２　互いの人権を尊重し、一人一人が支え合い、認め合う人間関係づくり

不登校やいじめによる学校や社会への適応が難しい児童生徒の学校復帰と社会的自立を目指し、学校、家庭、地域と関係機関及び専門家との連携を進めながら、チームとして支援に取り組む。また、学校における学級経営改善を図るとともに、いじめ・不登校の未然防止と早期対応を強化する。

（１）いじめ・不登校対策の推進
（２）差別解消に主体的に取り組む児童生徒の育成
（３）自分の大切さとともに他の人の大切さを認めながら、ともに生きていこうとする実践的な態度の育成
（４）「勇気づけの声掛け（ボイスシャワー）」「人のことを大切にして聞く」の実践

３　生きる力を育む教育の推進

確かな学力の定着と向上を図るための学習指導の改善に努める。主体的に学ぶ力を身に付けるとともに、基礎的知識や技能を習得させ、課題解決能力を育てる学習の充実を推進する。

（１）英語力の向上【生きた英語教育推進事業－ＡＬＴ】【英検受験奨励事業】
（２）学校図書館支援センターの学校司書派遣による授業支援
（３）イングリッシュサマースクールの開催

（４）小中学生あかがね算数・数学コンテストの開催
（５）小中学生科学奨励賞事業の開催
（６）中学生弁論大会の開催
（７）中学生英語スピーチコンテストの開催
（８）えひめジョブチャレンジＵ－１５事業の実施

４　教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化

次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォースに基づき、学校の業務改善を推進する。

（１）主体的な授業改善
（２）新居浜市授業モデルに即した実践的な授業研究の推進
（３）新居浜市教育研究所の機能強化
（４）校務支援システムの活用
（５）部活動指導員の配置
（６）スクール・サポート・スタッフの配置

５　安全・安心な教育環境の整備

（１）小中学校での防災教育の実施
（２）ＩＣＴ機器の整備及びシステム更新
（３）小中学校の適正規模・適正配置等に関する方針検討
（４）学校施設の長寿命化計画の策定
（５）学校施設環境整備工事の実施

第３　主な事業

１　小中学校ＩＣＴ環境整備推進事業（332,255 千円、繰越 51,665 千円）

新学習指導要領では、情報活用能力の育成、プログラミング教育の実施などにおいて、ＩＣＴ環境の整備方針が示されており、その水準を目標に計画的なＩＣＴ機器の整備を推進する。令和２年度についてはタブレット端末１人１台を目標にＩＣＴ機器の整備を推進する。

２　小中学校ＩＣＴ環境整備事業（繰越 253,059 千円）

タブレット端末等の整備を推進するにあたり、快適で効果的な使用が可能になるよう、校内ＬＡＮの増強工事、タブレット電源保管庫の設置工事を行う。

３　放課後関連事業（194,431 千円）

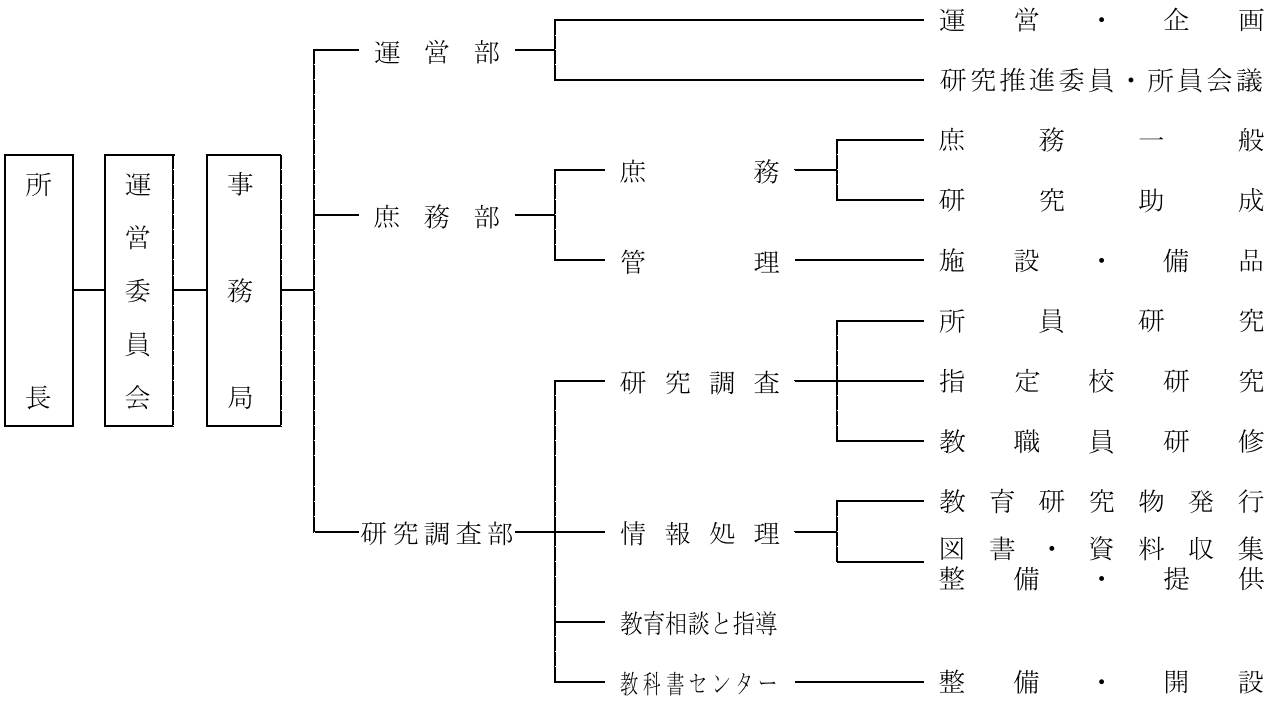
子どもの安全・安心な居場所づくり及び健全育成を目指した放課後関連事業の充実に向けて、放課後児童クラブ、放課後子ども教室、放課後まなび塾等を実施する。また、放課後まなび塾は、放課後のほか長期休業中等についても児童が自主的に行う学習をサポートできるよう努め、放課後児童クラブと一体的な取組を進める。

新居浜市教育研究所の概要

１　沿革の概要

昭和33年３月31日　新居浜市教育研究所設置条例に基づき、新居浜市教育研究所を置く。
昭和46年６月　教育会館の２階に教育研究室を設ける。
平成28年度　第21期新居浜市教育研究所の発足
平成30年度　第22期新居浜市教育研究所の発足
令和２年度　第23期新居浜市教育研究所の発足

２　機構・組織



３　事業内容

（１）教育に関する専門的、技術的事項の研究
　ア　研究所員による「テーマ研究」
　イ　研究指定校との連携による　「共同研究」
　ウ　第23期新居浜市教育研究所
　エ　新居浜市教育力向上推進委員会
（２）教育に関する調査及び各種教育資料の作成及び共有（データ）
　ア　教育研究物の発行
　　●３・４年生用社会科副読本
　　●研究紀要
　イ　教育に関する調査と資料の作成
　　●ふるさと学習
（３）教育関係職員の研修
　　教科研修等
（４）教育図書・資料及び教科書センターの経営
　ア　図書の整備、閲覧、貸出し
　イ　各種資料の収集、整理、提供
　ウ　教科書センターの整備と開設

4　研究のあゆみと歴代研究所長

氏　　名	就任年月日	離任年月日	研究期・研究主題等
藤田弥一郎	昭和33年４月１日	昭和37年３月31日	第１期 第２期　科学技術教育研究会
河野　　貫	昭和37年４月１日	昭和40年３月31日	第３期　授業の分析
岡田　信秋	昭和40年４月１日	昭和43年３月31日	第４期　授業の分析
尾崎健次郎	昭和43年４月１日	昭和46年３月31日	第５期　個性能力に応ずる教育の研究
神野　忠利	昭和46年４月１日	昭和48年３月31日	第６期　学習指導の近代化
印南　忠一	昭和48年４月１日	昭和52年３月31日	第７期　学習指導の近代化
大西　博臣	昭和52年４月１日	昭和56年３月31日	第８期　自ら学ぶ力を育てる指導
村上　好央	昭和56年４月１日	昭和58年３月31日	第９期　自ら学ぶ力を育てる指導
永井　　弘	昭和58年４月１日	昭和59年３月31日	第９期　自ら学ぶ力を育てる指導
久米　　浩	昭和59年４月１日	昭和60年３月31日	第10期　授業の質的改善の研究
加藤　勝見	昭和60年４月１日	昭和61年３月31日	第10期　授業の質的改善の研究
廣川　地彦	昭和61年４月１日	昭和62年３月31日	第10期　授業の質的改善の研究
宮﨑　　弘	昭和62年４月１日	昭和63年３月31日	第11期　個人差に応じる学習指導
廣川　地彦	昭和63年４月１日	平成元年３月31日	第11期　個人差に応じる学習指導
渡邉　　健	平成元年４月１日	平成３年３月31日	第12期　自己教育力の育成を図る学習指導
宮﨑　　弘	平成３年４月１日	平成５年３月31日	第12期　自己教育力の育成を図る学習指導
一色　康範	平成５年４月１日	平成７年３月31日	第13期　子どもの可能性を招く学習指導と評価の研究
鴻上　政士	平成７年４月１日	平成９年３月31日	第14期　主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田　　正	平成９年４月１日	平成10年３月31日	第14期　主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田　　正	平成10年４月１日	平成11年３月31日	第15期　生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
山本　光博	平成11年４月１日	平成12年３月31日	第15期　生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
河野　義隆	平成12年４月１日	平成14年３月31日	第15期 第16期　生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
藤本　博文	平成14年４月１日	平成16年３月31日	第16期　生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
三浦　孝信	平成16年４月１日	平成18年３月31日	第17期　「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
佐藤弘美子	平成18年４月１日	平成19年３月31日	第17期　「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
真鍋　智明	平成19年４月１日	平成21年３月31日	第18期　基礎基本の定着と確かな学力の向上
秋本　　司	平成21年４月１日	平成23年３月31日	第18期　基礎基本の定着と確かな学力の向上 第19期　学力の向上を図る実践研究
坪本　道夫	平成23年４月１日	平成25年３月31日	第19期　学力の向上を図る実践研究 ふるさと学習の研究
横井　敏行	平成25年４月１日	平成27年３月31日	第20期　確かな学力を育むための実践研究 ふるさと学習の研究
高橋　良光	平成27年４月１日	平成30年３月31日	第20期 第21期　確かな学力を育むための実践研究 ふるさと学習の研究
田中利季	平成30年４月１日	令和２年３月31日	第22期　未来を生き抜く力を育む実践研究
矢野　雅士	令和２年４月１日		第23期　未来を共創する「生き抜く力」を育む実践研究

学　校　教　育　計　画　資　料

1　研究指定校（発表校）・訪問指導校・研修会開場等予定校

	学校名	内　　容		指定年度	
小学校	新居浜小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	元	2
		県	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	人権・同和教育研究大会		2
	宮西小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	元	
		県	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	人権・同和教育研究大会		2
	金子小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
	金栄小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		県	金銭教育指定校		2・3
	高津小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	元	2
		県	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	誕生学プログラム	元	
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	人権・同和教育研究大会		2
	浮島小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		2
		県	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		県	ＮＩＥ実践指定校		2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	誕生学プログラム	元	
		市	人権・同和教育研究大会		2
	惣開小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	誕生学プログラム		2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
	垣生小学校	市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	人権・同和教育研究大会	元	
	神郷小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	元	2
		県	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	健康教育研究大会	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
	多喜浜小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	元	2
		県	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	人権・同和教育研究大会	元	
		市	誕生学プログラム	元	2
	泉川小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	元	2
		県	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	誕生学プログラム	元	2
	船木小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	元	2
		県	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	人権・同和教育研究大会	元	
	中萩小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	元	2
		県・市	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	誕生学プログラム		2
		市	人権・同和教育研究大会	元	

	大生院小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	元	
		市	誕生学プログラム	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	人権・同和教育研究大会		2
	角野小学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		県	人権・同和教育訪問	元	
	別子小学校	国	スクールヘルスリーダー派遣事業	元	
		市	フッ化物洗口事業	元	2
中学校	東中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		県	武道・ダンス授業づくり研究会	元	
		市	人権・同和教育研究大会	元	
	西中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		国	人権教育研究推進事業		2・3
		市	いのちの授業開催事業		2
		市	フッ化物洗口事業		2
	南中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	元	2
		市	いのちの授業開催事業	元	
		市	人権・同和教育研究大会		2
	北中学校				
	泉川中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	元	2
		県	環境教育推進事業	元	2
	船木中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		国	「早寝早起き朝ごはん」推進校事業		2
		市	人権・同和教育研究大会		2
	船木中（ひびき分校）	市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	いのちの授業開催事業	元	
		市	人権・同和教育研究大会		2
	中萩中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	いのちの授業開催事業		2
		市	人権・同和教育研究大会	元	
	大生院中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	元	2
		県	ＮＩＥ実践指定校	元	
		市	人権・同和教育研究大会		2
	角野中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	元	2
		市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	新聞制作体験学習事業	元	
	川東中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	元	2
	別子中学校	市	フッ化物洗口事業	元	2
		市	ものづくり体験講座	元	

※全小中学校において、持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）をめざす学校づくりを推進する。

２　学校教育における人権・同和教育研究会

行　　事	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備　考
新居浜市人権・同和教育研究大会								小中合同 25日（水）					小学校５校 中学校４校
愛媛県人権・同和教育研究大会								10日 （火）					松山市
四国地区人権教育研究大会県内報告会				2日（木）～ 3日（金）									砥部町
全国人権・同和教育研究大会													新潟県 （次年度へ延期）

令和２年度　児童・生徒・園児・教職員数

小 学 校

学年・性別 / 学校名		1 学 年			2 学 年			3 学 年			4 学 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
新居浜小学校	児童数	15	10	25	11	11	22	12	17	29	10	21	31
	学級数	1			1			1			1		
宮西小学校	児童数	12	14	26	17	22	39	30	14	44	15	12	27
	学級数	1			2			2			1		
金子小学校	児童数	55	38	93	61	55	116	53	39	92	61	64	125
	学級数	3			4			3			4		
金栄小学校	児童数	39	30	69	38	36	74	32	22	54	38	39	77
	学級数	2			3			2			3		
高津小学校	児童数	47	56	103	59	53	112	53	38	91	47	59	106
	学級数	3			4			3			3		
浮島小学校	児童数	15	6	21	11	7	18	13	4	17	9	11	20
	学級数	1			1			1			1		
惣開小学校	児童数	35	29	64	22	34	56	26	34	60	25	18	43
	学級数	2			2			2			2		
垣生小学校	児童数	20	21	41	13	17	30	24	22	46	19	24	43
	学級数	2			1			2			2		
神郷小学校	児童数	36	37	73	45	44	89	45	49	94	49	43	92
	学級数	2			3			3			3		
多喜浜小学校	児童数	13	7	20	12	8	20	16	10	26	10	11	21
	学級数	1			1			1			1		
泉川小学校	児童数	53	47	100	50	53	103	49	42	91	70	47	117
	学級数	3			3			3			4		
船木小学校	児童数	35	27	62	28	33	61	35	33	68	27	29	56
	学級数	2			2			2			2		
中萩小学校	児童数	63	75	138	59	62	121	71	69	140	82	71	153
	学級数	4			4			4			5		
大生院小学校	児童数	22	24	46	17	13	30	22	19	41	26	23	49
	学級数	2			1			2			2		
角野小学校	児童数	50	50	100	46	46	92	49	52	101	57	52	109
	学級数	3			3			3			3		
別子小学校	児童数	0	0	0	0	1	1	1	1	2	0	1	1
	学級数	0			1			1			0		
計	児童数	510	471	981	489	495	984	531	465	996	545	525	1,070
	学級数	32			36			35			37		

※大島小学校…H25.3.31 廃校　　若宮小学校…H30.3.31 廃校

船木小学校…児童数にわかば分教室を含む

（令和２年５月１日現在）

５ 学 年			６ 学 年			計			学 級 数			教員数	職員数
男	女	計	男	女	計	男	女	計	通常	特別支援	計		
23	10	33	12	22	34	83	91	174	6	2	8	14	7
1			1			6							
15	19	34	20	27	47	109	108	217	9	2	11	18	9
1			2			9							
52	51	103	61	45	106	343	292	635	20	4	24	33	10
3			3			20							
45	37	82	28	35	63	220	199	419	15	3	18	24	10
3			2			15							
53	62	115	57	52	109	316	320	636	21	6	27	37	3
4			4			21							
14	12	26	9	12	21	71	52	123	6	4	10	14	7
1			1			6							
28	31	59	32	26	58	168	172	340	12	3	15	22	10
2			2			12							
15	23	38	30	12	42	121	119	240	10	2	12	17	9
1			2			10							
47	47	94	52	42	94	274	262	536	17	4	21	30	11
3			3			17							
12	9	21	16	9	25	79	54	133	6	2	8	13	8
1			1			6							
34	48	82	46	49	95	302	286	588	19	4	23	29	5
3			3			19							
34	33	67	26	35	61	185	190	375	12	5	17	25	9
2			2			12							
66	83	149	82	84	166	423	444	867	27	6	33	46	13
5			5			27							
22	24	46	17	26	43	126	129	255	11	3	14	19	10
2			2			11							
56	45	101	51	57	108	309	302	611	18	4	22	29	11
3			3			18							
0	0	0	0	0	0	1	3	4	2	1	3	3	0
0			0			2							
516	534	1,050	539	533	1,072	3,130	3,023	6,153	211	55	266	373	132
35			36			211							

中 学 校

学校名＼学年・性別		1 学 年			2 学 年			3 学 年	
		男	女	計	男	女	計	男	女
東 中 学 校	生徒数	71	66	137	66	62	128	50	62
	学級数	4			3			3	
西 中 学 校	生徒数	34	27	61	40	29	69	40	38
	学級数	2			2			2	
南 中 学 校	生徒数	80	69	149	56	68	124	91	67
	学級数	4			4			4	
北 中 学 校	生徒数	31	33	64	33	31	64	32	32
	学級数	2			2			2	
泉川中学校	生徒数	52	44	96	44	45	89	38	24
	学級数	3			3			2	
船木中学校	生徒数	32	30	62	16	28	44	30	35
	学級数	2			2			2	
船木中学校ひびき分校	生徒数	1	0	1	1	0	1	5	2
	学級数	1			1			1	
中萩中学校	生徒数	95	73	168	82	60	142	85	76
	学級数	5			4			4	
大生院中学校	生徒数	24	19	43	24	17	41	17	19
	学級数	2			1			1	
角野中学校	生徒数	61	53	114	52	45	97	44	52
	学級数	3			3			3	
川東中学校	生徒数	99	79	178	92	75	167	88	82
	学級数	5			5			5	
別子中学校	生徒数	2	3	5	3	3	6	2	3
	学級数	1			1			1	
計	生徒数	582	496	1,078	509	463	972	522	492
	学級数	34			31			30	

幼 稚 園

幼稚園名＼年齢・性別		4 歳 児			5 歳 児			
		男	女	計	男	女	計	
王子幼稚園	園児数	8	5	13	8	7	15	
	学級数	1			1			
神郷幼稚園	園児数	5	0	5	8	6	14	
	学級数	1			1			
計	園児数	13	5	18	16	13	29	
	学級数	2			2			

（令和２年５月１日現在）

計				学級数			教員数	職員数
計	男	女	計	通常	特別支援	計		
112	187	190	377	10	5	15	27	3
	10							
78	114	94	208	6	1	7	16	3
	6							
158	227	204	431	12	2	14	27	3
	12							
64	96	96	192	6	3	9	19	3
	6							
62	134	113	247	8	2	10	22	4
	8							
65	78	93	171	6	2	8	17	3
	6							
7	7	2	9	3	0	3	7	1
	3							
161	262	209	471	13	4	17	31	3
	13							
36	65	55	120	4	2	6	14	2
	4							
96	157	150	307	9	2	11	22	3
	9							
170	279	236	515	15	3	18	30	3
	15							
5	7	9	16	3	1	4	10	1
	3							
1,014	1,613	1,451	3,064	95	27	122	242	32
	95							

（令和２年５月１日現在）

計					教員数
	男	女	計		
	16	12	28		3
	2				
	13	6	19		4
	2				
	29	18	47		7
	4				

学　校　等　一　覧

幼 稚 園

園　名	所　在　地	電 話 （ＦＡＸ）	園　長　氏　名
王　子	王子町２番２号	32-4815 (32-4815)	小　野　美　恵　子
神　郷	郷三丁目８番 16 号	45-0170 (45-0170)	藤　田　京　子
合　計			

小 学 校

学　校　名	所　在　地	電 話 （ＦＡＸ）	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
新　居　浜	新須賀町三丁目１番 58 号	37-3061 (37-3062)	浜　本　正　樹	鈴　木　武　朗
宮　西	宮西町５番 56 号	33-8940 (33-8941)	岸　泰　典	中　原　俊　彦
金　子	久保田町一丁目３番 57 号	37-2221 (37-2302)	加 藤 三 香 子	髙 松 由 香 里
金　栄	西の土居町一丁目５番１号	37-2313 (37-2120)	永　井　和　弘	岡　俊　守
高　津	宇高町二丁目 13 番７号	37-3754 (37-3854)	篠　原　直　樹	伊　藤　英　二
浮　島	八幡二丁目２番 65 号	33-1020 (33-1021)	築　山　信　雄	加　藤　清　幸
惣　開	王子町１番３号	37-3401 (37-3402)	井　上　美　樹	田　中　明　定
垣　生	垣生一丁目５番 38 号	45-0186 (45-0195)	井　川　昭　二	桧 垣 由 紀 子
神　郷	神郷一丁目１番１号	45-0082 (45-0493)	今　村　信	小　野　英　雄
多　喜　浜	多喜浜五丁目７番 34 号	45-0142 (45-0035)	松　原　由　起	築　山　税
泉　川	岸の上町一丁目 13 番 68 号	43-4145 (43-4146)	髙　橋　美　鈴	宇　野　公　章
船　木	船木 4299 番地の１	41-6260 (41-6362)	久 保 田 真 士	直　野　伸　也
わかば分教室	船木甲 2971 番地の１	31-7645 (31-7646)		
中　萩	中萩町６番 61 号	41-6225 (41-6265)	中　野　久	髙 須 賀 美 雪
大　生　院	大生院 1070 番地の１	41-6627 (41-6694)	髙　橋　靖	新　上　美　穂
角　野	中筋町二丁目７番 10 号	43-7141 (43-7142)	菅　知　子	岩　本　康　孝
別　子	別子山甲 358 番地	64-2117 (64-2321)	別子中と兼務	別子中と兼務
合　計				

※　大島小学校……H25.3.31 廃校
※　若宮小学校……H30.3.31 廃校

（令和２年５月１日現在）

教室数		園舎面積	校地面積			遊戯場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
5	—	1,237	1,008	1,130	2,138	185	37
3	—	965	1,037	1,705	2,742	144	29
8	—	2,202	2,045	2,835	4,880	329	66

（令和２年５月１日現在）

教室数		校舎面積	校地面積			屋内運動場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
8	12	3,757	10,990	7,154	18,144	831	375
11	8	3,795	11,274	10,274	21,548	807	425
24	9	5,640	10,358	10,852	21,210	1,033	425
18	8	3,616	14,565	7,001	21,566	919	425
27	17	6,706	9,664	13,325	22,989	1,196	475
10	10	3,434	8,591	9,449	18,040	807	400
15	11	4,088	8,010	12,235	20,245	807	425
12	8	2,778	7,646	4,884	12,530	807	425
21	14	5,560	9,400	8,283	17,683	894	400
8	11	2,944	6,664	7,138	13,802	919	400
23	16	6,181	12,800	10,197	22,997	1,023	475
17	12	3,975	9,811	9,034	18,845	807	400
1	—	—	—	—	—	—	—
33	15	7,669	10,383	16,268	26,651	1,239	425
14	9	3,087	9,537	7,095	16,632	807	425
22	16	6,137	15,797	13,079	28,876	1,033	425
3	0	58	2,899	500	3,399	551	—
267	176	69,425	158,389	146,768	305,157	14,480	6,325

中 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 （ＦＡＸ）	校長氏名	教頭氏名
東	東雲町一丁目４番 23 号	37-1294 (37-1038)	神 尾 宏 之	山 下 隆 一
西	江口町７番１号	37-2021 (37-2023)	大 西 誠	藤 原 正 治
南	庄内町二丁目４番 47 号	37-0310 (37-5392)	山 田 浩 司	越 智 誠 司
北	宮西町５番 81 号	33-9135 (33-9136)	小笠原 忠 彦	菅 道 正
泉 川	星原町７番８号	43-5800 (43-5821)	田 中 利 季	加 藤 啓 子
船 木	船木甲 3754 番地の１	41-6347 (41-6364)	大久保 浩	古 見 総 一 郎
船 木 ひびき分校	船木甲 2971 番地の１	31-7645 (31-7646)		志 賀 忍
中 萩	中萩町 13 番 31 号	43-5131 (43-5132)	西 原 泰 介	秦 竜 吾
大 生 院	大生院 1070 番地の２	41-6927 (41-6229)	近 藤 栄 一	久 保 善 嗣
角 野	宮原町 11 番 51 号	43-6108 (43-6109)	阪 本 博 和	曽 我 部 大 地
川 東	神郷二丁目４番１号	45-0180 (45-0144)	神 野 剛	山 本 基 二
別 子	別子山甲 358 番地	64-2115 (64-2321)	上 林 正 佳	伊 藤 良 夫
合 計				

（令和２年５月１日現在）

教室数		校舎面積	校地面積			屋内運動場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
15	13	4,533	10,200	6,596	16,796	1,388	400
7	12	4,830	13,504	11,456	24,960	816	400
14	15	4,731	12,699	7,811	20,510	981	375
9	13	4,005	15,880	9,628	25,508	1,138	425
10	18	4,256	14,451	6,942	21,393	981	425
8	10	3,401	10,679	11,108	21,787	1,014	400
3	9	1,036	6,171	1,681	7,852	428	150
17	18	4,865	16,838	11,641	28,479	1,031	425
6	13	3,210	8,987	6,299	15,286	830	—
11	15	4,814	10,934	11,018	21,952	1,031	375
18	19	5,768	13,997	20,673	34,670	1,055	400
4	5	856	881	882	1,763	145	—
122	160	46,305	135,221	105,735	240,956	10,838	3,775

放課後児童クラブ一覧表

（令和２年５月１日現在）

クラブ名称	設置場所	クラブ名称	設置場所
たねっこクラブ１	高津小学校	あひるクラブ１	神郷小学校
たねっこクラブ２	同上	あひるクラブ２	同上
たねっこクラブ３	同上	あひるクラブ３	同上
ひかりクラブ１	中萩小学校	すみれクラブ	宮西小学校
ひかりクラブ２	同上	ひまわりクラブ	垣生小学校
ひかりクラブ３	同上	のぞみクラブ	惣開小学校
なかよしクラブ	新居浜小学校	あじさいクラブ	多喜浜小学校
たんぽぽクラブ１	金栄小学校	ぱんだクラブ１	泉川小学校
たんぽぽクラブ２	同上	ぱんだクラブ２	同上
こばとクラブ１	角野小学校	ぱんだクラブ３	同上
こばとクラブ２	同上	かがやきクラブ１	金子小学校
こばとクラブ３	同上	かがやきクラブ２	同上
うずいクラブ	大生院小学校	かがやきクラブ３	同上
かぶとクラブ１	船木小学校	きりんクラブ	上部児童センター
かぶとクラブ２	同上	ぴかっこクラブ	川東児童センター

通　学　区　域

小学校名	通　学　区　域
新居浜	大江町、港町、若水町一丁目、若水町二丁目、菊本町一丁目、菊本町二丁目、新須賀町一丁目、新須賀町二丁目、新須賀町三丁目、新須賀町四丁目
宮西	西町、中須賀町一丁目、中須賀町二丁目、西原町一丁目、西原町二丁目、西原町三丁目、泉池町、泉宮町、宮西町、徳常町、繁本町
金子	一宮町一丁目、一宮町二丁目、久保田町一丁目、久保田町二丁目、久保田町三丁目（１番から９番まで）、八雲町、平形町、田所町、庄内町一丁目、庄内町二丁目、庄内町三丁目、庄内町四丁目（１番から３番まで、５番 30 号から 39 号まで）、庄内町五丁目、庄内町六丁目、江口町（１番から３番まで、５番、６番、８番から 17 番まで）、北新町（１番、２番、４番、５番）、城下町（１番から６番まで）
金栄	滝の宮町、西の土居町一丁目、西の土居町二丁目（１番から７番まで、９番から 17 番まで）、高木町、政枝町一丁目、政枝町二丁目、政枝町三丁目、久保田町三丁目（10 番、11 番）、庄内町四丁目（４番、５番（金子小学校の区域を除く。）、６番、７番）、坂井町一丁目、坂井町二丁目、金子丙（１番地から 30 番地まで）
高津	宇高町一丁目、宇高町二丁目、宇高町三丁目、宇高町五丁目（１番から９番まで、12 番、13 番）、沢津町一丁目、沢津町二丁目、沢津町三丁目、東雲町一丁目、東雲町二丁目、東雲町三丁目（１番から８番まで）、松の木町（１番）、高津町、清水町、南小松原町、桜木町、郷一丁目（１番、７番）、郷五丁目（２番）、高田二丁目（１番、６番）、田の上四丁目（６番から９番まで）
浮島	松の木町（２番から 13 番まで）、宇高町四丁目、宇高町五丁目（10 番、11 番、14 番、15 番）、垣生六丁目（１番、15 番）、八幡一丁目（９番から 21 番まで）、八幡二丁目、八幡三丁目（１番、４番４号から 18 号まで・36 号・40 号・43 号、５番から８番まで、９番３号・39 号から 54 号まで、10 番 38 号から 48 号まで）
惣開	星越町、前田町、王子町、河内町、北新町（３番、６番から 13 番まで）、西の土居町二丁目（８番）、磯浦町、江口町（４番、７番、18 番）、金子丙（金栄小学校の区域を除く。）、惣開町、新田町一丁目、新田町二丁目、新田町三丁目、新居浜乙
垣生	垣生一丁目、垣生二丁目、垣生三丁目、垣生四丁目、垣生五丁目、垣生六丁目（２番から 14 番まで）、八幡一丁目（１番から８番まで）、八幡三丁目（２番、３番、４番（浮島小学校の区域を除く。）、９番（浮島小学校の区域を除く。）、10 番（浮島小学校の区域を除く。））、長岩町、垣生
神郷	郷一丁目（２番から６番まで、８番から 16 番まで）、郷二丁目、郷三丁目、郷四丁目、郷五丁目（１番、３番から９番まで）、東雲町三丁目（９番）、清住町、落神町、又野一丁目、又野二丁目、又野三丁目、高田一丁目、高田二丁目（２番から５番まで）、田の上一丁目、田の上二丁目、田の上三丁目、田の上四丁目（１番から５番まで、10 番から 12 番まで）、松神子一丁目、松神子二丁目、松神子三丁目、松神子四丁目、神郷一丁目、神郷二丁目、楠崎一丁目（１番、３番、４番 33 号から 46 号まで・60 号から 62 号まで・65 号・66 号、５番から８番まで）、楠崎二丁目、多喜浜一丁目（８番１号から 16 号まで・56 号から 89 号まで）、多喜浜四丁目（８番１号から 11 号まで・28 号から 53 号まで、９番、10 番）、多喜浜五丁目（10 番１号から８号まで）、郷、郷乙
多喜浜	楠崎一丁目（２番、４番（神郷小学校の区域を除く。））、多喜浜一丁目（１番から７番まで、８番（神郷小学校の区域を除く。）、９番、10 番）、多喜浜二丁目、多喜浜三丁目、多喜浜四丁目（１番から７番まで、８番（神郷小学校の区域を除く。）、11 番、12 番）、多喜浜五丁目（１番から９番まで、10 番（神郷小学校の区域を除く。）、11 番、12 番）、多喜浜六丁目、阿島一丁目、阿島二丁目、阿島三丁目、阿島四丁目、阿島、荷内町、黒島一丁目、黒島二丁目、黒島、大島

小学校名	通　　学　　区　　域
泉　　川	松木町、西喜光地町、喜光地町一丁目、松原町、坂井町三丁目、瀬戸町、寿町、星原町、上泉町、外山町、岸の上町一丁目、岸の上町二丁目、城下町（７番）、下泉町一丁目、下泉町二丁目、観音原町、東田一丁目、東田二丁目、東田三丁目、国領一丁目、光明寺一丁目、光明寺二丁目
船　　木	船木、七宝台町
中　　萩	萩生、横水町、本郷一丁目、本郷二丁目、本郷三丁目、中萩町、上原一丁目、上原二丁目、上原三丁目、上原四丁目、中村一丁目、中村二丁目（１番から 15 番まで）、中村三丁目（３番から 11 番まで）、中村四丁目（３番から９番まで、11 番、15 番から 18 番まで）、御蔵町（２番、３番）、中村松木一丁目、中村松木二丁目、土橋一丁目、土橋二丁目（１番から 10 番まで、13 番、14 番）、大永山（出口、小味池）
大 生 院	大生院
角　　野	土橋二丁目（11 番、12 番、15 番から 17 番まで）、中村二丁目（16 番）、中村三丁目（１番、２番）、中村四丁目（１番、２番、10 番、12 番から 14 番まで）、御蔵町（１番、４番から 13 番まで）、喜光地町二丁目、西泉町、西連寺町一丁目、西連寺町二丁目、篠場町、山田町、山根町、中西町、宮原町、中筋町一丁目、中筋町二丁目、北内町一丁目、北内町二丁目、北内町三丁目、北内町四丁目、吉岡町、角野新田町一丁目、角野新田町二丁目、角野新田町三丁目、種子川町、角野、大永山（出口・小味池を除く。）、立川町、種子川山
別　　子	別子山

中学校名	通　　学　　区　　域
東	高津小学校区、松の木町、宇高町四丁目
西	惣開小学校区、江口町、北新町
南	金子小学校区（北中学校区、西中学校区を除く。）、金栄小学校区
北	新居浜小学校区、宮西小学校区、一宮町二丁目（２番 18 号から 42 号まで・100 号から末号まで、３番から５番まで、６番 32 号から 67 号まで・100 号から末号まで）
泉　　川	泉川小学校区
船　　木	船木小学校区
中　　萩	中萩小学校区
大 生 院	大生院小学校区
角　　野	角野小学校区
川　　東	垣生小学校区、神郷小学校区、多喜浜小学校区、浮島小学校区（東中学校区を除く。）
別　　子	別子小学校区

園児・児童・生徒数の推移（平成２７年度～令和６年度）

（毎年度５月１日現在）

学校＼年度	27	28	29	30	元	2	3（見込）	4（見込）	5（見込）	6（見込）
新居浜小学校	218	204	218	212	192	174	174	173	165	173
宮西小学校	243	235	223	227	218	217	199	199	206	194
金子小学校	649	624	644	624	650	635	637	623	592	592
金栄小学校	346	382	388	385	405	419	414	401	402	417
高津小学校	706	706	698	679	658	636	617	584	560	536
浮島小学校	112	117	119	130	124	123	138	135	129	131
惣開小学校	302	319	317	345	344	340	350	355	389	397
若宮小学校	66	51	37	－	－	－	－	－	－	－
垣生小学校	285	266	270	263	241	240	235	224	224	210
神郷小学校	582	579	572	564	564	536	525	500	477	456
多喜浜小学校	158	142	133	137	132	133	124	131	128	122
大島小学校	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
泉川小学校	505	515	545	572	590	588	595	605	583	587
船木小学校	362	363	362	367	379	375	359	336	341	317
中萩小学校	977	943	941	921	897	867	854	839	850	849
大生院小学校	249	253	263	257	250	255	248	230	206	188
角野小学校	653	646	647	642	634	611	598	593	556	545
別子小学校	4	3	3	4	4	4	5	5	5	3
小学校計	**6,417**	**6,348**	**6,380**	**6,329**	**6,282**	**6,153**	**6,072**	**5,933**	**5,813**	**5,717**
東中学校	415	410	409	380	370	377	374	362	332	320
西中学校	271	258	234	226	222	208	184	177	164	170
南中学校	458	444	450	453	423	431	439	501	542	523
北中学校	233	246	215	205	186	192	208	207	200	192
泉川中学校	255	243	244	216	229	247	291	281	302	289
船木中学校	208	198	174	180	162	171	165	188	183	191
船木中学校ひびき分校	5	10	10	8	9	9	－	－	－	－
中萩中学校	514	517	491	501	466	471	502	523	531	499
大生院中学校	142	127	112	113	116	120	113	111	108	109
角野中学校	313	309	320	321	308	307	312	315	305	305
川東中学校	550	545	518	530	505	515	531	546	549	543
別子中学校	1	8	12	17	17	16	16	15	16	18
中学校計	**3,365**	**3,315**	**3,189**	**3,150**	**3,013**	**3,064**	**3,135**	**3,226**	**3,232**	**3,159**
王子幼稚園	104	86	54	51	36	28	－	－	－	－
神郷幼稚園	61	64	56	51	41	19	－	－	－	－
幼稚園計	**165**	**150**	**110**	**102**	**77**	**47**	－	－	－	－

※大島小学校……H25.3.31 廃校　若宮小学校…H30.3.31 廃校

中学校卒業者の進路状況

（　）卒業者に対する百分率

	卒業者数	進学者数	就職者数			公共職業能力開発施設等入学者	その他自己就職家事手伝等
			県内	県外	総数		
元	1,028	1,005 (97.8)	4 (0.4)	4 (0.4)	8 (0.8)	0 (0.0)	15 (1.4)
30	1,091	1,071 (98.2)	5 (0.5)	1 (0.1)	6 (0.5)	0 (0.0)	14 (1.3)
29	1,051	1,030 (98.0)	10 (1.0)	0 (0.0)	10 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)
28	1,157	1,124 (97.1)	11 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)	0 (0.0)	22 (1.9)
27	1,147	1,128 (98.3)	7 (0.6)	0 (0.0)	7 (0.6)	0 (0.0)	12 (1.0)
26	1,177	1,152 (97.9)	13 (1.1)	0 (0.0)	13 (1.1)	0 (0.0)	12 (1.0)
25	1,153	1,129 (97.9)	7 (0.6)	2 (0.2)	9 (0.8)	0 (0.0)	15 (1.3)
24	1,200	1,179 (98.3)	9 (0.8)	0 (0.0)	9 (0.8)	0 (0.0)	12 (1.0)
23	1,194	1,166 (97.7)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	0 (0.0)	13 (1.1)
22	1,123	1,096 (97.6)	12 (1.1)	0 (0.0)	12 (1.1)	3 (0.3)	12 (1.1)
21	1,163	1,121 (96.4)	24 (2.1)	0 (0.0)	24 (2.1)	2 (0.2)	16 (1.4)
20	1,093	1,067 (97.6)	11 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)	1 (0.1)	14 (1.3)
19	1,131	1,101 (97.3)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	1 (0.1)	14 (1.2)
18	1,138	1,101 (96.7)	16 (1.4)	0 (0.0)	16 (1.4)	3 (0.3)	18 (1.6)
17	1,139	1,106 (97.1)	13 (1.1)	0 (0.0)	13 (1.1)	2 (0.2)	18 (1.6)
16	1,231	1,194 (97.0)	5 (0.4)	0 (0.0)	5 (0.4)	2 (0.2)	30 (2.4)
15	1,274	1,235 (96.9)	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	37 (2.9)
14	1,319	1,274 (96.6)	3 (0.2)	0 (0.0)	3 (0.2)	0 (0.0)	42 (3.2)
13	1,376	1,321 (96.0)	2 (0.1)	0 (0.0)	2 (0.1)	1 (0.1)	52 (3.8)
12	1,410	1,362 (96.6)	4 (0.3)	1 (0.1)	5 (0.4)	1 (0.1)	42 (3.0)

※平成 28 年度については、定時制・通信制高等学校への進学と同時に就職している者は就職者数に計上する。（対象生徒２名）（学校基本調査による）

発　達　支　援　課

第１　最重要課題

障がいや発達課題のある子どもへの生涯にわたる一貫した支援

第２　重点事項（取組方針）

１　子どもにとって、より身近な場所での療育の実現（早期対応・就学前相談・療育の充実）

（１）保育園・幼稚園でできる療育に向け、支援者のスキルアップを図る。
巡回相談や、保育ステップアップ講座（園内研修支援事業）を実施し、保育士や幼稚園教諭等が、子どもの特性を理解し、その特性に応じ、対応をPDCAサイクルにより行うことができるよう支援する。

（２）こども発達支援センターの「ことばの教室」、「育ちの教室」における療育の機会を充実する。
また、対象児が在籍する保育園・幼稚園及び児童発達支援事業所、保健センターとの連携を深める。

２　インクルーシブ教育システムの構築（学校教育の展望）

（１）特別支援教育、発達支援に関する各種研修会を開催し、幼児、児童及び生徒の理解と対応を深める。

（２）ユニバーサルデザインの授業づくり

ア　特別支援教育の知見を活かして集団を育て、居心地のいい居場所のある学校づくりを目指す。

イ　ユニバーサルデザインの授業づくりに努め、主体的・対話的で深い学びを追求する。

（３）通常学級に在籍する、発達に課題のある児童生徒への指導体制づくりを強化する。

ア　通常の学級において、一人一人に応じた指導を工夫するとともに、必要に応じて通級による指導を活用するなど、多様で柔軟な支援体制を充実させる。

イ　障がい特性の理解を深め、的確な合理的配慮を提供する。また、MIM等のアセスメントツールの活用や校内支援会議の充実を図り、児童生徒理解に努める。

３　「トライアングルプロジェクト」の推進（家庭・教育・福祉の連携）

（１）障がいのある子どもに係る福祉制度について、学校等の教育関係者に対して周知を図る。

（２）支援会議等において、必要に応じて関係機関が情報を共有し、支援の充実を図る。

（３）保護者同士の交流の場等の促進

ア　周囲に子育てに関する悩み等を話せる人がおらず、孤立感・孤独感を感じて、家に引きこもってしまう場合があることを踏まえ、県が実施するペアレントメンターによる相談支援を周知するとともに、こども発達支援センター利用の幼児保護者同士が、気軽に話せる場を設定する。

イ　保護者が発達障がいの特性を踏まえた接し方やほめ方等を学び、子どもの問題行動を減少できるよう、保護者に対してのペアレントトレーニングによる支援を行う。

（４）個別の支援計画を活用した関係機関との連携

ア　個別の支援計画を作成する際、子どもが利用する医療機関、放課後等デイサービス及び児童発達支援事業所等、保健所、就労支援機関等の関係機関と連携し、本人や保護者の意向を踏まえ、情報共有を図る。

イ　障がいのある子どもについては、学校生活のみならず、家庭生活や地域での生活を含め長期的な視点に立って、幼児期から学校卒業後までの一貫した支援を行うことが重要であることから、関係機関と連携し、就学、進学、就労等の際に円滑に引き継ぐことができる体制の構築に努める。

４　キャリア発達を促す自立活動の充実

（１）自立活動の意義・指導の充実

ア　自立活動の意義を確認するとともに、特別支援学級、通級による指導及び通常の学級において、一人一人に応じた指導の充実を図る。

イ　各種研修会の充実や巡回相談の活用により、特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任や通級指導担当者等のアセスメント力や実践力の向上を図る。

ウ　様々なアセスメントをもとに、合理的配慮を踏まえた支援を行う。

（２）一人一人の社会的・職業的自立に向けた自立活動の充実

ア　幼児・児童・生徒に対して様々な困難を改善・克服するための指導を行い、健やかなキャリア発達を促す。

イ　一人一人の将来を見据え、進路に応じたキャリア教育を推進する。

第３　主な事業

１　発達支援教育充実費（ 24,235 千円）

（１）研修事業　　・・・各種研修会開催、職員研修

（２）相談事業　　・・・巡回相談、発達検査

（３）地域療育事業・・・早期療育指導員報酬、療育事業研修

２　小学校特別支援教育充実費（111,919 千円）

学校支援員（16 人）、学校生活介助員配置

３　中学校特別支援教育充実費　（19,861 千円）

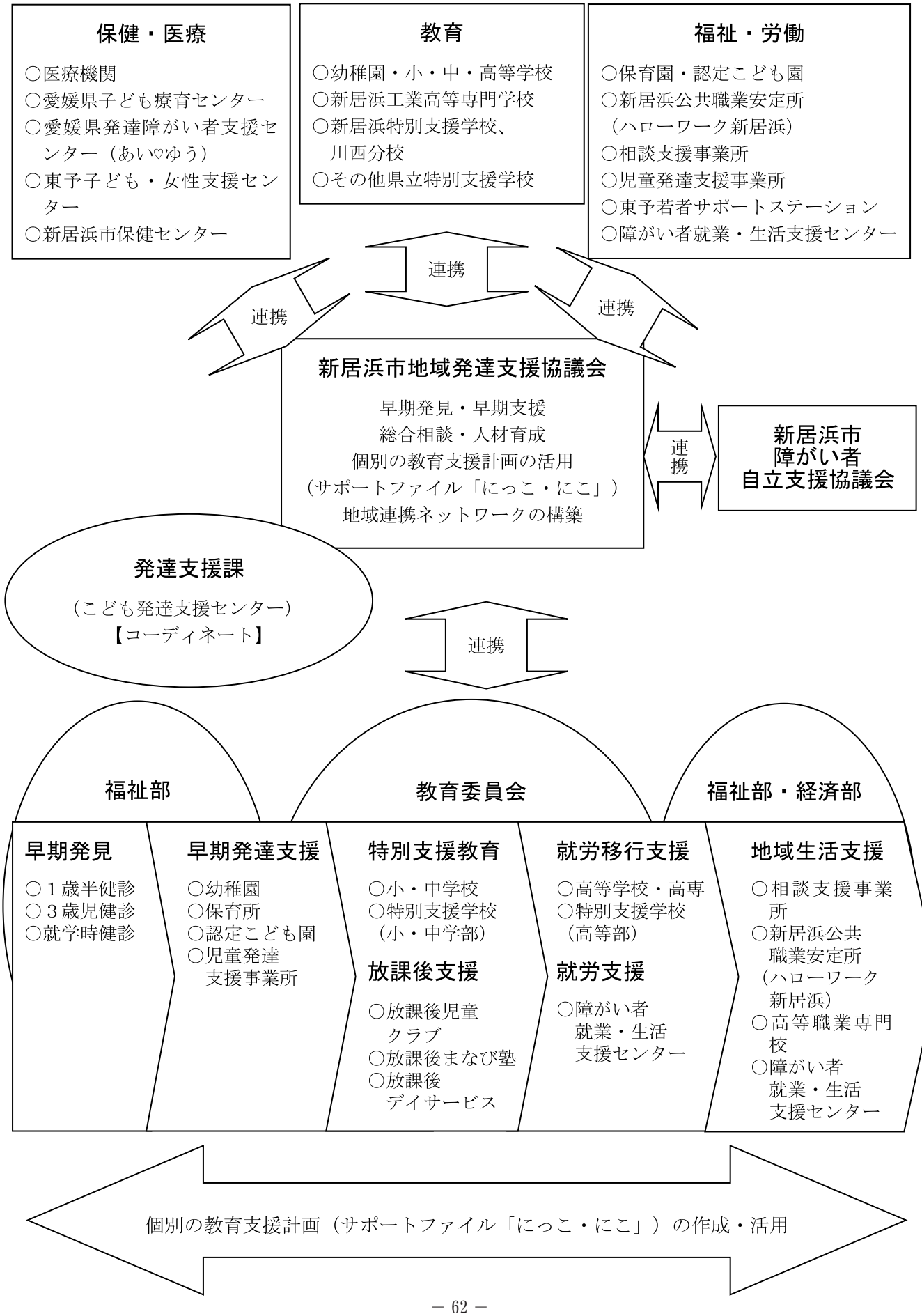
学校生活介助員配置

４　幼稚園特別支援教育充実費　（15,699 千円）

公立幼稚園学校生活介助員配置

私立幼稚園特別支援教育事業補助金

発達支援システムイメージ図



学　校　給　食　課

第１ 最重要課題

子どもたちの健康を守るとともに、安全で喜ばれる給食づくり

第２ 重点事項（取組方針）

１　食育の推進

成長期にある児童生徒の、食に関する正しい理解と、適切な判断力を養うため、安全で栄養バランスのとれた学校給食を「生きた教材」として活用し、正しい食習慣を身に付けるための指導を行う。

（１）栄養バランスのとれた給食の提供に努める。
（２）校内放送や各種資料等を活用し、児童生徒に対する指導を行うとともに、栄養バランスのとれた献立づくりを家庭に普及する。
（３）安全性を最優先した食物アレルギー対応に努める。
（４）バイキング給食、マナー給食等、特別給食の実施に努める。
（５）郷土料理等、地元の特徴を生かした給食の実施に努める。
（６）地元産物の活用に努める。

２　衛生管理の向上・安全保持

安全で安心な学校給食実施のため、食中毒予防対策、異物混入対策等の徹底を図り、衛生管理の向上・安全保持に努める。

（１）各調理場の施設設備の衛生面、安全性を重視した修繕、更新を図る。
（２）各調理場において、ネズミ・害虫等の防除を図る。
（３）学校給食研修会、調理場訪問衛生研修会等、衛生管理徹底のための研修の充実を図る。

３　学校給食センター設備の更新

平成 13 年度に設置した学校給食センターについて、順次調理機器の更新が必要な時期にきていることから、計画的な設備更新を図る。

４　新たな共同調理場（給食センター）の整備

小学校調理場の老朽化が進んでいるため、平成 29 年度に策定した学校給食施設整備基本計画に基づき共同調理場（センター）方式にて整備を行う。

５　学校給食費の適正な負担等

多子世帯の経済的負担の緩和や、公平性の観点から未納解消に取り組む必要がある。

（１）学校給食多子世帯支援事業を実施する。
（２）法的措置も含め、給食費の未納解消に取り組む。

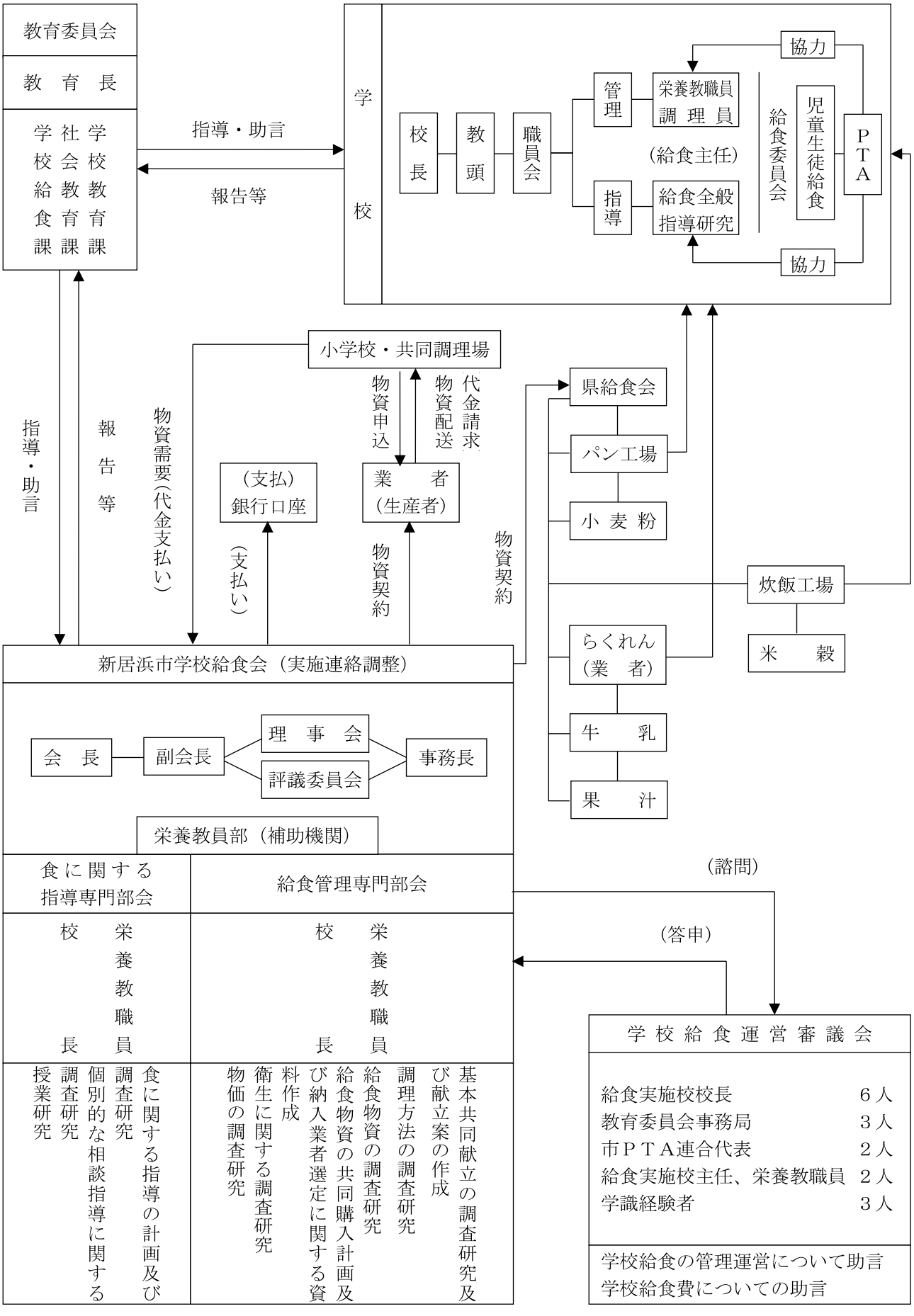
第３　施設状況

施　設　名	所　在　地	建設年月	構　　造	敷地面積	建物面積	電　話	所(場)長氏名
学校給食センター	瀬戸町 12 番 38 号	平成 13.3	鉄骨造２階建　外	4,597 ㎡	(本体) 2,232 ㎡ (その他) 84 ㎡	31-7470	安藤寛和
高津共同調理場	宇高町二丁目 13 番７号	昭和 57.2	鉄筋コンクリート造 陸屋根平屋建　外 (平成 10.8 増築)	―	(本体) 260 ㎡ (その他) 12 ㎡	37-3797	飯尾規彦

※ 小学校給食室省略

〔対象校〕　学校給食センター　西中・南中・北中・泉川中・船木中・中萩中・角野中・川東中
愛媛県立新居浜特別支援学校（本校・川西分校）・泉川小（米飯のみ）
高津共同調理場　高津小学校・東中学校

学　校　給　食　運　営　組　織　図


教育委員会
教　育　長
学校給食課
社会教育課
学校教育課
指導・助言
報告等
学校
校長
教頭
職員会
管理
栄養教職員
調理員
（給食主任）
指導
給食全般
指導研究
給食委員会
児童生徒給食
PTA
協力
協力
小学校・共同調理場
物資申込
物資配送
代金請求
（支払）
銀行口座
業　者
（生産者）
（支払い）
物資契約
物資契約
県給食会
パン工場
小麦粉
炊飯工場
米　穀
らくれん
（業　者）
牛　乳
果　汁
指導・助言
報告等
物資需要（代金支払い）
新居浜市学校給食会（実施連絡調整）
会　長
副会長
理　事　会
評議委員会
事務長
栄養教員部（補助機関）
食に関する指導専門部会
給食管理専門部会
（諮問）
（答申）
校長　栄養教職員
食に関する指導の計画及び調査研究
個別的な相談指導に関する調査研究
授業研究
校長　栄養教職員
基本共同献立の調査研究及び献立案の作成
調理方法の調査研究
給食物資の調査研究
給食物資の共同購入計画及び納入業者選定に関する資料作成
衛生に関する調査研究
物価の調査研究
学校給食運営審議会
給食実施校校長　6人
教育委員会事務局　3人
市ＰＴＡ連合代表　2人
給食実施校主任、栄養教職員　2人
学識経験者　3人
学校給食の管理運営について助言
学校給食費についての助言

新 居 浜 市 学 校 給 食 の 推 移

年度	給食の形態			1食当たり給食費(円)	献立等	購入
	ミルク給食	還元牛乳	完全給食			
S22	市内全小学校					
23～			小1校			
25			小2校			
26～			小4校	15	各校単独献立	各校単独購入
31			小5校			
32			小6校		栄養職員1名で立案	
33			小7校		市教委栄養職員指導	
34			小8校		各校へ栄養職員配置	準共同購入（乾物・砂糖のみ）
35			小12校			
36			小13校			
37～		市内全小中学校	小16校・中2校	25		
39				30		
40						（卵追加）
41～				40	準共同献立	
43				46	完全共同献立	
44						完全共同購入
45			小16校・中1校	55		
46		10月より牛乳		65		
47			小17校・中1校	70		
48				85		
49～				130	11月栄養職員県費切替	
51				150	米飯週1回実施	
52		9月より紙容器	改築（小学校）金子、船木			
53			泉川、垣生			
54			宮西、金栄、浮島、大生院	160	4月から10月ジュース実施	
55			神郷、惣開、多喜浜		2学期から米飯週2回実施	
56～			高津	180	全校へ「おはし」導入	
58			若宮			
59			角野、中萩		ジュース5、6、7、9月実施	
60					2学期から米飯週2.5回実施	
61～			新居浜			
H1					学校給食地域農産物等活用モデル指定校（神郷小）	
2				小200 中220	米飯週3回実施 学校給食情報ネットワーク化事業モデル校（大生院小）	
3					給食用食器強化磁器導入（惣開小）	
4					学校給食地域農産物等活用モデル指定校（角野小）	
5					〃	
6～				小220 中260		
10			小17校・中2校		高津共同調理場設置	
11						
12						
13			小17校・中10校		地元産米の使用 学校給食センター設置	
14						
15			小18校・中11校		別子小中学校を追加（合併）	
16～						
21				21.9 小240 中280		
22					別子小中学校調理場改修	
23					地元産米を地元業者納入	
24						
25～			小17校・中11校		大島小学校廃校	
30			小15校・中10校		若宮小学校閉校 別子小・中学校の学校給食が寮給食に移行	
31				小260 中300		
R1						

※平成25年度～大島小学校廃校、平成29年度末～若宮小学校閉校、平成30年度～別子小中学校寮給食に移行

ス　ポ　ー　ツ　振　興　課

第１　最重要課題

『親しむ・楽しむ・育てる』スポーツのまちづくり

第２　重点事項（取組方針）

１　生涯スポーツの推進とスポーツ機会の創出

（１）新居浜市（教育委員会）関係のスポーツイベント等の充実
　ア　市民歩け歩け大会の開催
　イ　第５１回市民体育祭の開催
　ウ　第４回あかがねマラソンの開催
　エ　青少年育成スポーツ活動事業（少年スポーツ大会）の開催
　オ　各校区、地区における地域スポーツ育成事業の実施
（２）愛・野球博事業への協力と活動支援
　ア　愛・野球博実行委員会事業への協力
（３）市内のスポーツ関係団体が行うスポーツ活動との連携と支援
　ア　新居浜市スポーツ協会　→　体育功労者等の表彰や市民体育祭への参画など
　イ　新居浜市連合体育振興会　→　校区運動会や地域スポーツ育成事業実施など
　ウ　新居浜市スポーツ推進委員協議会　→　市民体育祭や校区運動会に参画など
　エ　新居浜市文化体育振興事業団　→　スポーツ大会やスポーツ教室の開催など

２　トップアスリートの育成とチームの競技力向上

（１）市内の小中学生及び高校生選手の競技力向上
　ア　全国トップクラスの指導者による中高連携した競技力向上講習会等の実施
　　（サッカー、セーリング、バスケットボール、バドミントン、野球、陸上競技）
　イ　全国大会出場を目指す市内の高等学校へのスポーツ強化指定校事業の展開
（２）国体レガシーを活かし、新居浜市スポーツ協会を通じた競技スポーツ種目の競技力向上

３　市民（県民）が関係するスポーツを支えるまちづくり

（１）市内の各団体が主催する市民スポーツ活動への支援
　ア　知的障がい者のスポーツプログラム実践事業
　イ　第 14 回新居浜市ジュニアカップ事業
　ウ　第 35 回新居浜市駅伝競走大会事業
（２）全国大会・国際大会出場者へ奨励金支出による支援
　ア　全国大会、国際大会出場者に一定の奨励金を交付
　イ　全国大会優勝者と国際大会出場者は、庁舎に懸垂幕を掲示し祝福
（３）スポーツ大会開催等支援奨励金支出によるスポーツ大会及び合宿の誘致
（４）総合型地域スポーツクラブへの協力と新たな創出に向けての取組
（５）２０２０東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツまちづくり
　ア　サウジアラビア王国及びモザンビーク共和国のホストタウンとしての活動
　イ　ホストタウン対象国や日本代表選手等の事前合宿誘致
　ウ　オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火ビジットの実施
　エ　東京オリンピック・パラリンピック関連の各種スポーツ行事等への参画
（６）プロスポーツチーム等と連携したスポーツまちづくり
　ア　愛媛県内のプロスポーツチーム（愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛ＦＣ、愛媛オレンジバイキングス、ＦＣ今治）への支援とスポーツを楽しむ機会の創出
　イ　プロスポーツチームの合宿や元プロ選手によるスポーツ教室等の誘致

４　施設環境の整備と既存施設の活用

（１）市内体育施設の拡充と維持管理

ア　既存体育施設の充実（機能向上）と機能維持

イ　体育施設予約システム導入への取組

（２）総合運動公園構想実現に向けての取組

ア　地籍調査（観音原町と光明寺地区の一部）の継続実施

イ　総合運動公園基本計画策定に向けた準備

ウ　市長事務部局（企画部・建設部など）との連携強化

第３ 主な事業

１　運動部活動競技力向上事業（4,071 千円）

市内の小中学生にとって魅力ある高等学校スポーツ部活動とすることを目指し、全国トップクラスの指導者を招聘し、市内の中学生と合同で指導を行うことで中高の連携を深め、市内高等学校スポーツ部活動のレベルアップを図る。さらに、中学校運動部活動も全国大会で活躍する選手の育成、強化にも結び付くトップアスリート事業と位置づけ、選手のみならず指導者の専門的な技術、知識の取得を目指す。

２　ホストタウン交流促進事業（13,940 千円）

東京オリンピックに向けて、ホストタウンとなっているサウジアラビア王国の東京オリンピック事前合宿誘致に取り組む。あわせて、日本人オリンピアンとの交流として、ウエイトリフティング日本代表チームの合宿誘致に取り組む。

３　体育施設環境整備事業（69,688 千円）

体育施設の利用環境の安全性を高めるため、老朽化により改修が必要な箇所を計画的に整備する。また、施設管理に必要な備品類を順次更新することにより、利便性の高い施設としての機能を維持していく。

体育施設一覧表

施設名	所在地	建設年月	構造	敷地面積(㎡)	建物面積(㎡)	電話	管理者
市民体育館	東雲町一丁目 １番25号	昭和 52. 8	鉄筋コンクリート造 ３階建	4,863	6,210	34-1888	文化体育振興事業団
山根総合体育館	角野新田町 三丁目14番１号	昭和 62. 3	鉄筋コンクリート造 ２階建	5,358	3,252	43-2905	〃
多喜浜体育館	多喜浜四丁目 ３番７号	昭和 59. 3	鉄筋コンクリート造 ２階建	3,255	1,179	46-2466	〃
東雲市民プール	東雲町一丁目 １番13号	昭和 47. 6	鉄筋コンクリート造	10,744	524 水面積 2,872	32-3595	〃
山根公園屋内プール	角野新田町 三丁目14番２号	昭和 63. 9	鉄筋コンクリート造２階建プール棟は鉄骨造	7,400	1,527 水面積 395.5	43-1411	〃
別子山市民プール	別子山 甲333番地の１	昭和 57. 3	樹脂一部コンクリート造	1,430	200		別子山企業組合
市営野球場	新須賀町 三丁目２番54号	昭和 60. 7	鉄筋コンクリート造 ３階建　観覧席 本部ｽﾀﾝﾄﾞ2,090 内野ｽﾀﾝﾄﾞ3,400　外野ｽﾀﾝﾄﾞ3,010席	15,269	4,448	34-0518	文化体育振興事業団
武徳殿	徳常町４番６号	昭和 13.11	木造瓦葺平家建	2,362	584		〃
弓道場	徳常町４番15号	平成 5. 3	木造平家建	546	103		〃
重量挙練習場	東雲町一丁目 １番25号	令和 元. 5	鉄筋コンクリート造	—	425 （市民体育館建物面積内）		〃
文化振興会館	徳常町４番８号	平成 5. 3	鉄筋コンクリート造 ３階建	456	993	36-0800	〃
山根市民グラウンド	角野新田町三丁目 2822番地の９			13,403			〃
別子山市民グラウンド	別子山 乙304番地の８	昭和 57. 3		1,470			別子山企業組合
市民テニスコート	庄内町二丁目地先 及び南小松原町地先	昭和 59.10	クレーコート６面	6,600	80 コート 4,314	36-2071	文化体育振興事業団
		昭和 57. 3	全天候型ウレタンコート公式４面	4,000	コート 2,885	〃	〃
		平成 24.10	クレーコート 軟・硬両用３面	2,405	コート 1,855	〃	〃
		平成 24.10	全天候型人工芝６面	6,600	4,314	〃	〃
山根公園テニスコート	角野新田町 三丁目12番	平成 4. 3	全天候型人工芝６面 練習コート３面(壁打)	5,117	317 コート 5,117	43-2151	〃
東雲競技場	東雲町三丁目地先	平成 5. 3	全天候型300mトラック 及び投てき場	13,000	70		〃
市営サッカー場	観音原町 乙109番地	平成 11. 7	天然芝グラウンド２面 管理棟(鉄骨造平家建) 観覧席 東側500 西側500席	22,220	168	66-2522	〃

文　化　振　興　課

第１　最重要課題

文化芸術の香りを未来に伝えるまちづくり

第２　重点事項（取組方針）

１　文化力の向上

（１）子ども対象の文化芸術事業の充実
　ア　写生大会、絵画教室等の継続
　イ　あかがねミュージアム等を活用した子ども対象の文化芸術事業の充実
（２）学校や団体と連携した事業の実施
　ア　文化団体等と連携した鑑賞・体験教室の充実
　イ　幼・保・小・中学生を対象としたアウトリーチ活動の充実（文化芸術プログラム、演劇鑑賞教室、角笛シルエット劇場ほか）
（３）意欲や才能を伸ばすための文化芸術活動の支援
　ア　文化芸術を勉強している学生等に発表の機会を提供
　イ　あかがねジュニア学芸員クラブの実施

２　文化を身近に鑑賞、活動できる場所があるまち

（１）文化芸術事業の充実
　ア　市民文化祭、美術展覧会等の継続
　イ　招聘事業や助成事業を積極的に活用した質の高い文化芸術事業の開催（地域住民のためのコンサート、宝くじまちの音楽会ほか）
　ウ　あかがねミュージアム等を活用した文化芸術事業の充実
　エ　文化芸術団体等と連携した鑑賞・体験教室の充実
（２）効果的な情報の発信
　ア　ホームページやSNSを活用した情報発信の推進
（３）鑑賞する場所の整備
　ア　市民文化センターの整備方針検討
（４）文化芸術団体の活性化
　ア　活動団体の活動見学や体験する機会の提供（市民茶会ほか）
　イ　市独自の財政支援制度の創設検討

３　身近に自然・歴史が感じられ、ふるさとへの愛着と誇りをもてるまち

（１）自然・歴史を学習できる場所の整備
　ア　郷土資料の有効活用
　イ　あかがねミュージアムやふるさとラボでの学習環境の整備
　ウ　郷土文化遺産等の展示・収蔵を行う場所の整備検討
（２）市民の文化財に対する理解の促進
　ア　周知の埋蔵文化財包蔵地内における埋蔵文化財調査
　イ　文化財めぐり事業の実施
（３）文化財の適切な保存・継承・整備
　ア　国指定文化財の保存活用（管理）計画の策定着手（「銅山峰のツガザクラ群落」「旧広瀬家住宅」「旧広瀬氏庭園」）
　イ　指定文化財の案内看板や周辺の環境整備

４　伝統ある文化が継承され、市民が大切にしているまち

（１）保存や継承に向けた世代間交流の推進

ア　郷土芸能学習活動や運動会での発表等継続的な活動の推進

（２）伝統文化に接する機会の充実

ア　郷土芸能発表会の開催（令和３年度）に向けた団体活動支援

（３）伝統文化等地域の魅力発信

ア　ホームページ等での伝統文化に関する情報発信

第３ 主な事業

１　総合文化施設充実事業（23,622千円）

新居浜市美術館にて、企画展及び関連事業を開催する。

（１）コレクション展（新居浜の美術）

（２）企画展（真鍋博展）

（３）北代省三・山崎英夫展

２　文化施設環境整備事業（51,631 千円）

文化センターの計画的な整備を行い、利用環境の改善、利便性の向上を図る。

・文化センター大ホール負荷設備更新工事

・文化センター館内内線システム更新工事

・文化センター本館及び旧図書館棟西壁改修工事

・別子山ふるさと館漏水対策工事　等

３　あかがねミュージアム開館５周年記念事業（56,379 千円）

開館５周年を迎えるあかがねミュージアムにおいて、５周年記念特別企画展を実施し、市内外に向けて広くあかがねミュージアムをＰＲするものである。

４　ツガザクラ保存管理計画策定事業（7,083 千円）

国天然記念物「銅山峰のツガザクラ群落」を今後とも保存していくために植生調査を行い、保存活用計画を策定する。（令和２～４年度）

５　旧広瀬邸等保存活用事業（36,220 千円）

（１）重要文化財　旧広瀬家住宅　保存活用計画策定事業（令和２、３年度）

（２）重要文化財　旧広瀬家住宅　耐震診断事業（令和２～４年度）

（３）名勝・旧広瀬氏庭園　保存活用計画策定事業（令和２年度）

文 化 施 設

名　　称	市 民 文 化 セ ン タ ー	管理者	文化体育振興事業団
所 在 地 敷 地 面 積	繁本町８番 65 号　　☎33-2180 18,285 ㎡		
構　　造	鉄筋コンクリート造地下１階地上３階	鉄筋コンクリート造地下１階地上４階	
建 物 面 積	3,713 ㎡	2,166 ㎡	
延 床 面 積	5,219 ㎡	4,620 ㎡	
ホ　ー　ル	大ホール（1,163 席）	中ホール（固定 486 席　車いす席３）	
会 議 室		洋室 10、和室２	
教　　室		料理・茶華各１、視聴覚１	
プラネタリウム		プラネタリウム室（72 席）	
展　　示		展示室１	
そ の 他	高齢者社交室	相談室、保育室	
駐 車 場	駐車可能台数　170 台		
工 事 費	3 億 5,000 万円	5 億 4,400 万円	
完　　成	昭和 37 年 11 月３日	昭和 49 年８月９日	
改　　修	【工　期】　昭和 61 年 12 月 18 日 ～ 昭和 62 年４月 25 日 【工 事 費】4 億 500 万円 【工事概要】せり舞台を新設（約 100 ㎡） 舞台天井・側面に音響反射板の新設 客席の幅を拡大 前部客席に床暖房設備を設置 防音扉の設置 平成 23 年度 楽屋新築及び既設楽屋改修 58,289 千円		
	平成 24 年度～26 年度　耐震工事の実施 工事費　24 年度　17,850 千円　耐震診断及び補強設計 25 年度　92,075 千円　別館耐震工事等 26 年度　53,795 千円　大、中ホールの耐震補強工事及び本館耐震工事		

名　　称	別 子 山 ふ る さ と 館	管理者	新居浜市
所 在 地	別子山甲 345 番地の１　　☎64-2305	完成年月日	Ｈ２．７．31
施　　設 内　容　等	資料館１階　86.64㎡　　２階　146.87㎡ 管理棟　　２階　127.17㎡ 展示　　銅山歴史、遺跡案内、登山案内等パネル 岩石標本 銅山、物産関係		

国　指　定　文　化　財　（5）

（Ｒ２．４．１現在）

種　　類	名　　称	所　在　地	指定年月日
建　造　物	旧広瀬家住宅	上原二丁目 10 番 52 号	平成15年５月30日
工　　芸	剣銘国永	（個人蔵）	昭和31年６月28日
名　　勝	旧広瀬氏庭園	上原二丁目 10 番 52 号	平成30年２月13日
天然記念物	一宮神社のクスノキ群	一宮町一丁目３番１号　一宮神社	昭和26年６月９日
天然記念物	銅山峰のツガザクラ群落	立川町、別子山	平成31年２月26日

県　指　定　文　化　財　（１２）

（Ｒ２．４．１現在）

種　　類	名　　称	所　在　地	指定年月日
建　造　物	経堂「大転輪蔵」	山根町８番１号　瑞応寺	昭和45年３月27日
彫　　刻	木造薬師如来坐像	高木町３番 21 号　河内寺	昭和54年９月14日
工　　芸	太刀銘国継	（個人蔵）	昭和30年11月４日
工　　芸	太刀無銘	（個人蔵）	昭和39年３月27日
工　　芸	銅銭承和昌宝	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年４月２日
工　　芸	金銅密教法具	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年４月２日
考古資料	金子山古墳出土品	西の土居町二丁目 16 番 47 号慈眼寺	昭和63年４月19日
史　　跡	別子銅山口屋跡	西町６番２号	昭和24年９月17日
名　　勝	別子ライン	立川山、大永山	昭和30年11月４日
天然記念物	瑞応寺のイチョウ	山根町８番１号　瑞応寺	昭和31年11月３日
天然記念物	赤石山の高山植物	赤石山系（新居浜市、四国中央市）	昭和32年12月14日
天然記念物	久貢山のソテツ	多喜浜六丁目４番 55 号	昭和32年12月14日

市　指　定　文　化　財　（７４）

（Ｒ２．４．１現在）

種　　類	名　　称	所　在　地	指定年月日
建　造　物	大元神社本殿	大島字宮山　大島八幡神社	昭和52年４月７日
石造美術	宝篋印塔	郷四丁目 22 番	昭和52年４月７日
石造美術	狛犬	東田三丁目 1229 番地　東台神社	昭和52年４月７日
絵　　画	金胎両界曼荼羅	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
絵　　画	弘法大師御影像	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
絵　　画	絵馬「渡辺綱鬼女退治図」	新須賀町三丁目４番５号　堀江神社	昭和60年10月３日
彫　　刻	釈尊誕生仏	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
彫　　刻	十二神将像	高木町３番 21 号　河内寺	昭和52年４月７日
彫　　刻	木造聖観世音菩薩立像	萩生 2635 番地　萩生寺	昭和52年４月７日
彫　　刻	随神	八雲町 10 番 16 号　宗像神社	昭和52年４月７日
彫　　刻	牛王宝印	八雲町 10 番 16 号　宗像神社	昭和52年４月７日
彫　　刻	蛙股	八雲町 10 番 16 号　宗像神社	昭和52年４月７日
彫　　刻	仏海上人作仏像	大島 143 番地　吉祥寺	昭和53年４月６日
彫　　刻	木造阿弥陀如来立像	別子山乙 551 番地５　圓通寺	平成15年11月４日
彫　　刻	木造大日如来坐像	別子山乙 551 番地５　圓通寺	平成15年11月４日
彫　　刻	木造聖観音菩薩坐像	別子山乙 551 番地５　圓通寺	平成15年11月４日
工　　芸	太刀銘伝三条小鍛治宗近作	一宮町一丁目３番１号　一宮神社	昭和40年６月３日
工　　芸	仏舎利塔と舎利器	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
工　　芸	鉄鉢と二十五条麻袈裟	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
工　　芸	獅子王御太刀	八幡二丁目４番 69 号　八旛神社	昭和52年４月７日
工　　芸	孔雀文金銅磬	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和52年４月７日
古　文　書	秘法三十二箇巻	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
古　文　書	白石家文書	北新町 10 番１号　別子銅山記念図書館	平成16年８月５日
古　文　書	野田家文書	北新町 10 番１号　別子銅山記念図書館	平成16年８月５日
考古資料	銭がめと古銭	中村三丁目７番 12 号	昭和52年４月７日
考古資料	古宮経塚出土「経筒」	繁本町８番６５号　市民文化センター	昭和60年10月３日
考古資料	正光寺山古墳群出土遺物	繁本町８番６５号　市民文化センター	平成25年３月13日
歴史資料	西条藩領地鳥瞰図屏風	坂井町二丁目８番１号　総合文化施設	昭和60年10月３日
歴史資料	瓜生野御堂棟札	別子山瓜生野	平成15年11月４日
歴史資料	圓通寺棟札	別子山乙 551 番地７　圓通寺	平成15年11月４日
歴史資料	石造地蔵菩薩立像	別子山乙 551 番地７　圓通寺	平成15年11月４日
無形民俗文化財	とうどおくり	大島	昭和53年４月６日
無形民俗文化財	じょうさ節	垣生	昭和53年４月６日
無形民俗文化財	かぶと踊り	船木	平成16年８月５日
史　　跡	五輪塔群	西の土居町二丁目	昭和40年６月３日
史　　跡	大師泉縄文遺跡	萩生 801 番地	昭和52年４月７日
史　　跡	唐津塚	上原二丁目	昭和52年４月７日
史　　跡	小山古墳	垣生小山	昭和52年４月７日
史　　跡	桧端住居跡	船木 4638 番地の２	昭和52年４月７日
史　　跡	河内寺の塔礎石	高木町３番 21 号　河内寺	昭和52年４月７日
史　　跡	深尾権太輔の墓	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和52年４月７日
史　　跡	星原市	星原町４番	昭和52年４月７日
史　　跡	久貢屋敷と天野喜四郎の墓	多喜浜六丁目４番 55 号	昭和53年４月６日
史　　跡	つづら淵	若水町二丁目５番	昭和53年４月６日
史　　跡	金子城跡	金子山	昭和53年４月６日
史　　跡	横山古墳群	中萩町 13 番	昭和53年４月６日
史　　跡	金子山古墳	金子 15 番地	昭和58年１月６日

種　　類	名　　称	所　在　地	指定年月日
史　　跡	三義民の碑	宇高町二丁目６番　観音堂	昭和60年６月６日
史　　跡	村上平兵衛の墓	又野二丁目５番　阿弥陀堂	昭和60年６月６日
史　　跡	高橋弥市左衛門の墓	宇高町二丁目６番　観音堂	昭和60年６月６日
史　　跡	高橋孫兵衛の墓	宇高町二丁目１番52号　地蔵堂	昭和60年６月６日
史　　跡	高橋孫兵衛屋敷跡地	宇高町二丁目	昭和60年６月６日
史　　跡	金子備後守供養塔を中心とする墓	西の土居町二丁目16番47号慈眼寺	昭和60年12月５日
史　　跡	岡崎城跡	上郷郷山	昭和53年４月６日
史　　跡	広瀬家墓所	山田町217番地の１	平成16年８月５日
史　　跡	正光寺山古墳群	坂井町二丁目1419番	平成25年３月13日
名　　勝	銚子の滝	大生院大野山	昭和53年４月６日
名　　勝	樽の滝（窓の滝）	種子川山	昭和53年４月６日
天然記念物	バクチノキの群生	大島字宮山　大島八幡神社	昭和52年４月７日
天然記念物	ミョウショウジザクラ	黒島二丁目７番70号　明正寺	昭和52年４月７日
天然記念物	法泉寺のムクノキ	垣生四丁目９番12号　法泉寺	昭和52年４月７日
天然記念物	大師泉のオオバタネツケバナ	萩生801番地	昭和52年４月７日
天然記念物	ヤクシマツバキ	大生院大野山谷	昭和52年４月７日
天然記念物	漣痕	荷内町２番５号	昭和52年４月７日
天然記念物	アッケシソウ	阿島二丁目14番１号	昭和59年７月５日
天然記念物	中央構造線小河谷断層	萩生1833～2960番地の１	昭和60年１月10日
天然記念物	宗像神社の参道と社叢	八雲町10番13号　宗像神社	昭和60年11月５日
天然記念物	黒嶋神社のツバキ群生林	黒島779番地の１　黒島神社	昭和60年12月５日
天然記念物	三島神社の社叢	船木甲5371番地　三島神社	昭和60年12月５日
天然記念物	龍河神社の社叢	立川町496、497番地ほか	昭和63年５月12日
天然記念物	保土野渓谷甌穴群	別子山保土野乙475番地８地先ほか	平成15年11月４日
天然記念物	オオモミジ	別子山乙551番地13	平成15年11月４日
天然記念物	山城八幡神社社叢	別子山甲130番地	平成15年11月４日
天然記念物	エドヒガンザクラ	別子山乙83番１	平成25年３月13日

登　録　有　形　文　化　財　（９）

（Ｒ２．４．１現在）

種　　類	名　　称	所　在　地	登録年月日
建　築　物	住友化学工業愛媛工場歴史資料館	惣開町５番１号	平成13年４月24日
建　築　物	武徳殿	徳常町４番６号	平成16年３月２日
土木構造物	遠登志橋	立川町620番１地先	平成17年12月26日
土木構造物	旧別子鉱山鉄道端出場鉄橋（足谷川鉄橋）	立川町	平成21年８月７日
土木構造物	旧別子鉱山鉄道端出場隧道	立川町	平成21年８月７日
建　築　物	旧泉寿亭特別室棟	立川町707番３	平成21年８月７日
工　作　物	山根競技場観覧席	角野新田町三丁目2822番９	平成21年８月７日
工　作　物	旧山根製錬所煙突	角野新田町三丁目2822番１	平成21年８月７日
建　築　物	旧端出場水力発電所	立川町594番	平成23年１月26日

広瀬歴史記念館

日本の近代化産業を育成した広瀬宰平翁の功績を正しく理解し、新居浜の生い立ちと近代化の歩みを後世に伝えるとともに、未来に向かって市民の活力を育み、文化遺産の継承と生涯学習の拠点施設として活動の振興を図る。

施設状況

所　在　地	建設年月	構　　造	敷地面積（㎡）	建物面積（㎡）	電　話	館長氏名
新居浜市上原二丁目10番42号	展示館 平成９年４月	鉄筋コンクリート造 地上１階 地下１階	4,688.03	1,072.39	40-6333	館長 土岐　幸司
	旧広瀬邸 明治20年頃	木造瓦葺 ２階建	31,827.19 （亀池を含む）	1,318.95	43-4667	
計			36,515.22	2,391.34		

総合文化施設（あかがねミュージアム）

総合文化施設は、新居浜の歴史、文化及び芸術を通して、市民が集い、出会い、交流する場を提供することで、文化の継承、発展、創造と次世代のひとづくりを目指し、平成27年7月18日にオープンした。

施設の管理運営は、開館当初より指定管理者制度を導入しており、現在、あかがねミュージアム運営グループが行っている。

施設状況

所　在　地	開設 年月日	構　　造	敷地面積 （㎡）	建物面積 （㎡）	電　話	館 長 氏 名
坂井町二丁目８番１号	平成 27.7.18	鉄筋コンクリート造 地下１階地上３階	11,571.86	8,894.14	31－0305 65－3580	名誉館長 青柳正規 美術館長 阿部義澄

施設の概要

建物構造	Ｂ１Ｆ	ホール（248席、ロールバック式）楽屋、スタジオ１、地下駐車場
	ＧＬ	ロビー、カフェ
	１Ｆ	メインエントランス、太鼓台ミュージアム、総合案内、にいはまギャラリー
		創作スペース、アート工房、会議室、工作室、シアター、スタジオ２
	２Ｆ	美術館（展示室１、展示室２、市民ギャラリー）
	３Ｆ	機械室
開館時間	９：30～17：00	太鼓台ミュージアム、シアター、にいはまギャラリー、美術館
	９：30～21：00	アート工房、創作スペース、会議室、工作室、スタジオ２
	９：30～22：00	ホール、楽屋、スタジオ１
	10：30～17：00	カフェ
	９：00～22：30	駐車場
休 館 日	月曜日（祝日、振替休日及び第一月曜日にあたる場合は開館し、その翌平日が休館）	
	12月29日から翌年１月３日まで	

図　書　館

第１　最重要課題

生涯学習及び地域情報拠点としての図書館機能の充実

第２ 重点事項（取組方針）

１　読書活動の推進と機会の提供、生涯学習の支援

市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会・場所の提供に努める。

（具体策）こども読書通帳マラソンの実施、お話会の充実（幼児対象、小学生対象、季節行事のお話会等）、図書館まつり(ブックリサイクル・図書館見学など)、夏休みは図書館へ行こう！（子ども向けイベントの開催等）、「ＳＤＧｓ」普及啓発活動（関連書籍やチラシ等の特設展示）、読み聞かせ講座の開催、展示コーナーの充実、健康・地域活性化支援コーナーの充実、ホール・会議室等における文化集会事業の利用促進

２　関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進

市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、学校や学校図書館、病院や福祉施設、地域企業等との連携を強化する。

（具体策）図書館ネットワーク・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスによる資料提供、愛媛県立図書館図書の遠隔地返却サービス協力、ブックスタート事業、出前講座、リサイクル図書等の活用、移動図書館の利用促進、病院等施設内での利用案内の掲示、新入小学生への案内の配布・図書館カードの作成、地域企業等との協働イベント及び雑誌スポンサー制度の推進、図書館ロビー展の充実

３　地域資料の保存と情報発信、ふるさと学習の推進

郷土の歴史や文化を次世代に継承するため、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。

（具体策）古文書等のデータベース化、愛媛新聞公開データベースの閲覧、別子銅山コーナー・住友関連コーナー・住友関連企業社史コーナーの充実、「別子銅山に関する本の解説講座」等の実施、住友老壮会文庫の活用研究

４　図書館ＰＲ活動の充実

図書館の活動を市民によく知ってもらい図書館の利用促進につなげるため、あらゆる情報媒体を活用し、ＰＲ活動を推進する。

（具体策）図書館ホームページの充実、メールマガジンの発行
図書館通路等掲示板の有効活用、図書館行事・活動の広報及び報告、イメージキャラクターの活用

５　図書館運営における市民サポーター制度の推進強化

図書館サポーターとの協働による図書館支援の強化を図るとともに活動の情報発信に取り組み、サポーター登録者の拡大と活性化を図る。

（内容）読み聞かせ、配架活動、修理活動、館内環境美化活動、読み聞かせ、イベントへの協働活動

第３　主な事業

１　図書館利用促進事業（23,174 千円）

図書館は地域の情報拠点・生涯学習支援施設としての役割を果たすことが必要であり、市民が必要とする資料・情報の提供を行う。

・図書・オーディオヴィジュアル資料等購入

第４　施設状況

施設名	所　在　地	建設年月	構　　造	敷地面積（㎡）	建物面積（㎡）	電　話	館長氏名
別子銅山記念図書館（本 館）	北新町 10 番１号	平成 4.3	鉄筋コンクリート造陸屋根・銅板葺地下１階付２階建	16,534	3,072	32-1911	上野　壮行
角野分館	中筋町二丁目４番 24 号	昭和 54.7	鉄筋コンクリート造２階建	―	162	41-6217	

蔵書冊数

（Ｒ２．３．31 現在・単位：冊）

区分／分類	本館				移動図書館		角野分館			合計
	一般	児童	郷土	参考資料	一般	児童	一般	児童	参考資料	
０総記	(268) 9,365	(45) 863	(26) 1,948	(17) 2,378	(5) 62	(8) 122	(27) 529	(13) 161	(0) 83	(409) 15,511
１哲学	(247) 10,010	(41) 666	(6) 176	(1) 415	(24) 144	(11) 164	(23) 297	(14) 121	(0) 2	(367) 11,995
２歴史	(604) 18,244	(104) 2,950	(56) 2,700	(12) 1,003	(41) 204	(17) 473	(47) 689	(45) 531	(0) 25	(926) 26,819
３社会	(774) 21,920	(123) 2,733	(65) 3,206	(33) 934	(50) 239	(8) 196	(63) 686	(35) 340	(0) 4	(1,151) 30,258
４自然	(535) 13,595	(196) 5,490	(13) 387	(8) 498	(66) 527	(41) 700	(58) 564	(59) 1,015	(0) 15	(976) 22,791
５工学	(550) 15,562	(119) 1,498	(22) 709	(61) 527	(110) 1,185	(23) 266	(95) 1,072	(31) 359	(0) 6	(1,011) 21,184
６産業	(184) 5,060	(47) 1,027	(18) 597	(5) 209	(25) 144	(4) 128	(13) 184	(13) 188	(0) 1	(309) 7,538
７芸術	(644) 22,032	(331) 3,886	(25) 608	(6) 255	(126) 684	(25) 845	(34) 763	(20) 705	(0) 0	(1,211) 29,778
８語学	(93) 2,937	(38) 670	(1) 34	(12) 388	(4) 22	(8) 105	(8) 111	(9) 158	(0) 20	(173) 4,445
９文学	(2,059) 75,656	(600) 24,480	(46) 1,174	(4) 365	(279) 2,082	(135) 3,143	(545) 7,287	(172) 3,460	(0) 3	(3,840) 117,650
C紙芝居		(58) 1,912				(0) 275		(12) 237		(70) 2,424
E絵本		(905) 30,407				(410) 4,813		(250) 4,083		(1,565) 39,303
その他										
計	(5,958) 194,381	(2,607) 76,582	(278) 11,539	(159) 6,972	(730) 5,293	(690) 11,230	(913) 12,182	(673) 11,358	(0) 159	(12,008) 329,696

（Ｒ２．３．31 現在・単位：点）

Ａ　Ｖ　資　料	
Ｃ　Ｔ （カセットテープ）	(0) 33
Ｖ　Ｔ （ビデオテープ）	(0) 619
Ｃ　Ｄ	(115) 3,033
Ｄ Ｖ Ｄ	(113) 1,847
計	(228) 5,532

（ ）内は本年度受入数

人　権　教　育　課

第１　最重要課題

あらゆる垣根をこえて、あたたかい心で交わりあうことのできる社会の実現

第２　重点事項（取組方針）

１　あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進

（１）地域、家庭における人権教育・啓発の推進

ア　お茶の間人権教育懇談会の拡充を図るため、社会教育をはじめとした関係機関への啓発活動に取り組む。

イ　人権教育講座の研修内容充実に努める。

ウ　ふれ愛フェスタや人権に関わる講演会等の開催により、多くの市民が人権について気軽に考える場を提供する。

エ　愛媛県人権教育協議会新居浜支部が主催する、校区別人権教育市民講座の開催を支援する。

オ　新居浜市人権尊重のまちづくり条例で定められている毎月 11 日の「人権のつどい日」には、人権に関する講座や講演会を開催して、人権意識を高めあう。

（２）企業等における人権教育・啓発の推進

ア　組織・企業等が主催する人権教育講座・セミナー開催を支援して、人権・同和教育の推進体制を確立する。

イ　愛媛県人権教育協議会新居浜支部組織・企業部会の協力により、未加入の組織・企業に対する人権・同和教育を推進する。

ウ　就職の機会均等に万全を期すとともに、人権尊重を基盤とした職場づくりを推進する。

エ　校区別人権教育市民講座への積極的な参加を呼びかける。

（３）行政職員に対する人権教育の推進

ア　各種実践研修や派遣研修への、行政職員参加を支援する。

イ　愛媛県人権協議会新居浜支部行政部会との連携と協力により、校区別人権教育市民講座への積極的な参加を呼びかける。

（４）人権教育・啓発資料の作成及び配布

ア　教育・啓発用の教材・教具の整備と活用を図る。

イ　市民啓発資料の作成及び配布

市政だよりへの折込み「人権啓発特集号」の発行（年間２回）・「えひめ人権・同和教育」を関係団体等へ配布（年間３回）

ウ　差別解消を目指す動画メッセージの作成

新居浜市行政広報番組「マイタウン新居浜」を活用して、人権に関する動画メッセージの作成に取り組む。

（５）人権教育推進機関等との連携強化

ア　小中学校、県立学校研究大会の開催を支援する。

イ　各種研修会・研究会・研究大会等への参加を支援する。

ウ　関係機関・団体等が主催する各種学習会等へ、人権啓発指導員をはじめとした講師・指導者を派遣する。

第３ 主な事業

１　人権教育推進事業（3,438 千円）

様々な人権問題解決に向けて、お茶の間人権教育懇談会、組織・企業向け人権教育講座・セミナー、ふれ愛フェスタハートフル新居浜、人権のつどい日等の人権教育・啓発事業を実施するとともに、市政だよ

り特集号や身元調査お断りステッカー、その他人権同和教育推進資料等の人権啓発資料作成・配布に取り組むことにより、市民の方々が様々な人権問題について正しい理解と知識を深めていただける場を提供する。

さらに、県内・四国・全国等の各地で開催される各種研究大会・研究協議会等の場や市民が積極的に参加いただけるよう、大会参加者への支援を行っていく。

２　愛媛県人権教育協議会新居浜支部活動に対する補助（1,860 千円）

人権・同和教育の進展を図るため、幼・保育園（所）、小・中・県立学校、公民館等各社会教育関係団体、組織・企業、行政がそれぞれ協調を図りながら、家庭や学校、地域社会、職場などあらゆる場を通じて「くらしに生きる人権教育」の実践に努め、部落差別をはじめとするあらゆる人権問題の早期解決に取り組む。

令和元年度のあゆみ

教育委員会の主な施策と実績

1　令和元年度決算額

(1) 教育費　　（単位：千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
教育総務費	教育委員会費	委員報酬	6,053	6,266	1,003,363
		委員会費	213		
	事務局費	人件費	474,615	479,776	
		事務局運営費	4,910		
		教育政策研究費	251		
	諸費	指導費	4,918	517,321	
		研究所費	4,280		
		教育振興補助事業費	319		
		奨学金	50,066		
		教育施設防火等管理費	1,984		
		文化施設管理運営費	136,035		
		文化施設環境整備事業	57,748		
		学校音楽教育振興費	203		
		パソコン管理費	5,204		
		中学生海外派遣費	11,001		
		交通災害遺児修学援助費	19		
		事務用パソコン整備費	4,002		
		公共施設ごみ収集費	11,842		
		いじめ・不登校問題等対策費	18,652		
		教職員住宅管理運営費	398		
		生きた英語教育推進費	62,252		
		別子ハイツ自然学習館管理費	7,134		
		スクールソーシャルワーカー活用事業費	734		
		発達支援教育運営費	4,295		
		発達支援教育充実費	22,606		
		学力向上学習支援事業費	1,287		
		学校図書館支援センター充実費	20,463		
		持続可能な開発のための教育推進費	1,105		
		コミュニティ・スクール推進事業費	1,578		
		放課後まなび塾推進事業費	25,129		
		新居浜市文化スポーツ大会開催支援事業費	622		
		学校環境教育支援活動事業費	161		
		ＥＳＤ活動推進事業費	1,815		
		スクール・サポート・スタッフ配置事業費	2,923		
		小中学校ＩＣＴ環境整備推進事業費	46,375		
		小中学校保健充実費	1,153		
		ふるさと学習推進事業費	11,018		

（単位：千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
小学校費	学校管理費	小学校管理運営費	276,015	436,869	1,568,624
		小学校保健費	33,897		
		小学校体育費	1,694		
		小学校施設環境整備事業	107,610		
		小学校トイレ洋式化整備事業	17,653		
	教育振興費	小学校就学援助費	41,624	221,719	
		小学校理科教材備品購入費	1,614		
		小学校教育充実費	21,668		
		小学校教育用コンピュータ整備費	52,879		
		小学校特別支援教育充実費	90,666		
		小学校ハートなんでも相談員設置事業費	3,112		
		小学校特別支援教育就学援助費	3,712		
		多子世帯入学準備金支援事業費	6,444		
	学校建設費	小学校空調整備事業	849,739	910,036	
		小学校ブロック塀安全対策事業	60,297		
中学校費	学校管理費	中学校管理運営費	156,523	274,477	1,073,812
		中学校保健費	20,219		
		中学校体育費	9,523		
		中学校施設環境整備事業	43,334		
		別子中学校学び創生事業費	32,640		
		中学校トイレ洋式化整備事業	12,238		
	教育振興費	中学校就学援助費	32,813	118,076	
		中学校理科教材備品購入費	1,791		
		中学校教育研究県指定校費	260		
		中学校教育充実費	17,625		
		中学校指導図書改訂費	1,097		
		中学校ハートなんでも相談員設置事業費	1,680		
		中学校教育用コンピュータ整備費	41,731		
		中学校特別支援教育充実費	14,981		
		運動部活動競技力向上事業費	2,625		
		中学校特別支援教育就学援助費	2,458		
		いのちの授業開催事業費	153		
		部活動指導員配置事業費	862		
	学校建設費	中学校空調整備事業	637,273	681,259	
		中学校ブロック塀安全対策事業	43,986		
幼稚園費	幼稚園費	人件費	42,497	224,244	224,244
		王子幼稚園管理運営費	2,198		
		神郷幼稚園管理運営費	2,174		
		幼稚園保健費	650		
		就園奨励補助費	25,421		
		私立幼稚園私学助成費	2,441		

（単位：千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
		幼稚園特別支援教育充実費	14,208		
		幼稚園施設環境整備費	2,228		
		幼稚園施設利用費給付事業費	79,919		
		私立幼稚園施設型給付事業費（福祉部）	52,508		
社会教育費	社会教育総務費	人件費	108,950	257,787	825,780
		社会教育振興費	373		
		文化教育費	5,012		
		文化振興基金積立金	1,758		
		文化財保護費	634		
		高齢者生きがい創造学園管理運営費	15,924		
		生涯学習センター管理運営費	2,533		
		生涯学習センター充実費	6,911		
		社会教育充実費	7,554		
		芸術文化振興費	7,752		
		こども夢未来基金積立金	50,003		
		郷土資料室管理運営費	2,664		
		塩のまちづくり事業費	200		
		若宮学習館管理運営費	6,112		
		自然の家解体事業	41,407		
	公民館費	公民館管理運営費	146,456	197,230	
		公民館活動費	144		
		公民館推進費	132		
		公民館施設環境整備事業	40,839		
		地域主導型公民館推進費	8,539		
		新居浜市文化祭事業推進費	1,120		
	図書館費	図書館管理運営費	62,390	89,414	
		図書館充実費	22,534		
		図書館図書整備基金積立金	77		
		図書館施設環境整備事業	2,561		
		ブックスタート事業費	1,852		
	青少年教育費	青少年育成強化費	216	216	
	青少年センター費	青少年センター管理運営費	3,068	3,294	
		補導活動充実費	226		
	広瀬歴史記念館費	広瀬歴史記念館充実費	1,798	65,138	
		広瀬歴史記念館管理運営費	36,525		
		広瀬歴史記念館空調整備事業	26,815		
	総合文化施設費	総合文化施設管理運営費	176,337	212,686	
		総合文化施設充実費	10,518		
		新居浜市美術館特別企画展開催費	20,984		
		にいはま SDGs ｱｰﾄﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ開催事業費	4,847		

（単位：千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
	美術品購入基金費	美術品購入基金繰出金	15	15	
保健体育費	保健体育総務費	市民体育振興費	12,729	50,942	1,254,681
		学校開放費	4,006		
		市民体育充実強化費	8,768		
		体育施設建設基金積立金	1,540		
		青少年育成スポーツ活動費	517		
		競技スポーツ強化事業費	1,805		
		スポーツ推進審議会費	81		
		学校スポーツ活性化事業費	4,500		
		あかがねマラソン大会開催事業費	4,994		
		愛・野球博開催事業費	500		
		市民体育祭第５０回記念事業費	5,775		
		ホストタウン交流促進事業費	2,800		
		ジュニアバドミントン交流事業費	1,250		
		東京オリンピック聖火リレー推進事業費	1,677		
	体育施設費	野外活動施設整備費	1,308	662,444	
		体育施設管理運営費	263,675		
		体育施設環境整備事業	44,642		
		市民体育館空調設備整備事業	248,905		
		ホストタウン推進事業	103,914		
	学校給食費	人件費	201,285	541,295	
		給食運営費	144,752		
		高津共同調理場管理運営費	2,493		
		学校給食センター管理運営費	106,451		
		給食運営改善事業	70,959		
		学校給食多子世帯支援事業費	2,082		
		学校給食推進費	13,273		
教　育　費　合　計					5,950,504

(2) 民生費

（単位:千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
社会福祉費	社会福祉総務費	おもいやり駐車場整備事業	2,608	2,608	2,608
児童福祉費	児童福祉総務費	放課後児童対策費	144,312	147,487	147,487
		放課後児童クラブ施設整備事業	3,175		
民　生　費　合　計					150,095

(3) 介護保険事業特別会計　地域支援事業費

（単位:千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
一般介護予防事業費	一般介護予防事業費	高齢者生きがい創造学園講座事業費	8,496	8,496	8,496

2　主な施設の建設及び環境整備事業

令和元年度に実施した主な事業は、次のとおり。

【重量挙げ練習場整備工事】（繰越）

総工事費　　108,583,000 円

（内訳）建築工事　　63,135,000 円

電気設備工事　10,351,000 円

機械設備工事　19,511,000 円

付帯工事　　15,586,000 円

完　　成　　令和元年５月

重量挙練習場



【浮島公民館屋上防水改修工事】

事業費　　10,226,700 円

完　成　　令和２年１月

【神郷公民館トイレ改修工事】

総事業費　　21,382,900 円

（内訳）建築工事　11,394,900 円

設備工事　　9,988,000 円

完　　成　　令和２年３月

神郷公民館トイレ



社会教育課の主な施策と実績

公民館、交流センターは社会教育拠点、生涯学習拠点、地域づくり拠点と様々な特性を持っているが、それぞれの地域の特徴を活かした活動を一層充実させることが公民館等の存在意義を高めることにつながる。この観点から、「地域教育力向上プロジェクト推進事業」として地域の課題解決に向けた取組を行った。

１　地域教育力向上プロジェクト推進事業

地域ごとに実情・課題は様々であるため、“つどう”（生活のなかで気軽に人々が集うことができる場）、“まなぶ”（自らの興味関心に基づいて、また社会の要請にこたえるための知識や技術を学ぶための場）を事業の柱とし、学びを活かして地域の課題解決を目指している。

令和元年度は、市内 16 校区及び２地区で実施した。

２　公民館施設環境整備事業

住民の地域づくりの拠点として、利用者により安全快適な施設環境を提供するために、必要な整備・維持管理を実施した。

３　別子ハイツ自然学習館の利用状況

単位：人

会　　議　　室			宿　　泊		
H29	H30	R1	H29	H30	R1
672	1,075	510	950	602	607

4　学校体育施設開放の利用状況

●開放校　　小学校等 17 施設　　中学校 10 施設

●照明設備使用料（運動場 1,000 円、体育館 200 円、武道場 100 円）

（単位：人）

年度 / 学校名	運動場			体育館・武道場		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
新居浜小	5,856	5,378	5,828	10,738	10,365	10,269
宮西小	5,291	4,994	4,417	6,060	7,409	7,037
金子小	3,152	2,977	3,132	12,160	9,291	9,586
金栄小	1,303	1,642	1,339	14,375	14,757	14,046
高津小	9,312	6,298	6,101	15,752	16,494	11,942
浮島小	4,082	3,593	2,159	4,780	4,370	3,817
惣開小	4,231	2,632	1,942	7,895	7,239	7,483
生涯学習センター若宮学習館（旧若宮小）	1,927	2,891	3,333	10,403	10,051	9,578
垣生小	7,378	6,546	6,679	5,177	6,002	5,311
神郷小	10,259	10,565	8,425	17,826	16,584	13,268
多喜浜小	1,805	1,658	2,030	8,263	7,228	7,225
泉川小	7,674	7,944	7,635	8,801	9,995	9,078
中萩小	9,297	7,559	8,409	21,337	20,082	18,271
船木小	6,998	6,641	6,189	9,083	8,245	10,200
大生院小	7,977	7,137	6,293	8,416	11,122	10,970
角野小	7,579	7,625	7,076	11,258	12,613	10,236
別子小・中	0	0	0	548	562	318
東中	1,444	2,211	1,296	10,840	10,289	9,342
西中	954	1,084	667	3,586	3,872	3,623
南中	1,180	1,008	1,488	9,554	9,746	9,324
北中	1,210	1,049	1,162	9,380	10,798	7,948
泉川中	0	0	0	7,658	9,486	8,282
中萩中	4,140	3,702	2,523	11,282	10,972	10,612
船木中	870	619	733	9,571	9,244	8,538
大生院中	1,041	1,131	664	4,585	4,591	4,110
角野中	1,305	1,406	1,259	10,979	9,287	8,811
川東中	1,801	1,449	1,415	11,693	10,984	9,933
計	108,066	99,739	91,294	262,000	261,678	239,158

新居浜公民館

１　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～夢・ロマン・感動を求めて～

１　ボランティア活動の推進
２　学校・家庭・地域を結ぶ青少年育成と見守り隊の推進
３　生涯学習の活性化と推進
４　三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成
５　小学生・中学生の居場所づくりと交流

２　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
女性講座	婦人	21	1	165	―	166
活き生きセミナー	婦人	21	2	72	―	74
地域活性化事業（スポーツ教室）	校区住民	9	43	25	21	89
ウォークラリー	校区住民	3	17	32	16	65
小中学生料理教室	児童・生徒	6	0	11	31	42
シニアネットワーク	成人男性	4	23	9	―	32
三世代交流事業	校区住民	6	62	123	116	301
家庭教育支援事業	保護者	6	0	10	1	11
健康セミナー	校区住民	24	0	64	0	64

３　特色ある事業（講座）

【三世代交流事業】

三世代交流活動として、「七草粥」事業を実施。
地域の方々より七草について、お正月に戴く料理の意味を学び、親子、地域の方々と和やかな雰囲気の中、伝統行事を伝えていくという大きな役割を果たすことができた。令和元年度は中学生の参加もあり、充実した交流事業であった。



４　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（１）地域活性化プロジェクトを立ち上げ、新居浜小学校ビオトープの環境整備とスポーツ教室を通じて、地域住民の健康体力づくりに努め、共に魅力ある地域づくりを行う
（２）地域自主防災組織の強化
（３）団塊世代の協力体制づくり
（４）放課後子ども教室の充実を図り、地域住民との交流を深めること、様々な分野の体験を提供

口屋跡記念公民館

１　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～

１　豊かな心を育てる生涯学習の充実
２　青少年の健全育成
３　社会教育関係団体相互の連携・交流
４　人権・同和教育の推進
５　生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成

２　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
家庭教育講座	児童・保護者	6.5	13	36	47	96
女性講座	婦人	11.5	21	167	75	263
高齢者講座	高齢者	18	79	85	19	183
高齢者・女性合同講座	高齢者・婦人	3	23	17	―	40
生活文化講座	児童・保護者 校区住民	8	5	13	32	50
男の料理教室	成人男性・婦人	3	13	3	―	16
宮西サロン	婦人・保護者	3.5	10	34	―	44
スポーツ健康教室	児童・成人男性・婦人	2	3	6	28	37
北中校区子ども絵画展	児童・生徒・校区住民	5	93	177	178	448
三世代交流講座	児童・校区住民	3	4	24	35	63
三世代交流ふれあい交流会	児童・高齢者 校区住民	4	53	67	30	150
口屋あかがねプロジェクト事業	成人男性	109	90	49	44	183
地域の未来を考えるプロジェクト	生徒・校区住民	8	10	10	64	84

３　特色ある事業（講座）

【北中校区子ども絵画展】

今年で９回目となる「北中校区子ども絵画展」を 10 月５日に実施した。この事業は学校・ＰＴＡ・地域が一体となり、児童、生徒の個性的、創造的表現活動を後押しし、旺盛な創作意欲と豊かな心の育成を目的にした事業である。宮西・新居浜小学校児童、北中学校生徒全員を対象として夏休みに題材自由で描いた作品を、審査した後公民館に展示（９月 28 日～10 月５日）して、広く地域住民にも観覧してもらった。その後 10 月５日に表彰式、実技指導の時間を設け大勢の親子が参加した。子どもたちの表現力や感受性を養うためにも今後も大切に継続していきたい事業である。



【小学校児童対象の実技指導教室】

４　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（１）地域活動を担うリーダー的人材の確保
（２）地域課題を解決し、地域の活力の向上を図る。
（３）ボランティア活動等を通し、地域の福祉増進を図る。
（４）各種団体・地域住民と連携を図り、安心・安全のまちづくりの実現を目指す。
（５）学校・家庭・地域が一体となり子どもたちを支援し見守る。

地域交流センター（ふれあい金子）

１　令和元年度の交流センター活動の概要（重点事業）

～笑顔あふれる地域交流センター～

１　地域ふるさとづくりの推進
２　生涯学習・スポーツの推進
３　各種団体との連携・協力体制の強化
４　地域が一体となった青少年健全育成
５　自主防災組織の充実と意識の向上

２　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者講座	高齢者	16	80	189	112	381
家庭教育講座	児童、保護者	15	44	211	237	492
スポーツ健康教室	校区住民	9	67	101	14	182
小学生宿泊合宿	児童、保護者	13.5	5	2	13	20
文化教養講座	校区住民	7	55	87	55	197
三世代交流事業	校区住民	14	68	90	72	230
地域リーダー育成事業	児童、生徒 成人男性、婦人	54	70	115	113	298
まちづくり事業	校区住民	6	121	59	42	222

３　特色ある事業（講座）

【まちづくり事業（防災運動会）】

「地域住民同士の連携を深め、楽しく学ぶ」手段として、防災運動会・訓練を開催している。地域の構成員である自治会・学校・各種団体等が協働し、プログラムを企画、立案している。この運動会・訓練を通じて、楽しさの中にも互いに助け合うことの大切さ、防災・減災に役立つ身近な物を使っての担架作り、応急手当の方法を習得することができた。今後も新しい競技等取り入れながら、引き続き校区全体の防災意識の向上に努めたい。



４　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（１）地域住民主体の生涯学習の推進
（２）世代間交流事業を充実させ、地域住民の交流の輪を広げる。
（３）学校関係機関及び諸団体と連携し、青少年の健全育成を図る。
（４）自主防災組織の充実と意識の向上（住民同士の連携を深める）

金栄公民館

1　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む公民館を目指して～

1　安全・安心のまちづくりの推進
2　学校・地域との連携を図り、地域活性化につなげる
3　青少年健全育成の推進
4　公民館活動への住民の参画促進及び各種団体との連携強化
5　自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上

2　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
婦人講座	校区住民	26	6	157	0	163
高齢者講座	高齢者	7.5	44	54	―	98
家庭教育講座	婦人	9	―	109	―	109
ふれあい文化講座	婦人	5	1	19	3	23
子育て支援	乳幼児	21.5	―	157	86	243
金栄まちづくり事業	校区住民	5	152	16	0	168
三世代交流事業	校区住民	6.5	140	298	128	566
ドリームツリー「金栄ふれあい広場」	校区住民	2	400	800	400	1,600
金栄盆踊り（台風のため中止）	校区住民					

3　特色ある事業（講座）

【ドリームツリー「金栄ふれあい広場」】

金栄校区では金栄小ＰＴＡと合同で、金栄小学校校庭に植えられているメタセコイヤの樹にイルミネーションを灯す行事を実施しており昨年で22回目を迎えました。イルミネーションのデザインは児童が考案し、ＰＴＡ役員がメタセコイヤの樹に高所作業車を使ってＬＥＤ電球を張り巡らせます。点灯式当日には、校区婦人会を始めとして諸団体がそれぞれの役割を担って盛り上げを図り、今では地域の伝統行事としてのみならず新居浜市の風物詩としても定着しつつあります。





4　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（1）地域住民のニーズに合わせた事業及び講座の実施
（2）地域活動におけるボランティアの高齢化＆後継者の育成
（3）見守りボランティアの拡大と支援の充実
（4）自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
（5）地域に伝わる郷土芸能の伝承と継承

高津公民館

１　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～安心と安全のまち「たかつ」～

１【住民交流】隣近所が支え合い、助け合って「みんなが明るく住みやすい」町等
２【育児】親、子どもが自由に集まって、ふれ合い、遊び、子どもたちが元気に「健やかに育つ」町等
３【高齢者】高齢者同士が交流し、地域の子どもたちと触れ合って「明るく生き生きと生活する」町等
４【障がい者】障がい者や障がいを正しく理解し、障がい者から真に求められる「手助けをする」町等
５【青少年健全育成】子どもたちが友達や仲間たちとふれ合い、助け合い、理解し合って「共に成長する」町等
６【環境】一人一人が気を配り、みんなの力で実現する「清潔で美しい」町等
７【防災】想定される災害を正しく理解し、災害に備える「災害に強い」町等

２　地域教育力向上プロジェクト推進事業の実施

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者講座	高齢者	22	114	159	2	275
女性セミナー	婦人	30.5	7	209	―	216
たんぽぽ・ふわり講座	乳幼児、保護者	11	6	65	38	109
家庭教育講座	保護者	2.5	19	23	1	43
たかつの史跡めぐり	校区住民	7	14	13	0	27
文化部発表会	校区住民	3	90	165	45	300
健康講座	校区住民	7	28	41	87	156
スポーツ健康教室	校区住民	5	12	34	0	46
たかつ花あふれるまちづくり	校区住民	25	54	110	2	166
れんげ祭り	校区住民	2	300	300	1,200	1,800
たかつ納涼夏祭り	校区住民	6	972	1,128	875	2,975

３　特色ある事業（講座）

【れんげ祭り】

子どもたちに自然体験の場を提供するため、地元から約1,300坪の農地を借り受け、10月に種まきを行うなどれんげ畑を整備。４月20日に第18回れんげ祭りを開催した。

自然に触れながらの草花ビンゴやれんげのファッションショー、けん玉やコマ回し、お手玉などの昔遊び、防災○×クイズや、消防車、パトカー、白バイの試乗体験などを通して交通安全、防災の意識啓蒙、４年目の参加となるみきゃんと一緒に地域の三世代交流が図られた。また、今年度は、新居浜高専の学生さんにもバルーンアートで盛り上げていただいた。



４　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（１）高津まちづくり実行委員会（第１挨拶・見守り実行委員会、第２自治会活性化実行委員会、第３三世代交流わいわいクラブ、第４防災対策実行委員会）の強化と更なる推進
（２）次世代を担うリーダーの養成と人材の発掘
（３）学校・家庭・地域をつなぐコミュニティスクールの推進

浮島公民館

１　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～明るく元気な浮島校区の構築～

１　青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。

２　高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進

３　「安全・安心」の地域の拠点としてのレベルアップ

２　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
家庭教育講座	児童、保護者 校区住民	2	34	86	140	260
男性料理教室	成人男子	16	111	25	―	136
教養講座	校区住民	12	29	46	22	97
ものづくり講座	校区住民	12	5	45	0	50
健康講座	校区住民	10	16	32	21	69
介護福祉講座	校区住民	10	24	59	0	83
伝統講座	児童、校区住民	14	60	94	67	221

３　特色ある事業（講座）

【男性料理教室】

毎月季節の旬の食材をテーマに20名の地域の男性が、講師の指導のもと季節を感じながら調理し皆さんで食卓を囲みます。春は筍・鰆、夏は鰻・肉、秋は観月会、冬は鍋を囲んで忘年会時には自宅の畑から収穫した食材を使ったり、参加者のリクエストでメニューも変わります。

各々、ご自宅で復習をされているかどうかは伺ってはいません。



４　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（１）地域の主体性を尊重した生涯学習の推進を図る。

（２）多くの地域住民が公民館活動に参加できるよう工夫し、地域の活性化に繋げる。

（３）子ども達を地域で守り育てる意識と環境の向上を図る。

（４）公民館活動の担い手となる人材の確保と育成を図る。

惣開公民館

１　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む活気ある公民館づくりを目指して～

１　事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る。
２　地域資源を活かしたまちづくり
３　地域住民に親しまれる公民館づくり

２　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
乳幼児学級	乳幼児	3.5	14	79	78	171
生活文化講座	校区住民	43	4	228	128	360
遊ｙｏｕセミナー	校区住民	24	2	79	0	81
シニア教室	高齢者	17	2	63	2	67
王子が丘教室	児童	70	151	363	590	1,104
三世代交流事業	校区住民	18	255	353	838	1,446
まちづくり事業	校区住民	8	895	925	1,200	3,020

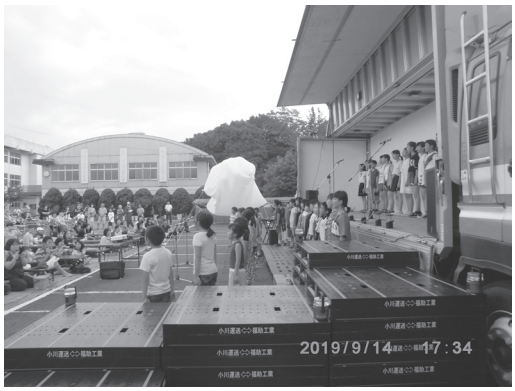
３　特色ある事業（講座）

【まちづくり事業】

惣開校区には別子銅山の近代化産業遺産が多く残り、それらを生かしたまちづくり事業を行った。

令和元年９月 14 日（土）「今宵はそうびらき＆未来への鉱脈＆観月会」を開催した。校内に「ふわふわそうびらきの中の雲」を浮かべて児童の活動映像を楽しんだ、「未来への鉱脈は、「そうびらき」をＰＲできるように、新居浜南高等学校ユネスコ部に協力してもらい、地元企業と地域・学校と連携で企画構成し、巨大スクリーンで歴史遺産のスライドショーを実施した。

観月会は、自治会が中心となり地域一丸となって、2,000 食の「芋炊き」を作った。地域の住民が一つの輪になり心に残る事業を行った。



４　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（１）世代間の交流のある講座の推進
（２）魅力があり、誰もが気軽に参加できる講座の開設
（３）地域住民に対する生涯学習への認識と啓発（特に青年層）による新規参加者の増加
（４）学校と地域をつなぐ ESD 活動の推進

若宮公民館

1　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

「地域とともに歩み育つ公民館」をスローガンとして家庭・学校・地域の連携をはかり、安全・安心で住みよい若宮地域づくりを目指す。

2　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者	27	25	133	―	158
趣味と教養	校区住民	19	0	61	0	61
環境にやさしいまちづくり	校区住民	4.5	7	33	36	76
安全・安心なまちづくり	校区住民	5	16	22	0	38
地域の伝統・歴史の伝承	児童、生徒 婦人、高齢者 保護者	23	75	177	288	540
スポーツと健康	校区住民	9	21	63	0	84

3　特色ある事業（講座）

【地域の伝統・歴史の伝承】

地域のボランティア先生による昔あそび教室や紙ひこうき教室を惣開小学校の協力により実施し、若宮小学校閉校後も地域と子どもたちとの交流を続けている。今年度は書初大会、七草粥に加え、干支づくりや門松作りで三世代交流の機会を増やし、楽しく集い、子どもたちが温かく育まれる地域づくりを目指して取り組んでいる。



4　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（1）公民館活動への幅広い世代の住民の参画を推進するため、広報活動や企画・運営を工夫して、地域の活性化へとつなげていくよう努める。

（2）家庭・学校・地域の連携を一層深め、連合自治会・社協・老人会など校区内の各団体との共催事業や小中学校との協働を推進する。

（3）小学校跡の利活用を主とした「新若宮を元気にする会」の活動を支援する。

垣生公民館

１　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む公民館～

１　地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり
２　自ら学ぶ生涯学習の推進
３　各種団体・機関との連携強化
４　生活文化活動の振興
５　安全で住みたい垣生づくり

２　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者講座	高齢者	10	53	62	―	115
婦人講座	婦人	19.5	122	187	81	390
家庭教育講座	児童、保護者	5	11	7	76	94
成人講座	校区住民	38.5	70	80	0	150
垣生山遊歩道めぐり	校区住民	8	188	107	167	462
スポーツ健康教室	校区住民	6	86	42	0	128
ふるさと文化講座	校区住民	6.5	10	10	0	20
子育て支援講座	乳幼児、児童	4.5	―	31	25	56
垣生キッズ共和国	校区住民	2.5	50	30	80	160
緑のカーテン運動	校区住民	3	9	2	0	11
三世代交流軽スポーツ大会	校区住民	3	57	45	36	138
垣生環境美化事業	校区住民	2.5	3	1	41	45
イルミネーションファンタジー	校区住民	4	110	80	105	295

３　特色ある事業（講座）

【イルミネーションファンタジー】

毎年恒例となっているイルミネーション点灯式。

垣生公民館の駐車場と垣生山にシニアボランティアの方や地域の方々のご協力でイルミネーションが飾られます。

垣生小学校のコーラスでクリスマス気分を盛り上げ、寒い中ご参加くださった方に豚汁で温まっていただきます。

イルミネーションは、どちらも１月初旬まで楽しんでいただけます。



４　令和元度事業の反省及び今後の課題

（１）公民館運営方針の実現に向け、新しい講座を展開する。
（２）より一層の地域主導を目指し、運営審議会の充実を図る。
（３）地域・学校・家庭がより連携し、青少年健全育成と子育て支援に取り組む。

神郷公民館

1　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安心・安全で住みよいまちづくりを目指す。

1　青少年の健全育成
2　地域の安全と安心の推進
3　地域福祉の拡充
4　生涯学習の推進と各サークル活動の支援
5　スポーツの推進と健康づくりの推進
6　お茶の間懇談会の拡充・強化
7　自主防災組織作りの拡充・強化
8　地域の環境美化の推進

2　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者講座	高齢者	20	180	221	190	591
いきいきセミナー	成人男性、婦人 高齢者	36	115	181	―	296
ママ友講座	乳幼児、保護者	6	5	23	10	38
乳幼児期家庭づくり講座	乳幼児、保護者 校区住民	34	190	328	421	939
三世代交流	校区住民	25	129	168	325	622
夏祭り事業	校区住民	5	1,200	1,200	600	3,000
いきいきセミナークラブ事業	校区住民	36	272	347	95	714

3　特色ある事業（講座）

【乳幼児期家庭づくり講座】

校区の各種団体役員が、神郷まちづくり委員会の安全安心、環境美化、健全育成の３部会に分かれ、よりよいまちづくりを目指して熟議を重ね、三世代交流に取り組んでいる。特に乳幼児期家庭づくり講座では、もちつき、七草がゆ作りの伝統行事から野菜や花植え、そうめん流し、卒園パン教室、忠魂碑広場の卒園植樹等、神郷幼稚園児とその保護者、地域住民の多世代交流の場となっている。



4　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（1）どの事業もみんなで計画し、より多くの校区住民の参加を目指す。
（2）自治会、諸団体の自治能力の育成強化を図り、地域発展につなげる。
（3）学校・公民館・地域の連携を一層深め、青少年の健全育成に取り組む。
（4）神郷史情をより多くの校区住民に知っていただき、保存・伝承していきたい。
（5）神郷まちづくり委員会にて校区の問題点を浮き彫りにし、熟議を重ね問題解決に向け、知恵を出し合い取り組む。

多喜浜公民館

1　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～

1　潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進
2　世代間の交流、人材の発掘
3　学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成
4　郷土の伝統文化・塩田歴史文化・「かしょい」精神の継承
5　人権・同和教育の推進

2　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
健康講座	校区住民	17	38	65	5	108
青少年健全育成事業	校区住民	3	28	33	0	61
婦人講座	婦人	31	6	137	―	143
子育て講座	乳幼児	4.5	5	30	21	56
家庭教育講座	校区住民	8	26	92	17	135
福祉講座	高齢者	10	48	142	―	190
食育・料理講座	婦人	30	14	128	5	147
高齢者大学	高齢者	18	107	179	10	296
三世代交流事業	校区住民	34	114	120	194	428
塩田文化バンク	校区住民	24	34	101	125	260
環境講座	校区住民	11.5	44	47	24	115
まちづくり講座	校区住民	30	202	155	26	383

3　特色ある事業（講座）

【塩田文化バンク】

別子銅山とほぼ同時期に生まれた塩田は、新居浜の発展を支え昭和40年代まで多喜浜の住民とともにあった。廃田以降、人々の記憶から忘れ去られつつある多喜浜塩田を後世に継承していこうという声が地域から高まり、住民が主導してその伝承活動に努めている。塩田で培われた相互扶助、連携協力の精神的基盤である“かしょい”文化と共に、今では使われなくなった“かしょい”の言葉も受け継いでいくために啓発活動も行っている。「ソルティ多喜浜」を活用した「塩の学習館」での塩づくり体験学習、多喜浜塩田学習、塩田遺跡めぐりなど継続的に取り組んでいる。多喜浜小学校児童や地域の有志により「ソルティちゃん音頭」「塩田讃歌」の継承にも取り組んでいる。



4　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（1）塩田文化の保存伝承
（2）伝統行事を通して様々な世代交流を行う。

大島交流センター

１　令和元年度の交流センター活動の概要（重点事業）

～地域に親しまれるセンターづくり～

１　高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業

２　歴史と自然を守り伝統文化の伝承

３　住民どうしのつながりと安全・安心なまちづくり

２　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
教養講座	校区住民	52.5	40	86	0	126
高齢者講座	校区住民	21	42	102	0	144
伝統文化の継承	校区住民	10	26	44	0	70
防災教室	校区住民	2.5	12	22	0	34

３　特色ある事業（講座）

【防災教室】

自治会、消防大島分団の協力を得て防災運動会を通し、楽しく学びながら地域住民の親睦と繋がりを図る。



４　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（１）ますます高齢化が進む中、高齢者が元気に楽しく学べる事業の推進

（２）伝統文化である「念仏踊り・口説き」「とうど祭り」を後世に伝え保存していけるような対策

（３）非常時に備え、住民の防災知識とつながりを持て、楽しく学習できる講座の実施

泉川公民館

1　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～

1　青少年の健全育成
2　高齢者が楽しみながらの健康増進事業
3　住民が総参加の事業展開
4　地域課題の解決に向けた学習会
5　郷土の伝統文化の伝承
6　まちづくりの醸成

2　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
ふるさと塾	校区住民	12	156	84	0	240
なんでも楽習会	高齢者、校区住民	33	152	127	0	279
星原市	校区住民	3	75	62	80	217
伝統行事を伝える	校区住民	4.5	235	140	152	527
年輪のつどい	高齢者、校区住民	4	50	51	32	133

3　特色ある事業（講座）

【星原市】

約1,300年前、この地に落ちてきた隕石が祀られていたのが星の宮神社です。神社では、第２次世界大戦まで星原市として物々交換の市場が開かれ、たいそう賑わっていました。泉川公民館がこの星原市の復活をとなえ、昭和58年から星の宮神社境内で盛大に市を実施し、古き市の姿を取り戻しています。現在は、青少年の健全育成とまちづくりの一環として、実行委員会を立ち上げ、各種団体と連携してより良いものとなるよう話し合っています。小学生、中学生の相撲大会やすいか割り、新居浜商業高校生の吹奏楽演奏、〇×クイズやSOSネットワーク捜索訓練、模擬店などでにぎわい、終わりには餅投げもあり、子どもから高齢者まで楽しめる夏まつりとなっている。



4　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（１）より多くの校区住民の参加を目指し、新規人材の確保、育成
（２）学校・家庭・地域の連携を一層深め、青少年の健全育成を図る。
（３）地域福祉を推進する関係機関や各種団体と連携を強化する。

中萩公民館

1　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～
「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町　日本一の中萩」

1　生涯学習・生涯スポーツ活動の推進
2　青少年健全育成の推進
3　社会福祉活動の推進
4　人権・同和教育の推進
5　安心・安全な地域づくりの推進

2　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
中萩セミナー	校区住民	20	23	139	0	162
高齢者セミナー	高齢者	15.5	180	183	48	411
健康セミナー	校区住民	20.5	99	130	18	247
福祉セミナー	校区住民	10	22	110	0	132
十河信二を知り学ぶ活動	校区住民	1	8	4	0	12
こどもスポレク祭	児童	3	25	20	50	95
中萩三世代交流事業	校区住民	11	26	25	167	218
環境改善事業	校区住民	26	20	37	166	223
まちづくり事業	校区住民	3	50	28	7	85
ふたごクラブ	乳幼児、保護者	22	2	73	92	167

3　特色ある事業（講座）

【環境改善事業】

地域の自然保護のための活動として、ＡＩ－２を作り、河川の水質浄化に取り組んでいます。今年度は、小学校５年生も一緒にＡＩ－２づくりを体験しました。身近にある物が材料になっていることに驚いていました。

また、東川に生息するホタルや様々な生物、その他の自然についても地域の人が講師となり、詳しく学びました。

自分たちで体験したことにより、家庭でも自然や環境改善について話し合ういいきっかけになっています。



4　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（1）公民館の各種事業が、各種団体の積極的な支援と協力により有効に実施することができた。
（2）はぎっ子の健全育成について、地域の各種団体との連携を取りながら、なお一層の充実を図りたい。
（3）地域の人々のニーズや実態を把握し、地域力の向上を図り、より多くの人々の参加を目指して、魅力ある事業を展開する。
（4）開かれた公民館として、地域の人々の誰もが活動し、また誰もがつながっている公民館にしていくことを目指す。
（5）まちづくりや地域活性化の拠点として活動できるよう話し合いの場を重ね、地域住民と一体となり、様々な事業を企画・運営していく。
（6）少子高齢化が進む地域で、福祉や子育てについて、気軽に相談できる体制づくりを地域とともに考えていきたい。

船木公民館

１　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～

１　学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成
２　心豊かな福祉のまちづくりの推進
３　一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進
４　人権・同和学習の推進
５　地域に根ざした親しまれる公民館づくり

２　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
人権講座	校区住民	3	10	15	0	25
環境講座	児童、校区住民	9	26	10	108	144
健康講座	校区住民	8	16	61	0	77
伝統文化講座	校区住民	14	242	225	309	776
芸能祭	校区住民	3	78	148	85	311
子ども講座	児童、保護者	11.5	18	55	126	199
ＨＡＰＰＹクッキング講座	校区住民	4.5	11	11	8	30
趣味講座	校区住民	15.5	1	69	0	70
地域づくり講座	校区住民	5	62	86	0	148
船木を歩こう	校区住民	6	12	30	0	42
三世代交流事業	校区住民	11.5	33	369	47	449

３　特色ある事業（講座）

【伝統文化講座（七夕教室）】

７月３日、地域の方により小学校の体育館に２本の大きな笹が用意され、長寿会の方の指導の下、小学１年生とその保護者の方で、七夕教室を実施した。思い思いの願い事を短冊に書いたり、色紙を切って笹飾りを作り、棕櫚で笹に結びつける作業は難しく苦労していたが、皆で協力し、立派な笹飾りが出来上がった。記念撮影のあとは、自分たちの教室の廊下に飾り、七夕の日まで楽しんだ。

日本の大切な行事である七夕を通して子どもたちの情操教育に役立つ時間になった。



４　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（１）地域住民が主体となる地域づくりの拠点として地域の発展につなげる。
（２）次世代を担う人達の愛郷心を育て、リーダーとなる人材を養成する。
（３）コミュニティスクール導入に伴い、学校・地域・公民館の連携を一層深める。

大生院公民館

１　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域住民が集まり、共に進む公民館～

１　事業の企画・運営への住民の参画促進
２　地域歴史遺産を生かした特色ある事業の推進
３　自主防災組織の更なる充実と意識の向上
４　子どもの居場所づくりと交流

２　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者いきいきセミナー	高齢者	3	40	132	33	205
くらしのセミナー	校区住民	18	12	91	0	103
子育て支援セミナー	乳幼児、保護者	6	1	27	20	48
郷土の歴史と文化	校区住民	8	20	11	6	37
スポーツ健康教室	校区住民	3	72	25	4	101
三世代交流事業	児童、高齢者	9	56	60	137	253
大生院まちづくり事業	校区住民	3.5	63	58	130	251

３　特色ある事業（講座）

【三世代交流事業（たのも団子作り）】

秋の収穫を祝って、子供たちと団子で動物や植物等の形を作り、植物の葉や実で目や鼻をつけて遊ぶ行事。昔はこれを、飾った後蒸したり、焼いたりして、食したそうです。

以前は、大生院付近から、旧東予市にかけて、行なわれていた行事です。

保育園児とボランティアの方々が一緒になって、作る子供たちの発想豊かな作品に楽しい声があがります。



４　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（１）公民館活動への住民の参画の促進をしつつ、次世代を担う人材の発掘と育成
（２）地域全体で、子どもや青少年の健全育成の充実
（３）地域住民のニーズに合わせ、より多くの人々の参加を目指し魅力あふれる事業を展開していく。
（４）地域防災の更なる充実と強化

角野公民館

１　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～

１　思いやる心を育てる生涯学習を推進し将来を見据えた地域づくり
２　伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり
３　学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり
４　自分達で命を守る防災意識の確立を図る地域づくり
５　三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり

２　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
合同セミナー	校区住民	18	270	326	981	1,577
手作りセミナー	校区住民	23	7	158	0	165
いき生き生活セミナー	校区住民	16	26	55	16	97
家庭教育セミナー	校区住民	30.5	65	80	136	281
伝統文化プラン	児童、生徒 校区住民	25	306	266	195	767
未来まちづくりプラン	児童、生徒 校区住民	7.5	44	57	110	211

３　特色ある事業（講座）

【未来まちづくりプラン】

地域づくりに関わる人材の育成や防災教育、環境に配慮した環境緑化推進事業を地域と学校が連携し進める。

角野公民館では、防災訓練・体験を各種団体、小学校、保育園が地域と連携し、“シェイクアウトえひめ”に合わせて「シェイクアウトすみの」総合防災訓練を進めている。自らの命を守ることができる防災減災対応能力や意識の育成の高揚を目的とし８ブースに分かれて体験をし、もしもの時に備える。

中学生との花の種まき事業も校区の河川敷の景観への配慮。経験を通し中学生の地域づくりへの参加意識の充実を図り、未来の地域の担い手を大切に育て、交流を進めている。



４　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（１）学校との連携により、充実した「角野コミュニティ・スクール」の展開を進める。
（２）次世代を担う人材の発掘と育成に努める。
（３）アクティブラーニング、課題解決型活動を推進し豊かなまちづくりを目指す。
（４）人権教育（基本的生活習慣）の充実

別子山公民館

１　令和元年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域づくりの拠点として、暖かくぬくもりのある公民館を目指して～

１　学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる。
２　伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る。
３　人権・同和教育の推進
４　青少年の健全育成を図る。
５　世代間交流の充実強化

２　地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名）	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
スポーツ教室	校区住民	4	24	11	6	41
地域を歩く散策ツアー	校区住民	6	19	14	0	33
植物・自然観察学習会	校区住民	7	14	20	6	40
独居高齢者配布餅つき	校区住民	5	18	8	0	26
別子校区秋季大運動会	校区住民	8	85	54	22	161
地域文化の伝承	校区住民	3	3	14	0	17

３　特色ある事業（講座）

【地域を歩く散策ツアー】

地域住民の高齢化が進む中、地域力の底上げを行う為にも、改めて地域を知ることの重要性を認識しており、先ずは、各地から多くの皆さんが登山に訪れる、旧別子銅山の産業遺産群を歴史に詳しい専門家の解説をいただきながら繁栄の足跡を散策し、保存伝承に対する意識の向上と日頃からデスクワークで、身体を動かすことの少ない皆さんの体力の向上に繋げることが出来ました。

また、当日は市内の公民館関係者の皆さんもご参加いただき、２つのコースを設定し、それぞれが自分に合った登山を実現し、公民館同士の交流も図ることが出来ました。



４　令和元年度事業の反省及び今後の課題

（１）溢れる自然という地域素材を利活用した、体験型学習の推進を図る。
（２）地域住民の生涯学習の推進を図り、人材育成につなげる。
（３）地域づくりの拠点として、地域課題を検討し、今後の地域発展につなげる。
（４）地域の連携を一層深める。

青少年センターの主な施策と実績

1　運営協議会

青少年センターの運営に必要な運営方針、重点目標、業務計画、少年補導委員の推薦、青少年の善行表彰の審議等について協議している。

協議会の開催状況（令和元年度）

第１回　令和元年　５月 29 日（水）

第２回　令和２年　２月 14 日（金）

2　街頭補導

街頭補導は、少年補導委員を中心に活動場所を選んで効果をねらうとともに、計画的・組織的に問題少年、非行少年の早期発見、早期補導を基本に取り組んでいる。

（１）実施の状況（令和元年度）

街頭補導回数	従事補導委員延べ人数	補導した少年延べ人数
613 回	2,942 人	276 人

（２）行為別内容（指導・声かけ）（令和元年度）　（単位：人）

区分	児童生徒	その他	計
飲酒	2	3	5
喫煙			
怠学・怠業			
盛り場徘徊			
夜遊び	10	7	17
暴走行為			
ゲームセンター		5	5
無灯火・重乗等	14		14
声かけ（帰宅指導等）	229	4	233
その他	1	1	2
計	256	20	276

3　相談活動

国際化、少子化、高齢化、情報化などが進む今日、青少年を取り巻く社会環境も変化し、また、青少年自身の価値観、意識、行動も変容している。

このような社会の中で、保護者をはじめ、学校関係者、地域住民、関係機関等が連携を密にし青少年の健全育成に取り組んでいる。

青少年の健全育成には、子どもたちの人間性を豊かにし、たくましく生きる力を育成することが必要である。

子どもの非行、いじめ・問題行動などで悩みをもっている家庭、関係者、青少年自身からも相談を受け、問題の早期解決、予防、生活習慣の改善策等について話し合って支援をし、必要な場合は関係諸機関に連絡し、相談、助言、指導を行っている。

（１）相談の日　　毎週月曜日～金曜日　8:30～17:15（祝日・年末年始の休日を除く）

（２）相談の方法　　来所相談・電話相談・招致相談

（３）令和元年度少年相談の状況

項　目	来所相談	電話相談	招致相談	合　計
相談件数	1	2	0	3

ア　相談対象者

学　職	小学生	中学生	高校生	その他	合計
相談件数	0	0	3	0	3

イ　相談内容

相談内容	家庭問題	学校	非行・不良行為	その他	合計
相談件数	3	0	0	0	3

４　関係機関・団体との連絡連携

家庭、学校、警察、大型店、関係機関、団体等との連携により問題少年、非行少年等の早期発見、早期補導に努めた。

関係機関や団体が催す青少年健全育成、非行防止等の研修会、連絡会等に積極的に参加し、情報の収集、情報交換等に努めた。

５　青少年善行表彰

青少年の資質の向上を目的に日常生活や行動において善行著しい者について、運営協議会の決定に基づいて表彰した。

【善行表彰受賞者（令和元年度）】

中学生１名　　高校生４名　　高専生２名

６　青少年健全育成の活動状況

新居浜市では、７月１日～７月 31 日の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11 月１日～11 月 30 日の「子ども・若者育成支援強調月間」を重点に、青少年健全育成のための活動を展開している。

（１）青少年健全育成に関する啓発資料の作成と配布

広報紙による啓発と未成年者の飲酒･喫煙防止等の啓発。

（２）青少年健全育成に関する標語

各小・中・高校へ標語を募集し、審査の後、表彰した。

（応募数は、小学生 48、中学生 32、高校生 12）

最優秀（３点）、優秀（５点）、佳作（12 点）作品は、広報誌に掲載するとともに、ポスターを作成し、強調月間中、小･中･高校、公民館、市役所等に掲示し啓発に努めた。

＜最優秀＞

一言で　すくいの手になる　きみの声	垣生小３年	小西　慶次
やっていい？　正義の心で　確かめて	泉川中１年	住吉　はるき
考えよう　一つの意識で　変わる未来	商業高３年	佐々木　花琳

＜優秀＞

声かけで　町全体が　見守り隊	神郷小１年	安藤　有希
それはダメ　すなおに言える　真の友	新居浜小４年	宮崎　聖斎
スマホより　相手の目を見て　話そうよ	金栄小６年	國光　　麗
負けないで　あなたの勇気で　救われる	船木中１年	上甲　琴葉
広げよう　君と地域の　かたい絆	西高２年	清水　最出南

生涯学習センターの主な施策と実績

1　生涯学習センター事業報告

生涯学習センターでは、従来の社会教育事業を継続するとともに、市民の高度化、多様化した学習ニーズに対応した生涯学習大学を開設し、学習機会の提供の充実を図った。また、生涯学習情報の提供、市民の生涯学習への主体的な参画（生涯学習推進員・大学運営スタッフ）に努めた。

2　生涯学習大学の開設

市民一人ひとりが自主的に参加し、自らの意思で選択し受講できる生涯学習大学を開設している。

（1）　生涯学習大学講座内容　　（令和元年度）

講座名	対象	実施期間	回数	時間数	学級生数（人）		延べ参加者数（人）
					男	女	
日本文学講座	市民	R1. 6. 8～R1.10. 5	8	16	17	45	381
松山大学公開講座	市民	R1. 5.25～R1.12. 6	8	16	29	26	288
新居浜高専市民講座	市民	R1. 6. 1～R1.11.16	8	16	42	13	333
科学博物館講座	市民	R1. 5.29～R1.11. 6	8	16	39	27	403
遍路学事始め	市民	R1. 5.28～R1. 9.24	5	10	30	26	229
別子銅山と四国の鉱山	市民	R1. 5.22～R1. 9.25	4	8	42	9	166
郷土ものがたり	市民	R1. 6.13～R1. 7. 4	2	4	8	5	24
自然探訪（A）	市民	R1. 5.21～R1. 6. 4	2	4	9	11	35
自然探訪（B）	市民	R1. 5.23～R1. 6. 6	2	4	9	11	34
新居浜おとな塾（A）	市民	R1. 5.27～R1.10. 4	4	8	14	11	76
新居浜おとな塾（B）	市民	R1.10.10～R1.12.12	4	8	17	9	81
ふるさとの歴史あれこれ	市民	R1. 6.18～R1.10. 1	4	8	27	13	130
シニアライフ	市民	R1. 5.17～R1. 9. 6	4	8	12	51	199
草木染（A）	市民	R1. 6.11～R1. 7. 2	2	6	0	25	48
草木染（B）	市民	R1. 9. 3～R1.10. 8	2	6	0	13	26
新居浜環境講座	市民	R1. 6.19～R1. 9.18	4	8	9	6	56
懐かしの心の唄講座	市民	R1. 5.22～R1.10. 9	8	16	32	151	1,165
健康アラカルト	市民	R1. 7.25～R1.10. 3	4	8	1	56	156
思い出の昔あそび	市民	R1. 5.24～R1. 6.21	4	8	4	11	54
語り部教室パート2	市民	R1. 5.16～R1. 6.27	4	8	4	20	79
身近な国際交流	市民	R1. 5.15～R1. 7.17	4	8	5	19	68
学んでマナビィ	市民	R1. 6. 3～R1. 8. 2	5	10	7	116	113
特別講座　キャッシュレス	市民	R1.10.29～R1.10.29	1	2	8	12	20
雑談しま専科	市民	R1. 6. 5～R2. 2. 5	9	18	8	50	343
チケット受講生	市民				延べ38	延べ41	79
計	市民		110	224	411	777	4,586

（2）修業のつどい

行事名	実施年月日	事業の内容	参加者数
令和元年度修業のつどい	令和２年１月18日（土）	【パネルディスカッション】 テーマ　「令和の時代における新しい生涯学習大学の歩む道は～開設30年の歴史を振り返って未来へ～」 コーディネーター　讃岐　幸治　前学長 パネリスト　４名 【アトラクション】コーラス・オカリナ （新居浜市市民文化センター中ホール）	197人

高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績

1　高齢者生きがい創造学園事業報告

おおむね60歳以上の者を対象にして、その生きがいづくりと健康・自立を目指す学習ニーズに応えられるよう講座を開設して、学習機会の提供、各種情報の収集・提供やボランティア活動・サークル活動の促進をした。

（1）　生きがい創造学園講座内容　　（令和元年度）

講座名	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
				男	女	
幸齢社会を賢く生きる	R1. 6. 4～R2.11.12	8	16	22	30	318
郷土を歩く	R1. 5. 9～R2.11. 7	5	30	16	17	125
男の料理教室	R1. 5.15～R2. 2.12	8	24	16	0	107
趣味の料理教室	R1. 5.10～R2. 2.14	8	24	4	20	183
家庭菜園教室	R1. 5. 7～R2. 2. 4	9	18	10	10	166
短歌教室	R1. 5. 8～R2. 2.12	10	20	9	1	94
茶道教室	R1. 5.17～R2. 2.28	15	30	1	6	102
書道教室	R1. 5.22～R2. 2.19	16	32	3	8	148
絵手紙教室	R1. 5.21～R2. 2.18	15	30	2	23	330
写真教室	R1. 5.16～R2. 2.20	10	20	15	11	221
陶芸教室	R1. 5.15～R2. 2.19	8	16	11	8	144
コーラス教室	R1. 5.20～R2. 2.17	14	28	7	44	553
四季の組み木教室	R1. 5. 9～R2. 2.13	10	20	5	6	102
ピアノ教室	R1. 5.20～R2. 2.17	15	30	5	9	172
グラウンドゴルフ教室	R1. 5.20～R2. 2.17	16	32	17	16	426
ラージボール卓球教室	R1. 5.13～R2. 2.17	16	32	13	26	561
3B体操教室	R1. 5.17～R2. 2.14	10	20	1	21	144
計		193	422	157	256	3,896

（2）サークル活動等

【サークル活動】

講座終了者が、グラウンドゴルフサークルをはじめとする56サークルで自主的で幅広い活動をしている。

年間延べ回数 1,503回　　男 11,742人　　女 20,789人　　計 32,531人

【代表者会】

目　的　　学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図ることを目的とする。

構　成　　学園の各講座、サークルの受講者の互選により選出された代表者で構成される。

組　織　　総務委員会・広報委員会・体育委員会・文化委員会・音楽委員会で構成される。

行　事　　学園祭・グランドゴルフ大会・研修会等

学校教育課の主な施策と実績

令和元年度は、学び合う地域「新居浜市」の教育理念のもと、これからの時代を生き抜く子どもたちの未来を支えるために、学校・家庭・地域が価値観を共有し、一体となって取り組む体制を整え、不登校アンダー１００を達成できる次世代の学校づくり、地域づくりを推進することを重点目標とした。

学力向上推進委員会から出された提言を踏まえて、勇気づけの言葉掛け（ボイスシャワー）を積極的に行うこと、人のことを大切にして聞くことを、新居浜市の基本の授業スタイルとして、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）などの場を活用して、学校・家庭・地域が協働して創造する「開かれた教育課程」の構築に努めた。

特色ある学校づくり

学校は地域の誇りであり、選ばれる立場にあるということを認識し、学校教育の画一性・受け身体質を克服し、各学校がそれぞれの実情に応じ、自主的・自立的に創意・工夫を凝らした教育の展開を図る。

〈重点実施項目・内容〉

◎「持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）支援事業」を推進する。

小学校

学校名	事業名（実施テーマ）
新居浜小学校	見つめよう　考えよう　未来へつなげよう　ふるさと新居浜 ～学校ビオトープの学びを中心に～
宮西小学校	地域とつながり　未来へはばたく　みやにし（人・文化・自然）
金子小学校	未来につなげよう！金子愛顔の町プロジェクト～かかわる・つながる・ひろがる～
金栄小学校	金栄いきいきつながりプロジェクト～地域の方との交流活動を通して～
高津小学校	ふるさと発見　つなげよう未来へ
浮島小学校	共に生きる
惣開小学校	自ら学び、自ら考え、持続可能な社会づくりに参画・貢献できる人材の育成 ～ＳＤＧｓ達成のために学校と地域のパートナーシップを構築し、多様なステークホルダーとの協働により学校と地域をつなぐＥＳＤ活動を通して～
垣生小学校	「社会」「自然」「歴史・文化」とのふれ合いを通して ～命の尊さと共に生きることの素晴らしさを感じられる子～
神郷小学校	めざそう　神郷　Ｅ環境
多喜浜小学校	「多喜浜塩田を未来に伝えよう」
泉川小学校	わたしたちのまち　大好き泉川 ～自然・文化・人とのかかわりによるＳＤＧｓの達成～
船木小学校	「ふれあい　～ふるさと船木の自然や人～」
中萩小学校	「伝えよう！地域のよさを」　～東川の環境整備を中心にして～
大生院小学校	人・自然・地域から、ふるさと大生院の未来を創造する児童の育成
角野小学校	角野小学校タイムトラベル ～ふるさとに誇りをもち、そのよさを発信していける子の育成～
別子小学校	「学校・地域文化の継承・自然から学ぶ」 ～ふるさとを守ろう　ふるさとから学ぼう～

中学校

学 校 名	事　　業　　名（実施テーマ）
東　中　学　校	「うぐいす運動」
西　中　学　校	地域を知り、人とつながり、未来を拓こう
南　中　学　校	「共生社会」の実現を目指し、自己の生き方を探ろうとする心豊かな生徒の育成
北　中　学　校	私たちはどのようにすれば、人や自然に優しい街づくりができるのだろう。
泉 川 中 学 校	地域や社会に生きる一員として何ができるかを考え、公のために行動する
船 木 中 学 校	環境の視点から地域を見つめ直し、地域の一員としてどのように生きていけばよいか考えよう。
船 木 中 学 校 ひ び き 分 校	「地域と連携した和太鼓活動」～地域に学び、自己の生き方を考える～
中 萩 中 学 校	「自立・共存・交流」～地域に学び、自己の生き方を考える～
大 生 院 中 学 校	伝え合い学び合う生徒の育成 ～人・もの・自然とのかかわりを通して～
角 野 中 学 校	大人になっても語ろう！角野の誇り
川 東 中 学 校	地域の暮らしを見つめ、地域や社会の一員としてよりよく生きる
別 子 中 学 校	「学校・地域文化の継承」「自然から学ぼう」 ～ふるさとを守ろう　ふるさとから学ぼう～

コミュニティ・スクール

地域と学校が公式のパートナーとして、共に子どもたちを育て共に地域をつくる「地域とともにある学校づくり」の推進のため、全市的にコミュニティ・スクールの充実に向けた取組を実施した。

推進協議会での各校の取組や課題の共有や、各種研修会を実施し、各校の特色のあるコミュニティ・スクール充実につながった。

生徒指導

不登校対策に校長を中心に全教職員が一致協力して取り組み、全力を尽くしてその防止・解決に努めた。

不登校対策検討委員会や関係機関との連携を図り、実態に即した活動を実施した。

昨年度に引き続き本年度も、教育委員会、各学校及び青少年の健全育成団体との連携を図るため、「児童生徒をまもり育てる協議会」を中学校区別に実施した。

各学校と「あすなろ教室」との連携を深め、進路相談会や研修会を実施した。

人権・同和教育

校区別人権・同和教育懇談会開催事業として、基礎研修、学級・学年別研修を実施した。差別の現実に深く学ぶことを理念に、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しい理解を深め、全教育活動を通して、差別を「しない・させない・許さない」児童生徒を育成する教育実践を目指してきた。

国際・情報化

平成 28 年７～８月に新たに８名のＡＬＴを招致し、計 11 名のＡＬＴと英語指導員（３名）を小・中学校に派遣することにより、生きた英語教育の充実を図ることができた。また、市内全小・中学校がホームページを開設し、広く情報公開に努めている。

１　教職員研修の推進

研修内容の３本柱として、「特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実」「人権・同和教育の充実」「生徒

指導の徹底」を挙げ、次のとおり研修に努めた。

（１）重点目標

豊かな人間性や生きる力の育成

（２）最重要課題

ＥＳＤの推進による楽しい学校づくり

（３）研修の内容

ア　特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実

㋐　基礎的・基本的事項を確実に身につけ、個性を生かす学習指導の充実と評価方法の確立に努める。

㋑　児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。

㋒　豊かな体験を通して、道徳的実践力の育成と情操教育の充実を図る。

㋓　学校図書館や教育機器(コンピュータ等)の活用による指導法の改善に努める。

㋔　体験的・問題解決的な学習を重視し、ティームティーチングや少人数による授業の実施等、多様な学習指導の工夫に努める。

㋕　授業研究、事例研究等の研究を通して、「生きる力」を育てる実践的指導力の向上を図る。

イ　人権・同和教育の充実

㋐　相互に認め合い、戒め合い、支え合う仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。

㋑　家庭・地域・学校の連携をより深め、人権思想の啓発と高揚を図る。

㋒　困難な条件のもとにある児童生徒の教育条件を整備し、学力の向上と進路保障の体制を整える。

㋓　差別の現実を正しくとらえ、差別を解消する視点を明確にし、問題解決への実践力を身につける同和問題学習の推進に努める。

㋔　小・中学校の連携を図りながら、教職員一人一人の同和教育観の確立と同和問題解決の力量を高める。

ウ　生徒指導の徹底

㋐　いじめ・不登校・非行の問題について、校長を中心に全教職員が一致協力し、全力を尽くしてその防止・解決に努める。

㋑　学習指導と生徒指導の一体化を図り、一人一人のよさを認め、可能性を伸ばすよう指導の改善に努める。

㋒　教職員と児童生徒、保護者との信頼関係を確立し、積極的な生徒指導に努める。

㋓　児童生徒や保護者に対する教育相談を充実し、温かい人間関係のなかで、児童生徒理解に努める。

㋔　学校と家庭・地域社会・関係諸機関等との連携を密にし、協力体制の一層の充実を図る。

（４）研修の日程と協議内容

ア　小・中学校長研修会

４月 11 日（木）新居浜市教育委員会令和元年度基本方針の説明及び令和元年度校長研修会計画

11 月 20 日（水）「自分に問い続けたい人権・同和教育への思い」

２月 19 日（水）「学校経営の反省と今後の教育に望むこと」

イ　小・中学校教頭研修会

５月 30 日（水）開催

研究協議題「年度始めの学校運営について」「学校運営上の問題点と工夫」「年間計画」

８月 29 日（木）開催

研究協議題「不登校児童生徒アンダー100 と学力向上の実現のために教頭としてどう取り組んでいるか。」

12 月 11 日（水）開催

新居浜市立東新学園の施設見学

ウ　小・中学校主幹教諭及び教務主任研修会

５月 30 日（木）①主幹教諭・教務主任として、今年度工夫しようとしている点や過去の実践で効果があった取組

②主幹教諭・教務主任として、各校で行っている業務改善

８月　６日（火）　「各校の学力向上実現に向けて、主幹教諭・教務主任として、どのように取り組ん

でいるか。」

エ　小・中学校生徒指導主事研修会

４月 26 日(金)「いじめ・不登校の未然防止のために、小中連携を踏まえ各校においてどのような工夫、努力をしようとしているか」

８月 27 日(火)「新居浜市ＳＳＷＲの活動報告」

２月　４日(火)「令和元年度のいじめ・不登校の現状について」

オ　交通安全指導担当者研修会

４月 12 日(金)「小・中学生の交通事故の実態とその対策について」

カ　人権・同和教育主任研修会

５月 15 日（水）、６月 26 日（水）、７月 30 日（火）、８月７日（水）、１月 15 日（水）、１月 21 日（火）、２月 26 日（水）

・令和元年度人権・同和教育の推進について
・校区別人権・同和教育懇談会の取組について
・新居浜市小中学校人権・同和教育研究大会の取組について
・人権作文の取組について
・共通教材について
・令和元年度の人権・同和教育の推進の反省と今後の課題について
・令和２年度からの人権・同和教育の進め方について

キ　学力向上研修会

６月 28 日（金）小・中同日開催

〈小学校〉

・国語（低・高）・算数（低・高）・理科・図工・道徳・体育・外国語活動の授業公開を実施し、授業研究を行った。

〈中学校〉

・国語・社会・数学・理科・保健体育・英語・道徳・音楽・美術・特別支援教育の授業公開を実施し、授業研究を行った。

ク　新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会の開催

11 月 22 日（金）

小・中学校同日開催とし、小・中の交流を深めた。

【研究主題】「差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか」

小学校　〔会場〕Ａ群　中萩小学校
　　Ｂ群　船木小学校
　　Ｃ群　垣生小学校・多喜浜小学校

中学校　〔会場〕Ａ群　東中学校
　　Ｂ群　中萩中学校

２　教育研究所の歩み

22 期の２年次として、平成 30 年３月に新居浜市学力向上推進委員会から出された提言『グローバル社会を生き抜く「たくましさ」と「しなやかさ」を育む子どもたちの未来を支える体制づくり』を基本理念とする新たな研究体制を継続発展させた。

教育研究所員については、22 期において次の体制のもとに実践研究を行った。

ア　新居浜市教育研究所員は 10 人程度の公募制で、研究期間は１～２年とする。

イ　新居浜市教育研究所の諮問機関として新居浜市学力向上推進委員会を継続設置する。

【主な活動】

５月 13 日（月）　第１回新居浜市教育研究所研究所員任命式及び第１回研究所員会

６月　３日（月）　第１回社会科副読本編集委員会

６月 11 日（火）　第２回新居浜市研究所員会

７月 25 日（木）　第２回社会科副読本編集委員会
９月 13 日（金）　第３回研究所員会並びに第１回新居浜市学力向上委員会
９月 27 日（金）　第３回社会科副読本編集委員会
10 月 25 日（金）　第４回社会科副読本編集委員会
12 月 17 日（火）　第４回新居浜市研究所員会
12 月 26 日（木）　第５回社会科副読本編集委員会
１月 16 日（木）　第６回社会科副読本編集委員会
２月 25 日（火）　第７回社会科副読本編集委員会
３月　６日（金）　学力向上推進委員会並びに教育研究所員会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

３　適応指導教室（あすなろ教室）の歩み

不登校児童・生徒の数が全国的にも、また新居浜市においても増加の傾向にあることから、平成５年９月に青少年センターが旧図書館の一階に移転したのを機会に、同年 10 月から青少年センター内に「適応指導教室」を設置した。当初は、中学校生徒の受入れのみで始まったが、学校教育課所管になった平成 10 年度から、児童の受入れも開始した。

【入級児童・生徒数】

年　　度	人 数	備　　考
平 成 21 年 度	23	うち　児童４名
平 成 22 年 度	20	うち　児童５名
平 成 23 年 度	19	うち　児童２名
平 成 24 年 度	15	うち　児童２名
平 成 25 年 度	19	うち　児童５名
平 成 26 年 度	22	うち　児童２名
平 成 27 年 度	21	うち　児童２名
平 成 28 年 度	23	うち　児童３名
平 成 29 年 度	20	うち　児童５名
平 成 30 年 度	34	うち 児童 10 名
令 和 元 年 度	36	うち　児童８名

４　教育における国際化への対応

（１）ＡＬＴ（外国語指導助手）による訪問指導

新居浜市では、総務省・文部科学省及び外務省の協力で行っている「ＪＥＴプログラム」（語学指導を行う外国青年招致事業）の事業目的に則りＡＬＴ（外国語指導助手）として、新規に３名を招致した。

ア　趣　旨

各中学校の英語担当教員及び生徒、また、各小学校教員及び児童に、ＡＬＴによる生きた英語に接する機会を提供し、本市の英語教育の充実発展を図り、合わせて国際理解教育推進の一助とする。

イ　訪問期間

平成 31 年４月～令和２年３月

ウ　訪問（派遣）方法

訪問日は、月曜日から金曜日までとする。ＡＬＴ11 名が中学校に常駐。各中学校から計画に従って担当小学校に派遣

エ　ＡＬＴの職務

（ア）英語教師の授業補助（ティームティーチング）

（イ）英語担当の教員の研修（現職教育）

（ウ）教材作成の援助

（エ）その他、学校長に指示された職務

オ　成　果

「ＡＬＴとのふれあいや授業を通して、発音やスピーチ能力が高まり、英語に関心をもつ児童生徒が

増えた。」あるいは、「自分の英語力を試そうとする生徒が増え、コミュニケーション能力が育ってきている。」等の学校からの報告がある。このようなＡＬＴとのティームティーチングによる授業を通して生きた本場の英語を体験させ、学ぶ楽しさと国際理解を深めることができた。

（２）第 30 回新居浜市中学生英語スピーチコンテストの開催

英語によるコミュニケーションや表現に興味をもたせ、国際化社会に対応できる生徒を育成することをねらいに、新居浜市中学生英語スピーチコンテストが、市内英語教科会の協力のもとに開催された。

○　主　催　　新居浜市教育委員会　　新居浜ライオンズクラブ
○　日　時　　令和元年９月 27 日（金）
○　会　場　　新居浜市市民文化センター中ホール
○　弁　士　　10 名
○　題　材　　自由（５分以内）

（３）小学校英語指導員による訪問指導

英語指導員３名が市内の全小学校訪問指導し、外国語活動や総合的な学習の時間などを活用して、小学生の英語活動や英会話学習、国際理解教育の指導に当たっている。

５　中学生による国際交流事業

（１）趣旨

21 世紀を担う中学生が国際交流を通して、その国の文化・経済・生活習慣・国民性等を理解して、友好親善の絆を結ぶとともに、国際的視野の拡大を図り、国際感覚を磨き、さらには本市の活性化に通じる諸活動を推進するため、昭和 61 年度から中高生を中心に海外派遣研修事業を実施している。なお、新居浜市国際交流推進委員会の審議を経て、平成 19 年度から中学生海外派遣事業としてアメリカ合衆国フランクリン市へ中学生を派遣していたが、フランクリン市との本事業は平成 29 年度で終了となった。平成 30 年度からは、アメリカ合衆国ウィスコンシン州コンコーディア大学へ中学生を派遣している。



（２）実施状況

	訪問国（都市）	名称	日程	訪問者
61	中国 （泰安・済南・徳州）	日中友好の翼 ニイハマ訪中団	7／23 ～ 7／31	市長、教育委員、 市議会議員、教師等 11 人 中高生 20 人
62	東南アジア （シンガポール・バンコク）	東南アジア 友好のかけ橋‘87 団	7／23 ～ 7／29	団長（教育長） 教師等６人 中高生 25 人
63	韓国	‘88 日韓友好団	8／1 ～ 8／8	団長（教育長） 教師等６人 中高生 30 人
元	アメリカ （ロサンゼルス）	太平洋横断 夢の使節‘89 団	7／30 ～ 8／8	団長（助役） 教師等６人 中高生 30 人
2	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Hello.Australia 希望とふれあい‘90	7／26 ～ 8／3	団長（教育委員長） 教師等６人 中高生 30 人
3	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Friendship with Australians 青春・発見・感動‘91	7／25 ～ 8／1	団長（教育委員長） 教師等８人 中高生 30 人

4	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	Good day with Aussie ‘92	7／27 ～ 8／3	団長（収入役） 教師等８人 中高生 30 人
5	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	A good will mission to Australia ‘93	7／29 ～ 8／5	団長（教育委員長） 教師等７人 中高生 25 人
6	オーストラリア （シドニー・ メルボルン）	Jump into the life of Australia ‘94	7／28 ～ 8／4	団長（教育委員長） 教師等７人 中高生 25 人
7	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Lets make wonderful friendship in Australia ‘95	7／26 ～ 8／3	団長（助役） 教師等６人 中高生 25 人
8	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Lets go to Australia to find the same smiles！‘96 ―同じ笑顔を探して―	7／29 ～ 8／6	団長（教育委員長） 教師等７人 中高生 25 人
9	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Making new friends in the land of the Southern Cross ―南十字星の下で 友情を誓って―	7／28 ～ 8／5	団長（教育委員長） 教師等５人 中高生 25 人
10	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Put our Hearts Together into One ―深いきずなをこの一時で―	7／27 ～ 8／4	団長（市長） 教師等６人 中高生 25 人
11	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	In Australia,Lets Shine Together！1999☆ ―みんな輝いて―	7／26 ～ 8／3	団長（教育委員長） 教師等５人 中高生 25 人
12	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	Spread your Wings. Lets Go To A New Age ―翔け　未来へ―	7／26 ～ 8／3	団長（教育委員長） 教師等５人 中高生 25 人
13	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	BuildingBridges.LetsMake Borderless Countres. ―国境をこえて…―	7／26 ～ 8／3	団長（教育委員） 教師等５人 中高生 25 人
14	韓国（ソウル）	韓国訪問団友好新風	8／21 ～ 8／25	団長（教育長） 教師等６人 中高生 45 人
15	中　止			
16	韓国（ソウル）	「日韓友好輝団‘04」 ―輝く自分を見つけて―	8／9 ～ 8／13	団長（教育委員長） 教師等６人 中高生 45 人
17	韓国（ソウル）	「日韓栄光親善団‘05」 ―全ての隔たりを越えて―	8／8 ～ 8／12	団長（教育委員長） 教師等６人 中高生 45 人
18	韓国（ソウル）	「日韓新世代交流団‘06」 ―未来へ生かすこの時を―	8／1 ～ 8／6	団長（中学校長会長） 教師等６人 中高生 41 人
19	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Dream Chaser 2007 ―笑顔は世界の共通語―	10／31 ～ 11／9	代表　指導主幹 教師等２人 中学生 20 人
20	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Lets Make Friends 2008 ―国境を越えた仲間づくり―	10／28 ～ 11／7	代表　指導主幹 教師等２人 中学生 20 人
21	中　止			
22	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Friendship Link 2010 ―世界はひとつ　友情の輪―	10／30 ～ 11／9	代表　指導主幹 教師等２人 中学生 19 人

	訪問国（都市）	名称	日程	訪問者
23	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Imagine What We Can Do Together ―みんな友達―	10／29 ～ 11／8	団長　教育長 教師等２人 中学生 19 人
24	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	The Bonds of Friendships Link the World ―絆が世界を結ぶ―	10／27 ～ 11／6	代表　指導主幹 教師等２人 中学生 21 人
25	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Friendships Without Borders ―国境のない友情―	10／26 ～ 11／5	団長　教育委員 指導主幹　教師 中学生 18 人
26	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Smile Link connect the world 2014 ―世界を繋ぐ愛顔の輪―	10／25 ～ 11／4	団長　教育委員 指導主幹　教師 中学生 20 人
27	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Blooming warm smiles around the world 2015 ―世界中に咲き誇れ、笑顔の花―	10／24 ～ 11／3	団長　教育委員 指導主幹　教師 中学生 20 人
28	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Love and Friendship Across the Ocean 2016 ー愛と友情は海を越えるー	10／29 ～ 11／8	団長　教育長 指導主幹　教師 中学生 20 人
29	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	The World Lit by Friendships and Smiles 2017 ―友情と愛顔が世界を照らす―	10／28 ～ 11／7	団長‥教育委員 指導主幹　教師　ＡＬＴ 中学生 20 人
30	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （コンコーディア大学）	Concordia University Nice to Meet You! 2018 ―はじめまして！コンコーディア大学―	7／30 ～ 8／8	団長‥教育委員 指導主幹　ＡＬＴ 中学生 22 人
元	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （コンコーディア大学）	Concordia University is my starting point to change myself!2019 ―コンコーディア大学は私を変える出発点―	7／22 ～ 7／31	団長‥教育長 指導主幹　教師 中学生 22 人

６　放課後関連事業

（１）放課後児童クラブ

就労又は疾病のため、昼間家庭において保護者の監護を受けられない小学１年生から６年生を対象として、生活や遊びの場を提供し健全な育成に資するため、放課後児童クラブを開設している。令和元年度は、市内 15 校 26 クラブで実施し、年間平均登録児童数は 1,253 人となっている。また、民間の放課後児童クラブ１箇所に補助を行った。

（２）放課後まなび塾

学校の放課後、希望する小学生４～６年生に教員ＯＢ等が学習支援員となり、宿題や予習など児童が自主的に行う学習をサポートするなどの学習機会を提供し、子どもの学習習慣の定着と学力向上を目指している。

令和元年度は 15 校区で実施され、子ども延べ参加者数は 57,327 人となっている。

（３）放課後子ども教室

放課後や週末等において、公民館や学校の余裕教室等を活用して子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的に提供することにより、放課後等の支援活動を行うもの。地域の有識者等が講師となるプログラムや、企業・団体等が提供するプログラムなどそれぞれの教室で特色のある事業を実施している。

令和元年度は 16 教室で実施され、子ども延べ参加者数は 10,679 人となっている。

（４）地域学校協働本部事業

地域全体で子どもたちを守り育てるため、学校と地域の連携体制の強化を図り、各種の活動を行う地域

学校協働本部を設置している。主な活動内容は、登下校支援・校内環境美化・あいさつ運動・読み聞かせ・授業支援等である。

令和元年度は15校区で実施され、ボランティアなどの延べ活動人数は、38,500人となっている。

7　奨学金等

（1）新居浜市しらうめ入学準備金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

高等学校、大学、高等専門学校及び専修学校（一般課程を除く。）に入学しようとする者の保護者で、入学準備金の調達が困難であり、次の各号のいずれにも該当するもの

ア　本市に住所を有し、引き続き２年以上居住している者

イ　高等学校等への入学が確実である者の保護者

【基金の額】

5,350万円

【貸付け金額】

高等学校、高等専門学校又は専修学校（高等課程）　10万円

大学又は専修学校（専門課程）　30万円

【返還方法】

入学後６月を経過した日の属する月から原則卒業するまでの間に無利子で月賦による返還

【貸付け状況】　（単位：円）

年　度	貸付者（人）	貸 付 額	年　度	貸付者（人）	貸 付 額
22	1	50,000	27	2	100,000
23	1	50,000	28	2	100,000
24	3	150,000	29	0	0
25	4	200,000	30	2	100,000
26	2	100,000	元	1	50,000

（2）新居浜市奨学資金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

３年以上本市に在住する者の子弟であって、高等学校、高等専門学校、大学又は専修学校（専門課程）に在学し、その学資の支弁が困難であり、次の各号のいずれにも該当するもの

ア　学業が優秀で性行の善良な者

イ　身体の健康な者

ウ　他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

１億3,400万円

【貸付け金額】

ア　高等学校……卒業まで毎月8,000円

イ　高等専門学校……１年から３年まで毎月10,000円

４年から５年まで及び専攻科毎月18,000円

ウ　大学（短期大学を含む。）

又は専修学校（専門課程）……卒業まで毎月26,000円

【返還方法】

卒業後満１年後から15年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け状況】　（単位：円）

区分／年度	高等学校		高等専門学校		大学		計	
	貸付者（人）	貸付額	貸付者（人）	貸付額	貸付者（人）	貸付額	貸付者（人）	貸付額
22	4	384,000	1	120,000	10	3,120,000	15	3,624,000
23	5	480,000	1	120,000	12	3,744,000	18	4,344,000
24	5	480,000	1	216,000	15	4,914,000	21	5,610,000
25	5	480,000	2	336,000	11	3,432,000	18	4,248,000
26	3	216,000	1	120,000	18	5,616,000	22	5,952,000
27	2	192,000	1	120,000	14	4,368,000	17	4,680,000
28	3	288,000	1	216,000	8	2,496,000	12	3,000,000
29	2	192,000	1	216,000	9	2,808,000	12	3,216,000
30	2	192,000	0	0	4	1,014,000	6	1,206,000
元	0	0	0	0	4	1,248,000	4	1,248,000

（３）新居浜市青野記念奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

３年以上本市に在住する者の子弟であって、新たに大学（修業年限４年以上）へ入学したもの（短期大学、高等専門学校又は専修学校から大学へ編入学したものを含む。）で、その学資の支弁が困難であり、次の各号のいずれにも該当するもの

ア　学業が優秀で性行の善良な者

イ　身体の健康な者

ウ　他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

7,000 万円

【貸付け・給付金額】

４年間（編入学者については２年間）を限度として毎月 32,000 円（うち 16,000 円は貸付金、16,000 円は給付金とする。）

※平成５年度以前に決定した者については、毎月 20,000 円（うち 10,000 円は貸付金、10,000 円は給付金）

【返還方法】

卒業後満１年後から 15 年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】　（単位：円）

区分／年度	大学		備考
	貸付者（人）	貸付額	
22	4	1,536,000	うち給付金 768,000
23	4	1,536,000	うち給付金 768,000
24	4	1,536,000	うち給付金 768,000
25	4	1,536,000	うち給付金 768,000
26	4	1,536,000	うち給付金 768,000
27	4	1,536,000	うち給付金 768,000
28	4	1,536,000	うち給付金 768,000
29	2	768,000	うち給付金 384,000
30	3	1,152,000	うち給付金 576,000
元	2	768,000	うち給付金 384,000

（４）新居浜市特別奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

３年以上本市に在住する者の子弟であって、大学院（修士課程・博士課程）に在学するもの又は海外の大学に在学するもので、次の各号のいずれにも該当するもの

ア　学業が優秀で中正妥当な性格で特に研究熱心な者

イ　留学生は、高等学校卒業者で 30 歳未満の者

ウ　学資が乏しく修学困難な者

エ　身体の健康な者

オ　他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【貸付け・給付金額】

修士課程及び留学生は２年間、それ以外は５年間を限度として毎月 30,000 円（うち 20,000 円は貸付金、10,000 円は給付金とする。）

【返還方法】

卒業後満１年後から 10 年間以内に無利子で半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】　（単位：円）

区分／年度	大学院・留学生		備　考
	貸付者（人）	貸 付 額	
22	3	1,080,000	うち給付金 360,000
23	1	360,000	うち給付金 120,000
24	2	660,000	うち給付金 220,000
25	4	1,320,000	うち給付金 440,000
26	3	1,080,000	うち給付金 360,000
27	3	840,000	うち給付金 280,000
28	3	780,000	うち給付金 260,000
29	2	720,000	うち給付金 240,000
30	1	360,000	うち給付金 120,000
元	1	360,000	うち給付金 120,000

８　新居浜市寺尾音楽教育振興基金

【設　置】

故　寺尾貞子氏の遺志を継がれた遺族の寄附金により学校音楽教育の振興を図ることを目的として、新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業の経費に充てるため、平成元年度に設置した。

【基金の額】

1,000 万円

【学校音楽教育振興資金】

学校音楽教育振興資金は、次の各号に掲げる事業を行う新居浜市小・中学校音楽振興会に補助する。

ア　学校音楽教育における教職員の資質向上のための研修事業

イ　特に、学校音楽教育発展に貢献し、その功績が顕著な者の表彰

ウ　その他新居浜市教育委員会が承認する事業

【運用収益の処理】

基金の運用から生ずる収益は、予算に計上し、基金に編入するものとする。

教職員の研修に関する事業

音楽指導者講習会　　令和元年７月　６日（土）マリンパーク新居浜

７日（日）新居浜市市民文化センター大ホール

８月 24 日（土）高津公民館

9　新居浜市工藤交通災害遺児修学基金

【設　置】

故　工藤圓治氏の寄付金により、交通災害遺児に対する修学援助を図ることを目的として、平成５年度に設置した。

【基金の額】

1,000 万円

【修学援助】

交通災害遺児（義務教育就学中の児童及び生徒）に対し、図書カードを支給

【支給状況】　（単位：人）

区分／年度	小学校 対象者	中学校 対象者	計
27	4	1	5 人 15,000 円
28	4	3	7 人 21,000 円
29	4	3	7 人 21,000 円
30	4	2	6 人 18,000 円
元	3	2	5 人 15,000 円

10　就学援助費

【趣　旨】

学校教育法第 19 条の規定に基づき、経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対して必要な援助を行う。

【援助の対象】

新居浜市に住所を有し、小学校又は中学校に在学する児童生徒の保護者で生活保護法第６条第２項に規程する要保護者及び要保護者に準ずる程度に困窮している者

【就学援助の種類】

学校給食費、通学費、修学旅行費、校外活動費(宿泊を伴わないもの)、校外活動費(宿泊を伴うもの)、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費、入学準備金等

【就学援助の状況】　（単位：円）

区分／年度	小学校		中学校		計	
	対象者	援助金	対象者	援助金	対象者	援助金
22	549	32,913,315	320	27,268,325	869	60,181,640
23	552	32,533,592	356	30,983,202	908	63,516,794
24	546	32,731,536	370	32,756,047	916	65,487,583
25	524	31,265,030	324	28,449,877	848	59,714,907
26	535	31,849,307	335	27,786,536	870	59,635,843
27	577	35,908,625	312	26,181,819	889	62,090,444
28	612	37,055,597	315	25,735,513	927	62,791,110
29	720	42,541,663	305	32,172,027	1,025	74,713,690
30	698	40,303,052	319	29,805,438	1,017	70,108,490
元	644	41,624,527	317	32,812,695	961	74,437,222

＊平成 29 年度以降、新中１・新小１に対して、入学運備金を前倒しで支給。

＊令和元年度について、新型コロナウイルス感染症対策にかかる臨時休業対策支援事業費を含む。

11　特別支援教育就学奨励費

【趣　旨】

市町村が特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のため必要な援助をし、もって特別支援教育の振興に資することを目的としている。

【援助の対象】

市内の小学校及び中学校の特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者

【就学奨励の種類】

学校給食費、通学費、職場実習交通費、交流及び共同学習交通費、修学旅行費、校外活動参加費（宿泊を伴わないもの）、校外活動参加費（宿泊を伴うもの）、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費等

【就学奨励の状況】　（単位：円）

区分／年度	小学校		中学校		計	
	対象者	奨励費	対象者	奨励費	対象者	奨励費
22	50	1,533,286	16	526,473	66	2,059,759
23	51	1,346,323	19	659,141	70	2,005,464
24	58	1,634,988	25	990,264	83	2,625,252
25	67	1,876,018	27	973,808	94	2,849,826
26	82	2,304,020	25	846,979	107	3,150,999
27	78	2,147,758	21	681,789	99	2,829,547
28	89	2,395,170	23	769,297	112	3,164,467
29	112	3,096,859	27	1,095,280	139	4,192,139
30	98	2,981,008	38	1,504,144	136	4,485,152
元	114	3,711,705	54	2,457,707	168	6,169,412

＊令和元年度について、新型コロナウイルス感染症対策にかかる臨時休業対策支援事業費を含む。

12　幼稚園就園奨励事業

【目　的】

幼稚園教育の振興に資するため、国の補助を受け、幼稚園に就園する満３歳児から５歳児の保護者の所得に応じた経済的負担の軽減と公私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図る。令和元年 10 月から幼児教育の無償化が始まったことにより、補助対象期間は平成 31 年４月から令和元年９月までとなり、幼稚園就園奨励事業は令和元年度をもって終了となった。

【補助金の交付状況】

区分／年度		25	26	27	28	29	30	元
対象園児（人）	市立	9	6	－	－	－	－	－
	私立	906	990	991	978	839	774	533
	（計）	915	996	991	978	839	774	533
補助金額（減免額）（千円）	市立	180	117	－	－	－	－	－
	私立	31,240	45,623	83,367	85,315	76,774	73,355	25,390
	（計）	31,420	45,740	83,367	85,315	76,774	73,355	25,390

【令和元年度所得階層別内訳】（注）補助対象期間は平成31年４月から令和元年９月まで

区分	所得階層区分	第１子			第２子			第３子		
		補助単価	対象園児	補助金額（減免額）	補助単価	対象園児	補助金額（減免額）	補助単価	対象園児	補助金額（減免額）
私立	Ⅰ　従来条件									
	市民税非課税世帯（生活保護世帯を含む）	84,000	9	742,000	102,000	14	1,258,000	102,000	1	102,000
	市民税所得割課税額非課税世帯	84,000	7	574,000	102,000	2	204,000	102,000	2	204,000
	市民税の所得割課税額が77,100円以下となる世帯	61,800	27	1,575,900	81,600	18	1,468,800	102,000	6	612,000
	市民税の所得割課税額が 211,200 円以下となる世帯	19,800	194	3,666,300	60,900	126	7,246,600	102,000	14	1,292,000
	上記区分以外の世帯	―	―	―	51,000	93	4,564,500	102,000	8	680,000
	小計		237	6,558,200		253	14,741,900		31	2,890,000
	◎ひとり親世帯等の特例									
	市民税非課税世帯（生活保護世帯を含む）	102,000	6	612,000	102,000	3	306,000	102,000	1	102,000
	市民税所得割課税額非課税世帯	102,000	0	0	102,000	0	0	102,000	0	0
	市民税の所得割課税額が77,100円以下となる世帯	90,000	2	180,000	102,000	0	0	102,000	0	0
	小計		8	792,000		3	306,000		1	102,000
合計			245	7,350,200		256	15,047,900		32	2,992,000

13　私学助成

就学前教育の充実を図るため、私立幼稚園の運営に対し助成を行っている。

４園　2,441,560円

14　学校保健

（１）学校職員・児童生徒の健康診断の拡充

近年、飽食の時代になり成人に多く見られている病気が児童生徒にも多く発生している。そこで、検診機会の少ない児童生徒に対し、集団検診を実施することで早期発見・早期治療に努める。また、教職員においても各種検診を実施している。

（２）学校保健委員会の推進

心身共に健康でたくましく生きる児童生徒の育成に向け、学校・地域社会・家庭との連携を深め、自ら積極的に健康づくりに取り組むため、各校の学校保健委員会の充実と有効活用に努めている。

（３）健康・安全教育の推進

児童生徒が健康でなければ楽しい学校生活は送れない。そこで疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、交通安全、学校内の災害発生防止に向け、健康・安全教育を推進している。

（4）日本スポーツ振興センター災害救済給付制度の加入促進

日本スポーツ振興センター災害救済給付制度へは、原則全員加入している。

【体位測定表】　（令和元年度）

			人数（人）	身長（cm）	体重（kg）
				平　均	平　均
幼　稚　園	4　歳	男	16	102.0	17.1
		女	12	103.4	17.1
	5　歳	男	24	108.5	17.8
		女	25	110.5	19.2
小　学　生	6　歳	男	487	116.2	21.4
		女	492	115.3	20.8
	7　歳	男	529	122.1	23.9
		女	473	121.3	23.4
	8　歳	男	548	127.4	27.0
		女	524	127.4	27.1
	9　歳	男	522	133.5	30.3
		女	527	132.8	29.8
	10　歳	男	540	138.0	34.2
		女	536	139.6	33.8
	11　歳	男	596	144.3	38.6
		女	511	146.1	39.2
中　学　生	12　歳	男	509	152.1	44.0
		女	461	150.9	43.6
	13　歳	男	522	153.6	47.9
		女	491	152.1	47.0
	14　歳	男	517	161.3	52.8
		女	516	152.1	48.9

【歯科検診成績】　（令和元年度、単位：人）

区　　分	検 査 人 員	む　　し　　歯		その他歯・口腔疾患異常者数
		処置完了者	未処置ある者	
幼　稚　園	77	4	13	1
小　学　校	6,285	1,763	1,785	898
中　学　校	3,016	1,021	479	416
計	9,378	2,788	2,277	1,315

【脊柱側わん症検診】　（令和元年度、単位：人）

区　　分	検 査 人 員	一次検診異常者数
小　　学　　校	1,076	22
中　　学　　校	949	51
計	2,025	73

●検査対象者は小学校５年生、中学校１年生全員

モアレ写真撮影による（一次検診）

【血液検査結果】　（令和元年度、単位：人）

区　　分	検 査 人 員	一次検診異常者数	二次検診異常者数
小　　学　　校	1,147	356	103
中　　学　　校	1,042	335	70
計	2,189	691	173

●検査対象者は小学校４年生、中学校１年生全員

（小学校５年生、中学校２年生で昨年異常だった者の再検査を含む。）

15　学校体育活動の推進

体育授業や体育活動、部活動等の充実により、児童生徒の体力向上や運動の日常化の推進のため、小・中学校体育連盟の活動とともに、各学校の体育主任、部活動顧問が連携し、児童生徒の運動能力、体力の向上に向け、学校体育活動の充実を図った。

【新居浜市小学校体育連盟】

体育活動を通しての児童の健全育成については、新居浜市水泳記録会・新居浜市陸上競技会・親善球技大会を中心として実施した。記録会においては、多くの児童が自己記録を更新するための継続した練習を行い、能力及び体力の向上に大きく貢献した。また、親善球技大会では、サッカーの技能を高めるとともに、スポーツの楽しさや学級のチームワークを育成することにも大きく役立った。

【新居浜市中学校体育連盟】

中学校における保健体育の健全な発達を図ることを目的に、生徒・教職員の諸体育大会の開催、中学校保健体育振興に関する調査研究等を実施した。

行事実績

【新居浜市小学校体育連盟】

小学校教職員ソフトボール大会	５月11日(土)	河川敷ソフトボール場	250人
小学校体育実技講習会	６月３日(月)、８月21日(水)		
	11月29日(金)	河川敷陸上競技場他	100人
小学校水泳記録会	７月23日(火)	惣開小・高津小	550人
小学校陸上運動記録会	10月９日(水)	河川敷陸上競技場	400人
小学校親善球技大会	２月５日(水)	各小学校（会場）	600人

【中学校】

市長旗・杯争奪中学校選手権大会	４月20日、27日、28日	市営野球場他	2043人
中学校総合体育大会	６月５日、６日、８日	市営野球場他	1872人
愛媛県中学校総合体育大会	７月20日～26日	松山市周辺	492人
四国中学校総合体育大会	８月１日～５日、７日	四国４県	56人
全国中学校体育大会	８月17日～25日	近畿	9人
中学校新人体育大会	10月２日、３日、５日	市営野球場他	1,272人
愛媛県中学校新人体育大会	10月26日、11月８日～12日		388人
中学校駅伝競走大会	11月３日	河川敷陸上競技場周辺	230人
愛媛県中学校駅伝競走大会	11月16日	河川敷陸上競技場周辺	18ﾁｰﾑ
全国中学校駅伝競走大会	12月14日、15日	滋賀県	２ﾁｰﾑ
第11回愛媛県中学校体育連盟研究大会	11月19日	東温市(重信中、中央公民館)	

16　人権・同和教育実践の状況

（１）新居浜市小学校人権・同和教育研究大会

○　期　　日　　令和元年 11 月 22 日（金）

○　会　　場　　Ａ群　中萩小学校
　　Ｂ群　船木小学校
　　Ｃ群　垣生小学校・多喜浜小学校

○　研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

○　研究授業

群	会　　場	分科会		教科等	資料名	授業者
A	中萩小学校	低	２年	道徳	生きる喜び「ぼく」	内田　静香
		中	４年	道徳	勇気・自信をもって「勇気を出して」	佐光　彰子
		高	６年	道徳	同じ人間として 「人の世に熱あれ、人間に光あれ」	藤田　義和
B	船木小学校	低	２年	道徳	助け合う友達「森のともだち」	髙橋　真佳
		中	４年	道徳	自分で考え、行動する 「いっしょになって､わらっちゃだめだ」	伊達　成章
		高	６年	道徳	差別のない世の中に 「人の世に熱あれ　人間に光あれ」	酒井　宏彰
C	垣生小学校・ 多喜浜小学校	低	２年	道徳	助け合う友達「森のともだち」	髙市　健也
		中	４年	道徳	正しいと思うことをする 「勇気を出して」	元山佐弥香
		高	６年	道徳	差別をしない生き方を考える 「山の粥」	越智　政之

（２）新居浜市中学校人権・同和教育研究大会

○　期　　日　　令和元年 11 月 22 日（金）

○　会　　場　　A群　東中学校
　　B群　中萩中学校

○　研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

○　研究授業

群	会　　場		教科等	題材名	授業者
A	東中学校	１年	道徳	山の粥	原　裕也
		２年	特別活動	人権ゆかりの地をたずねて	西村　祥一 大野めぐみ 池本いずみ 岡田　大志 山本　桂子 真鍋　邦恵 渡部　真吾 沼田　博之
		３年	特別活動	ハンセン病問題学習	吉村　拓哉
B	泉川中学校	１年	道徳	渋染一揆	眞鍋　美緒
		２年	道徳	全国水平社の創立 ～水平社宣言から学ぶ～ 「三月三日の風」	佐竹　紗依
		３年	道徳	峠	坂本　由香

発達支援課の主な施策と実績

地域における発達支援及び特別支援教育の中核的機関として設置した「こども発達支援センター」を中心に、総合相談、臨床心理士などによる幼稚園、保育所、小・中学校への巡回相談や発達検査の実施、個別の教育支援計画の作成、引き継ぎなど関係機関とのネットワークの強化を図りながら、子どもの発達の支援に向け諸事業を展開した。関係機関を包括した新居浜市地域発達支援協議会において、就学前の支援について検討を進めた。また、個別療育、小集団療育、構音指導、個別ＳＳＴ等を内容とする早期療育通園事業を実施し、心身の発達に課題のある就学前の幼児に対し、個々の障がいの状態や生活年齢、学習状況や経験等に応じた具体的な指導や支援を行い、早期療育体制の充実強化に取り組んだ。さらに、発達障がい等の特性の理解や効果的な支援のあり方に関する研修会や発達障がい支援者のための実践セミナー、特別支援教育ハンドブックの活用等により、関係職員の専門性、実践力の向上や発達障がい等の理解啓発を図った。

１　特別支援教育支援員の配置状況

障がいや発達課題のある児童・生徒等が在籍する小・中学校等において、学校生活における介助や学習指導の支援を行うために特別支援教育支援員を配置し、児童生徒等や教員を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童生徒等の学習効果を高め、学校・園生活へのよりよい適応を図った。

種　別	目　　的	人数	配置学校
学校生活介助員	障がいのある園児、児童及び生徒が在籍する公立幼稚園、市内の小・中学校において、学校や園での生活や移動等の介助を行うために配置し、必要な支援を行うことにより、学校や園生活への適応を図ることを目的とする。	幼稚園（６人）	神郷・王子
		小学校（80 人）	新居浜・宮西・金子 金栄・高津・浮島 惣開・垣生・神郷 多喜浜・泉川・船木 中萩・大生院・角野
		中学校（22 人）	東・南・北・中萩 角野・川東
学校支援員	小学校の通常の学級に在籍する発達障がい等のある児童の特性に応じた学校生活や学習の支援を行い、学習効果を高め、児童のより良い成長を図ることを目的とする。	小学校（14 人）	新居浜・宮西・金子 金栄・高津・浮島 惣開・垣生・神郷 多喜浜・泉川・船木 中萩・大生院・角野

２　教育支援委員会の開催状況

児童等の心身の障がい及び発達課題の個々の状況に応じ、適切な就学等の支援について必要な調査及び検討を行った。

開催回数	判断依頼数
５回	262 件

3　新居浜市地域発達支援協議会の開催状況

地域発達支援協議会では、就学前の各機関の支援の在り方を協議するとともに、就学後の読み書きに困難を抱える子どもの支援の在り方について検討を進めた。

開催日	協　議　内　容
7月 10 日	令和元年度新居浜市保育ステップアップ講座（園内研修）について 「読み書き困難の子どもへの支援」実践研修について 新規事業の紹介
10 月 30 日	就学相談の在り方について 令和２年度就学相談の判断と経緯について 特別支援学校における入学や就労について 医療的ケアに関する取り組みについて
２月 27 日	現在の課題・対応策について

4　総合相談の実施状況

障がいや発達課題のある子どもへの育児や発達、就学について保護者が抱いている不安や疑問について相談に応じ、適切な支援へつなげた。また、必要に応じて、学校、園や医療機関と調整を行うなど関係機関との連携を図った。

実 施 人 数（延）	相　談　内　容
幼児　　291 人（ 758 人）	子ども理解、障がい、発達障がい、就学相談、入園相談、不適応、登園しぶり、 ＳＦ新規作成（93 人）、ＳＦ見直し（33 人）
小学生　298 人（ 698 人）	障がい、発達障がい、不登校、その他（担任不信、いじめ等） ＳＦ新規作成（82 人）、ＳＦ見直し（149 人）
中学生　　98 人（ 343 人）	いじめ、障がい、発達障がい、進路相談、不適応 ＳＦ新規作成（12 人）、ＳＦ見直し（81 人）
高校生　　41 人（ 148 人）	適応相談、進路相談、障がいの理解と支援、ソーシャルスキル
計　　728 人（ 1,947 人）	



発達支援スキルアップ講座



第１回特別支援教育研修会

5　巡回相談の実施状況

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における障がいや発達課題のある子どもの早期発見、具体的支援方策の協議、相談を通して教職員のスキルアップを図るとともに、保護者や関係機関との情報の共有等により、信頼関係の構築を図った。

実施延人数（内訳）	相　談　内　容
保育所：156 人 ・１歳児　３人・２歳児　31 人・３歳児　49 人 ・４歳児　51 人・５歳児　22 人 幼稚園：43 人 ・３歳児　19 人・４歳児　19 人・５歳児　５人	・ことばの発達　・全体的な発達の遅れ ・落ち着きがない　・指示が入りにくい ・こだわりが強い　・気持ちのコントロール ・集団活動の様子　・排泄や食事について ・就園の不安　・就学について ・子育てについて　・保育について ・成長したこと　・できるようになったこと
小学校：206 人 ・１年生　61 人・２年生　35 人・３年生　38 人 ・４年生　28 人・５年生　28 人・６年生　16 人 中学校：12 人 ・１年生　５人・２年生　６人・３年生　１人	・学習面の遅れ　・指示理解ができにくい ・集団行動が苦手　・集中力が続かない ・喧嘩やトラブル　・生活リズムの崩れ ・話がきけない　・多動である ・特性理解について　・支援方法について ・特別措置について　・中学・高校に向けての不安
合計　417 人	

6　保育ステップアップ講座（園内研修支援事業）の実施状況

継続的な園内研修を通して、子どもの特性理解を深め、支援のあり方を検討および実践することによって、保育関係者の資質の向上を目指した。本年度は、市内私立保育園のうち、新田保育園とすみれ保育園の保育関係者を対象とした。

○日　　時　令和元年６月 25 日（火）・９月 13 日（金）・12 月 11 日（水）
令和元年７月　９日（火）・10 月 29 日（火）・令和２年１月 14 日（火）
９時 30 分～16 時 00 分

○場　　所　新田保育園・すみれ保育園

○内　　容　インクルーシブ教育システム・統合保育について
幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿

○相 談 員　特別支援教育士スーパーバイザー　渡部　徹
教育カウンセラー　西原　勝則

○相談延人数　新田保育園　10 人　・すみれ保育園　14 人

7　聴覚障がい児相談事業の実施状況

○日　　時　月１回　９時 30 分～16 時

○場　　所　こども発達支援センター

○目　　的　聴覚の障がいや聞こえや言葉の獲得に課題のある子どもたちが、より豊かに自尊心をもって自立した生活ができることを目指す。

○内　　容　聴覚の発達の相談・聴覚の発達に必要な指導療育（手話等）に関すること
保護者への支援及び通所機関への助言と支援

○相 談 員　愛媛県立松山聾学校　教諭　高須賀　妙子

○相談延人数　54 人

8　発達検査の実施状況

発達の特徴やバランス、得意・不得意な点を把握し、具体的なかかわり方や個々の状態に応じた学習方法等の支援へつなげる。

幼　児	小学生	中学生	高校生	計
112 人	84 人	22 人	4 人	222 人

9　早期療育通園事業（親子通園事業）の実施状況

発達に課題のある未就学児に対して、日常生活における基本的動作及び集団生活への適応指導等の相談、指導、療育などを行うことによりその発達を支援し、かつ助長するとともに、その保護者に対して家庭生活における諸問題についての相談指導を行った。

（1）事業の概要

教室名	教室実施曜日	登録者数	主な療育内容
ことばの教室	水・木・金	130 人	構音指導、個別療育、個別ＳＳＴ
育ちの教室	水・木・金	65 人	小集団療育、集団ＳＳＴ

（2）　事業実施状況　　（延利用人数、単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ことばの教室	0	88	159	192	151	49	178	165	144	153	159	17	1,455
育ちの教室	28	108	188	104	82	28	85	104	70	98	105	3	1,003

（3）保護者会の開催状況

開催日	内　　容
5月21日	就学について
6月18日	講演「見方を変えて、子どもの味方になろう！～子育てで大切にしたいこと～」
11月　5日	講演「家庭で出来るビジョントレーニング」
2月18日	ムーブメント教育療法

10　５歳児発音検査の実施状況

小学校入学に向けて実施する就学時健康診断に先立ち、保育所・幼稚園に出向き発音検査を実施した。構音を獲得できていない幼児に対し、二次検査、構音指導につなげた。

○実施者数　986 人

（うち　二次検査実施者数　80 人）

（うち　構音指導実施者数　57 人）

11　ペアレントトレーニングの実施状況

新居浜市早期療育通園事業と保健センターフォローアップ教室を利用する保護者が社会性、コミュニケーションの発達に課題のある子どもの特性を知り、子どもへの関わり方について具体的に指導を受けた。

○日　時　第１回目　令和元年 11 月　２日（土）　　第２回目　令和元年 12 月 14 日（土）

第３回目　令和２年　１月 25 日（土）　　第４回目　令和２年　２月 15 日（土）

９時 30 分～11 時 30 分

○内　容　第１回目　子どもの発達に大切なこと　　第２回目　ペアレントトレーニングとは・行動分析

第３回目　上手なほめ方　　第４回目　ほめるとムシのトレーニング

○講　師　医療法人　ゆうの森　たんぽぽクリニック　大藤　佳子医師

○参加者　第１回目　10 人　　第２回目　14 人　　第３回目　17 人　　第４回目　15 人

12　研修会等の開催状況

講演会や研修会の開催を通して、障がいや発達課題のある子どもの特性理解や実態把握の方法、具体的な支援の在り方の理解を深め、専門性と実践力を高めることができた。また、発達障がいや特別支援教育に関する地域社会の理解の向上を図った。

（１）第１回特別支援教育研修会

○日　時　　令和元年６月 15 日（土）10 時 00 分～12 時 00 分

○場　所　　別子銅山記念図書館　ホール

○目　的　　発達障がいについて理解を深めるとともに、支援を必要とする幼児の気づき、適切な支援へつなげることができるようにする。

○参加者　　94 人（幼稚園教諭・保育士・関係機関職員・保護者）

○内　容　　演題「子どもも親も幸せになる発達障がい児の育て方」

・自閉症の息子の育ち・受診、診断の受容・学習障がいの体験

・合理的配慮について・定型発達の人の考え方・基礎知識

・保育者の意識・カミングアウト・福祉サービスについて

○講　師　　子育て本著者　講演家　立石　美津子

（２）発達支援スキルアップ講座（前期）

○日　時　　令和元年８月９日（金）９時 45 分～15 時 45 分

○場　所　　新居浜工業高等専門学校　視聴覚室

○目　的　　発達障がいのある子どもの支援者が、的確な実態の把握の方法や背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。

○参加者　　85 人（小中学校教職員・幼稚園保育園職員・関係機関職員）

○内　容　　「子どもの行動の意味や背景を知り、能力を最大限度まで発達させるには」

○講　師　　愛媛大学教育学部　教授　吉松　靖文

（３）発達支援スキルアップ講座（後期）

○日　時　　令和元年 12 月 26 日（木）９時 30 分～16 時

○場　所　　新居浜市総合福祉センター　第１研修室

○目　的　　発達障がいのある子どもの支援者が、的確な実態把握の方法や背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。

○参加者　　74 人（小中学校教職員・幼稚園保育園職員・関係機関職員）

○内　容　　午前「就学前の巡回相談で学んだこと」

午後「小中学校の巡回相談で大切にしたいこと」

○講　師　　特別支援教育士　スーパーバイザー　渡部　徹

（４）心理アセスメント講座

○目　的　　いろいろな面から発達課題のある子どもをとらえ、その支援を実践するためには、学校教職員の教育的対応の強化が必要となってくる。そのため発達検査の基礎を学習したうえで、事例検討から児童生徒の現状や生育過程や発達検査のプロフィールからわかる認知特性をふまえ、課題や解決策を学ぶ。

○日時及び研修内容及び参加者

開催日時	研修内容	参加人数
８月７日　（水） ９時 30 分～15 時 30 分	発達検査のプロフィールの読み取り ～小中学生の事例を通して～	小中学校教職員 29 人
９月 20 日　（金）　10 月 21 日　（月） 11 月 19 日　（火）　１月 15 日　（水） 16 時 30 分～19 時	【事例検討及び講義】 プロフィール分析及び総合的なアセスメント・事例検討	小中学校教職員 25 人

○場　所　　市民文化センター・こども発達支援センター
○講　師　　特別支援教育士スーパーバイザー　渡部　徹

（５）発達障がい支援者のための実践セミナーの実施状況
○日　時　　令和元年７月 29 日（月）　　９時 00 分～17 時 00 分
　　８月　３日（土）・４日（日）　９時 00 分～17 時 00 分
○場　所　　こども発達支援センター他
○目　的　　・自閉症の本質的な障がい特性について理解する。
　　・自閉症支援における理念と方法を学ぶ。
　　・ＯＪＴによる学習（講義と実践との組み合わせ）
○委託先　　（特非）ライフサポートここはうす
○協力児　　２人
○受講者　　15 人（小中学校教諭、保育士・幼稚園教諭　他）
○公開講座　27 人
○フォローアップ研修会（８月 19 日・12 月 16 日・２月 17 日）　　参加者 34 人

（６）「読み書きに困難を抱える子どもの理解と支援」の実施状況
○日　時　　令和元年　９月 19 日　（木）　15 時 00 分～17 時 00 分
　　10 月 11 日　（金）　15 時 00 分～17 時 00 分
　　10 月 28 日　（月）　15 時 30 分～17 時 30 分
　　令和２年　１月 20 日　（月）　15 時 00 分～17 時 00 分
　　１月 28 日　（火）　15 時 00 分～17 時 00 分
○場　所　　新居浜市民文化センター　４階大会議室　他
○目　的　　読み書き困難がある子の学びに関して、参加者（教員）が共感的に理解する。
　　読み書き困難がある子の個々のニーズに応じて、適切に指導できる教員を養成する。
○委託先　　ＮＰＯ団体　志リレーションＬａｂ
○参加者　　研修会　　１回目　21 人（小中高等学校教諭）
　　２回目　14 人（小中高等学校教諭）
　　３回目　36 人（小中学校教諭）
　　４回目　40 人（小中高等学校教諭）
　　５回目　55 人（小中高等学校教諭）
○講　師　　１回目　　ＮＰＯ団体　志リレーションＬａｂ　　石丸　利恵
　　２回目　　未来高等学校　新居浜　　新開　多恵
　　３・４回目　廿日市市教育委員会特別支援教育アドバイザー　　山田　充
　　５回目　　愛媛大学教育学部特別支援教育講座准教授　　苅田　知則

13　自閉症・情緒障がい学級通学費補助の状況

通学区域外の自閉症・情緒障がい学級に通学する児童生徒にその通学費の一部を補助することで、特別支援教育を推進するとともに保護者の負担軽減を図った。

対象児童生徒数	１人

14　私立幼稚園等特別支援教育事業費補助の状況

障がい児を受け入れ特別支援教育を積極的かつ継続的に実施する私立幼稚園等に対して、特別支援教育事業に要する経費の一部を補助することで特別支援教育の振興と就園機会の促進を図った。

対象私立幼稚園数	５園
対象幼児数	29 人

学校給食課の主な施策と実績

1　学校給食の意義

（1）児童生徒に栄養のバランスのとれた食事を提供することにより児童生徒の健康の増進、体位の向上を図り、又、これらを通して日常における正しい食習慣を身につける。

（2）事前の準備、後片づけを通して児童生徒は大きな生活体験をもち、共同生活の基本的態度を身につける。

（3）食事を共にすることにより、教師と児童生徒、児童生徒相互の心のふれ合いの場を作り、好ましい人間関係の育成を図る。

2　学校給食の運営等

各調理場の施設・設備の修繕、改善、更新等を適宜に行うとともに、安全で新鮮な物資の納入に努めた。

また、学校給食会理事会、学校栄養職員会及び各専門部会を開催し、円滑な学校給食の運営を図った。

学校給食センター及び高津共同調理場を対象とした共同調理場運営委員会を開催し、共同調理場の円滑な運営を図った。

3　学校給食の充実等

地元の食材を使った郷土料理などの実施やより身近に実感を持って地域の産業、文化等の理解を深めることのできる地元農産物等の利用に努めた。

中学校給食の選択率は、令和元年度94.27％と前年度に比べ0.26ポイント減少した。

4　主な行事等

（1）学校給食研修会

○　日　時　　令和元年７月24日（水）市民文化センター

○　内　容　　サラヤ株式会社四国営業所食品衛生サポートインストラクター

「学校給食における衛生管理及び食中毒対策について」

（2）新規給食献立調理実習試食会

令和元年８月22日（木）泉川公民館

（3）衛生管理研修会

令和元年11月29日（金）学校給食センター

5　給食の状況

（1）実施状況　　（令和元年度）

区　　分	完　全　給　食		給 食 未 実 施		備　　考
小　学　校	15校	6,278人	1校	4人	別子小学校未実施
中　学　校	10校	2,987人	2校	２６人	ひびき分校未実施 別子中学校未実施
計	25校	9,265人	3校	３０人	

（ひびき分校は児童自立支援施設につき別途実施）

（別子小学校、別子中学校は寮給食のため未実施）

（2）一食当たり単価（完全給食）　　（単位：円）

区　　分	平成２年～	平成６年～	平成21年９月～	令和元年～
小　学　校	200	220	240	260
中　学　校	220	260	280	300

スポーツ振興課の主な施策と実績

1　市民体育・スポーツの振興

（1）新居浜市における生涯スポーツの両輪ともいえる新居浜市スポーツ協会(競技スポーツ)と新居浜市連合体育振興会(社会体育)との連携と協力体制の確立に努め、市民体育の振興を図ってきた。各々の団体においても、組織の充実を図るとともに、連携・協力することによって、社会体育の一大事業である「第50回市民体育祭」を成功させることができた。

（2）新居浜市の少年スポーツ指導者ならびに新居浜市教育委員会が委嘱している新居浜市スポーツ推進委員及び地区体育振興会に配置している新居浜市校区スポーツ普及員に対して、講習会・研修会を実施し、各指導者の資質・指導力の向上と後継者の発掘に努め、社会体育指導者制度の確立と充実を図った。また、各指導者団体独自の研修会を開催し、資質の向上に努めた。

（3）「生涯スポーツ」の普及振興のため、「新居浜市スポーツ推進計画」に基づく、各種目競技大会支援及び地区における、スポーツ・レクリエーション行事の開催のための企画・プログラムの提供や、運営・指導の促進のための資料提供と広報活動に努めた。

（4）少年期のスポーツ活動の推進のため、研修会の開催による指導者の資質の向上を図り、スポーツ大会の開催による競技力の向上に努めた。また、高校運動部活動への支援など各種スポーツの競技力の向上を図った。

（5）新居浜市(愛媛県・四国四県)の代表として、各種目競技の全国大会などへ出場する選手等の支援として、出場選手派遣費の一部補助を行い、全国的に「新居浜」の知名度向上に努めた。

（6）「あかがねマラソン」を開催し、スポーツに親しむ、楽しむ機会の創出と、県外などからの参加者を得ることによる地域経済活性化にも寄与した。

（7）2020東京オリンピックに向けて、サウジアラビア王国ウエイトリフティングチームの事前合宿誘致に取り組むとともに、聖火リレーの準備に取り組んだ。

2　市民体育振興事業

日程	事業名	場所	参加人数
4月7日(日)	市民歩け歩け大会	マリンパーク新居浜～黒島海浜公園	225人
9月7日(土)～12月15日(日)	市民体育祭	各会場	5,266人
12月8日(日)	あかがねマラソン	山根公園周辺	1,581人

3　競技力向上事業

日程	事業名	場所	参加人数
4月28日(日)	第48回近県ソフトテニス新居浜大会	市民テニスコート他	400人
5月12日(日)	第39回全国招待少年剣道大会	市民体育館	1,300人
7月27日(土)～11月2日(土)	少年スポーツ大会	各会場	1,025人
11月　3日(日)	市内駅伝競走大会	東雲競技場発着	500人

4　講習会・研修会事業

少年スポーツ指導者研修会

4月17日(水)、5月14日(火)、6月5日(水)、6月6日(木)、6月11日(火)、6月12日(水)、7月4日(木)、2月21日(金)

延べ8回　延べ519名

体力つくり指導者講習会

5月22日(水)、6月19日(水)、7月5日(金)、8月21日(水)、9月11日(水)

延べ5回　延べ261名

5　野外活動施設整備と運営

ハイキングコース等の維持管理

新居浜市指定のハイキングコース及び登山道については、登山者が安全に登山できるよう維持管理を行った。

6　体育施設の充実

体育施設の充実を図るために、山根公園屋内プールの改修を行うとともに、避難所として機能の充実を図るため市民体育館へ空調設備を整備し、大規模改修に取り組んだ。また、(公財)新居浜市文化体育振興事業団及び別子山企業組合を指定管理者とし、体育施設の管理運営や文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、体育の振興に努めた。

7　体育施設建設基金

令和２年３月 31 日現在の体育施設建設基金積立金額　696,333,942 円

8　総合型地域スポーツクラブ設立

総合型地域スポーツクラブとして、平成 20 年６月に金子地域文化スポーツクラブ、平成 26 年２月に楽ＳＰＯ船木の２クラブを設立し、活動を行っている。

9　体育施設年度別利用状況

（単位：人）

施設名＼年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
市民体育館	99,922	101,189	36,736
山根総合体育館	62,289	62,879	70,922
多喜浜体育館	16,818	19,209	23,141
東雲市民プール	45,943	44,058	37,176
山根公園屋内プール	26,911	27,127	20,255
別子山市民プール	372	204	404
市営野球場	28,431	16,167	10,579
武徳殿	29,100	29,600	26,350
弓道場	4,400	4,700	4,400
重量挙練習場	10,630	10,200	7,783
文化振興会館	14,894	13,869	15,179
山根市民グラウンド	82,758	70,198	96,031
別子山市民グラウンド	195	149	465
市民テニスコート	46,597	35,608	35,810
山根公園テニスコート	37,318	38,747	37,020
東雲競技場	27,745	24,539	24,139
市営サッカー場	39,661	34,385	28,149
合計	573,984	532,828	474,539

10　令和元年度　体育施設月別利用状況

施設名／月	市　民 体育館	東雲市民 プ ー ル	市　民 テニスコート	山根公園 テニスコート	山根公園 屋内プール	山根市民 グラウンド	山根総合 体育館	市　営 野球場	東　雲 競技場
4	9, 269	0	3, 715	3, 307	1, 607	26, 145	7, 570	955	1, 582
5	9, 519	0	4, 200	3, 630	2, 225	3, 221	5, 302	2, 302	2, 042
6	9, 424	3, 271	3, 311	3, 162	3, 183	4, 550	4, 738	1, 049	1, 717
7	8, 524	13, 932	3, 613	3, 263	3, 579	1, 927	5, 399	741	1, 651
8	0	19, 973	3, 530	3, 319	3, 400	2, 790	5, 296	1, 250	1, 286
9	0	0	3, 351	3, 355	2, 579	4, 295	6, 630	1, 035	1, 111
10	0	0	2, 773	3, 224	1, 817	37, 562	7, 255	1, 325	2, 443
11	0	0	2, 476	2, 975	1, 865	3, 186	5, 475	733	3, 668
12	0	0	2, 397	2, 745	0	6, 425	7, 361	616	2, 055
1	0	0	2, 419	2, 726	0	2, 070	5, 382	220	3, 689
2	0	0	2, 364	2, 585	0	2, 035	5, 852	163	2, 399
3	0	0	1, 661	2, 729	0	1, 825	4, 662	190	496
小　計	36, 736	37, 176	35, 810	37, 020	20, 255	96, 031	70, 922	10, 579	24, 139

（山根市民グラウンドは、公式大会参加者のみ）

第３回あかがねマラソン



新居浜市民体育祭第５０回記念大会事業
福西崇史 サッカークリニック



（単位：人）

武徳殿	弓道場	重量挙練習場	市　営サッカー場	多喜浜体育館	別子山市民グラウンド	別子山市民プール	文　化振興会館	計
2,500	400	800	0	1,565	0	0	2,418	61,833
2,700	350	700	925	1,581	10	0	1,084	39,791
2,300	350	1,345	4,350	1,825	20	0	1,132	45,727
2,600	400	571	3,290	1,686	85	207	2,352	53,820
2,300	350	985	3,790	2,150	200	197	675	51,491
2,500	350	682	2,990	2,271	150	0	1,291	32,590
2,700	450	254	2,955	2,167	0	0	1,226	66,151
1,500	450	405	2,353	2,053	0	0	1,793	28,932
2,400	350	426	3,906	1,948	0	0	788	31,417
2,500	350	478	1,832	1,994	0	0	1,382	25,042
2,300	300	714	1,758	1,933	0	0	1,013	23,416
50	300	423	0	1,968	0	0	25	14,329
26,350	4,400	7,783	28,149	23,141	465	404	15,179	474,539

新居浜市重量挙練習場完成記念
「オリンピアン交流事業」公開練習会



パナソニックバレーボール教室



文化振興課の主な施策と実績

1　芸術文化活動

地域の芸術文化の水準向上と、すそ野の拡大を課題とし、市民の自由な芸術・文化活動の促進を図るため新居浜文化協会を中心にして春の市民文化祭、秋の芸術祭、市美術展を開催するなど、地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図った。

また、市内の小中学生に学校施設において優れた芸術に触れる機会を提供する「芸術文化プログラム」を行うとともに、写生を通してふるさと新居浜に愛着と誇りをもってもらうため「こどもふるさと写生大会」を実施した。

2　文化財・郷土資料の保存活用

郷土に残された優れた文化財に対する正しい理解と認識を深め、その保存活用を図るための調査、文化財めぐり等を実施した。「銅山峰のツガザクラ群落」が国天然記念物に指定されたのを記念し、あかがねミュージアムにおいて「ここにしか咲かない花　銅山峰のツガザクラ展」と題した企画展を開催。赤石山系の自然とツガザクラ保護活動の歩みを紹介し、自然保護意識の啓発に努めた。また、郷土資料室「ふるさとラボ」において、文化庁の協力を得て「記念物１００年展」を開催。全国の史跡名勝天然記念物についてのパネル展を開催した。

市指定天然記念物「アッケシソウ」保存保護事業補助、市指定史跡「久貢屋敷」保全事業補助

文化財めぐりの実施　39名　広島県福山市（日本遺産　鞆の浦と福山城）

3　文化施設の充実

文化施設の充実を図るために、市民文化センター本館空調設備改修工事及び市民文化センター中ホール照明バトン設備改修工事、また、アセットマネジメント工事として、市民文化センター本館屋上防水改修工事を行った。また、(公財)新居浜市文化体育振興事業団を指定管理者とし、文化施設の管理運営や文化に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、文化の振興に努めた。

4　文化振興基金

令和２年３月31日現在の文化振興基金積立金額　821,542,721円

5　(公財)新居浜市文化体育振興事業団

新居浜市の文化及び体育施設の管理運営を受託するとともに、文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進及び効率的な管理運営を図り、もって文化及び体育の振興に寄与することを目的に、昭和61年８月１日に設立され、平成18年４月からは各施設の指定管理者となっている。平成26年１月６日、公益財団法人に認可された。

○　所在地　　繁本町８番65号
○　ＴＥＬ　　33－2180
○　組　　織　　理事９人、監事２人、評議員９人
○　事業内容　（１）文化体育施設の指定管理

市民文化センター、市民体育館、山根総合体育館、多喜浜体育館、市営野球場、山根市民グラウンド、市民テニスコート、山根公園テニスコート、東雲市民プール、山根公園屋内プール、武徳殿、弓道場、重量挙練習場、東雲競技場、市営サッカー場、文化振興会館、山根公園、新居浜公園、女性総合センター

（２）文化事業の企画及び実施に関すること

健康食の料理教室、演劇鑑賞教室、市民茶会、市民芸術公演事業、美術実技講習会ほか５教室

（３）体育事業の企画及び実施に関すること

市民軽スポーツ大会（４種目）、小学生野球教室、バトミントン教室（女性）、水中ウォーキング教室ほか15教室

（４）女性センター事業の企画及び実施に関すること
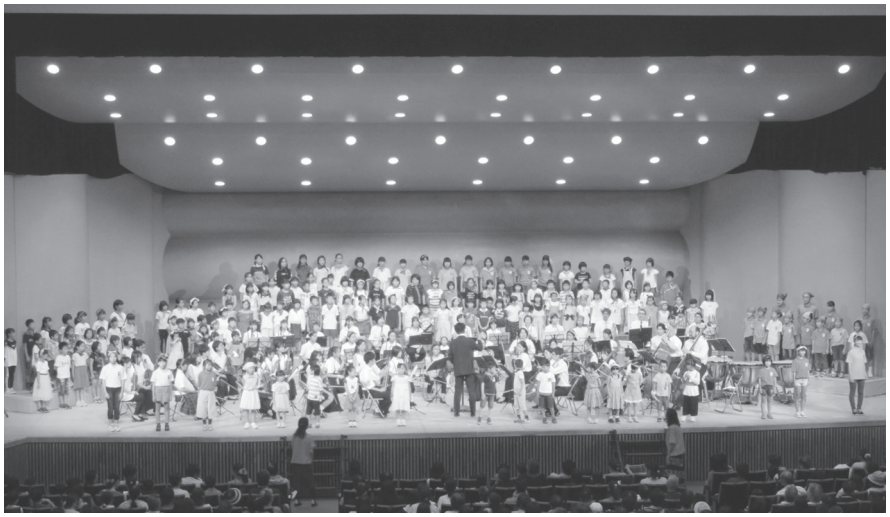
1）再就職支援事業　　10講座
2）社会参加促進事業　４講座
3）生活・教養事業　　８講座
4）子育て支援事業　　５講座
5）健康増進事業　　７講座

6　文化施設年度別利用状況

（単位：人）

施設名＼年度・項目		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		回 数(回)	利用者数	回 数(回)	利用者数	回 数(回)	利用者数
市民文化センター	大ホール	310	73,902	312	54,933	249	42,848
	中ホール	290	34,613	260	30,950	235	27,870
	別館　会議室等	3,631	62,609	3,096	55,686	2,944	50,711
小　　計		4,231	171,124	3,668	141,569	3,428	121,429
ふ　る　さ　と　館			2,252		1,729		1,421
合　　計		4,231	173,376	3,668	143,298	3,428	122,850

音楽の贈り物「瀬戸フィルふれあいコンサート」



7　令和元年度　月別利用状況（市民文化センター・ふるさと館）

施設名／月	大ホール	大・ロビー	中ホール	大会議室	中会議室	小会議室	和 室
4	3,963	0	1,490	1,195	2,387	453	40
	(22)	(0)	(23)	(18)	(103)	(45)	(8)
5	2,221	0	3,830	752	2,265	478	28
	(18)	(0)	(21)	(17)	(123)	(60)	(16)
6	3,124	0	1,690	1,114	3,228	498	25
	(19)	(0)	(21)	(21)	(135)	(61)	(14)
7	6,402	0	3,335	971	1,505	426	34
	(33)	(0)	(32)	(24)	(148)	(62)	(24)
8	5,472	0	2,530	1,317	2,256	410	36
	(28)	(0)	(19)	(28)	(142)	(46)	(24)
9	2,122	16	3,250	990	1,809	416	45
	(22)	(3)	(18)	(19)	(102)	(51)	(12)
10	3,459	0	3,155	695	2,372	540	20
	(28)	(0)	(25)	(12)	(103)	(52)	(8)
11	7,623	17	1,986	550	1,962	401	50
	(25)	(3)	(25)	(20)	(139)	(59)	(28)
12	4,436	0	1,846	570	1,639	429	20
	(20)	(0)	(17)	(14)	(73)	(41)	(8)
1	1,645	0	1,995	560	1,926	374	25
	(16)	(0)	(21)	(16)	(112)	(50)	(14)
2	2,311	35	2,763	400	1,661	428	27
	(15)	(3)	(13)	(11)	(93)	(44)	(12)
3	70	0	0	120	195	121	10
	(3)	(0)	(0)	(2)	(11)	(16)	(2)
累計	42,848	68	27,870	9,234	23,205	4,974	360
	(249)	(9)	(235)	(202)	(1,284)	(587)	(170)

上段：人数

下段：回数

視聴覚教室	料理教室	茶華教室	展示室	プラネタリウム	ふるさと館	月 計	累 計
1,170	75	7	292	0	91	11,163	11,163
(20)	(4)	(2)	(20)	(0)		(265)	(265)
1,100	34	122	225	0	103	11,158	22,321
(20)	(7)	(12)	(22)	(0)		(316)	(581)
870	135	50	147	289	84	11,254	33,575
(19)	(9)	(7)	(17)	(31)		(354)	(935)
962	42	22	101	198	160	14,158	47,733
(23)	(9)	(9)	(19)	(30)		(413)	(1,348)
1,035	20	120	143	276	148	13,763	61,496
(23)	(12)	(13)	(20)	(51)		(406)	(1,754)
840	31	78	147	0	190	9,934	71,430
(17)	(6)	(7)	(18)	(0)		(275)	(2,029)
430	30	17	210	0	155	11,083	82,513
(11)	(3)	(4)	(20)	(0)		(266)	(2,295)
690	110	7	121	0	185	13,702	96,215
(25)	(17)	(11)	(23)	(0)		(375)	(2,670)
450	45	0	118	0	119	9,672	105,887
(10)	(4)	(2)	(15)	(0)		(204)	(2,874)
740	20	67	172	0	68	7,592	113,479
(18)	(5)	(6)	(19)	(0)		(277)	(3,151)
720	50	7	156	0	88	8,646	122,125
(17)	(7)	(5)	(20)	(0)		(240)	(3,391)
160	0	27	60	0	30	793	122,918
(4)	(0)	(2)	(6)	(0)		(46)	(3,437)
9,167	592	524	1,892	763	1,421	122,918	122,918
(207)	(83)	(80)	(219)	(112)		(3,437)	(3,437)

広瀬歴史記念館の主な施策と実績

1　展示内容等

（１）展示館の内容

広瀬宰平の一生を、テーマごとに映像や実物資料、パネルを用いて紹介する。別子銅山の経営維持に奔走し、採鉱・精錬・陸運の近代化を推進するなど、わが国の殖産興業に尽力した宰平の姿をみることができる。

（２）旧広瀬邸（国指定重要文化財・国指定名勝）の内容

母屋は明治 10 年建築、明治 20 年に現在地に移築、新座敷と内庭は明治 22 年に建築・造園された。伝統的な日本建築様式を持ちながらも、開国により西洋から輸入されたマントルピース、洋式便器、板ガラス、避雷針といった新しい文化が取り入れられており、そのふたつが見事に調和している。庭園は、内庭（迎賓空間）、亀池（祝祭空間）、南庭（顕彰空間）からなり、庭園文化の発展をよく示している。

2　資料の収集状況

広瀬家所蔵品、古文書など約 3,740 点（平成３年５月７日現調）

3　令和元年度事業実績

（１）特別企画展

ア　令和元年度特別企画展「別子銅山が育んだ社宅街Ⅱ　住友山田社宅～鷲尾が夢見た理想の郊外住宅～」

○　期　日　　令和元年 11 月２日（土）～12 月１日（日）

イ　記念講演会「住友山田社宅の歴史的意義」

○　期　日　　令和元年 11 月９日（土）

○　講　師　　末岡照啓（住友史料館副館長・新居浜市広瀬歴史記念館特別顧問）

（２）第 13 回台所喫茶店「広瀬と音楽Ⅱ」

○　期　日　　令和元年 11 月２日（土）、３日（日）

4　令和元年度月別観覧者内訳

年　月	開館日数	観覧人数（人）						
		一般				小　計 ①	中学生以下②※	人数（①＋②）
		個人	個人減額	団体	免除			
平成31年４月	25	549	76	176	153	954	125	1,079
令和元年５月	27	559	40	403	298	1,300	156	1,456
６月	26	341	34	312	142	829	201	1,030
７月	25	295	11	88	167	561	36	597
８月	27	297	33	67	55	452	78	530
９月	23	320	15	141	49	525	33	558
10 月	25	442	19	251	327	1,039	144	1,183
11 月	26	631	62	264	1,376	2,333	133	2,466
12 月	24	194	11	0	62	267	131	398
令和２年１月	23	145	8	0	199	352	36	388
２月	24	130	5	0	25	160	136	296
３月	22	237	13	0	25	275	26	301
計	297	4,140	327	1,702	2,878	9,047	1,235	10,282

※令和元年 10 月以降、18 歳未満の者及び大学生等を含む。

総合文化施設（あかがねミュージアム）の主な施策と実績

1　月別入館者数

	平成 30 年度	令和元年度
４月	13,298	12,636
５月	15,899	18,486
６月	12,990	20,369
７月	18,715	17,979
８月	33,843	21,799
９月	16,181	13,615
10 月	14,421	17,714
11 月	22,231	20,848
12 月	14,030	22,434
１月	13,733	36,138
２月	14,469	17,629
３月	15,939	4,801
計	205,749	224,448

にいはまＳＤＧｓアート･フェスティバル 2019 表彰式



平山郁夫シルクロードコレクション　バス見学



2　令和元年度　美術館展覧会開催実績

展覧会名	会期	入場者数（人）
第 52 回にいはま春の市民文化祭　美術の部	４月 13 日(土)～４月 21 日(日)	2,468
没後 10 年　平山郁夫シルクロードコレクション展	４月 27 日(土)～６月 16 日(日)	11,370
新居浜の郷土作家シリーズⅡ 石村嘉成展	６月 29 日(土)～８月 18 日(日)	20,635
新居浜の美術　コレクション展示　第Ⅰ期 特集展示：せいぼうさんの書と彫刻	６月 29 日(土)～８月 18 日(日)	7,905
にいはま SDGs アート・フェスティバル 2019	８月 24 日(土)～10 月 18 日(金)	4,763
新居浜の美術　コレクション展示　第Ⅱ期 特集展示：北代省三の写真	８月 24 日(土)～10 月 18 日(金)	3,020
第 69 回　新居浜市美術展覧会	10 月 25 日(金)～11 月　３日(日)	3,403
第 68 回　愛媛県展新居浜移動展	11 月 13 日(水)～11 月 24 日(日)	3,224
テレビ愛媛開局 50 周年記念･ハートネットワーク開局 30 周年記念　木梨憲武展　Timing～瞬間の光り～	12 月　７日(土)～１月 19 日(日)	33,474
新居浜の美術　コレクション展示　第Ⅲ期 2018 年度 新収蔵品公開	１月 25 日(土) ～３月１日(日)	2,734
第 44 回　東予地区高等学校美術・工芸、書道展	１月 25 日(土)～２月 11 日(火)	7,526
第 47 回　えひめこども美術展　西条地区展(巡回展)	２月 13 日(木)～２月 16 日(日)	8,000
第 39 回　新居浜こども美術展	２月 19 日(水)～３月　１日(日)	8,000

3　令和元年度の主なイベント

（1）　太鼓台展示

6月　2日（日）～10 月　5日（土）　　町太鼓台
10 月 13 日（日）～11 月 10 日（日）　(旧)大江太鼓台
11 月 10 日（日）～　2月 23 日（日）　東田太鼓台
2月 23 日（日）～　　又野太鼓台

ミュージアムボランティアによる展示ガイド



（2）展覧会関連イベント

4 月 27 日(土)～ 6 月 16 日(日)	没後 10 年 平山郁夫シルクロードコレクション展	オープニングセレモニー オープニングトーク 座談会 学芸員によるギャラリートーク
6 月 29 日(土)～ 8 月 18 日(日)	新居浜の郷土作家シリーズⅡ 石村嘉成展 生き物たちも一生懸命	開会式 作家によるギャラリートーク 公開制作 版画ワークショップ「生き物の版画をつくろう！」
6 月 29 日(土)～ 8 月 18 日(日)	新居浜の美術 コレクション展示 第Ⅰ期　せいぼうさんの書と彫刻	担当学芸員によるギャラリートーク
8 月 24 日(土)～ 10 月 18 日(金)	にいはまＳＤＧｓアート･フェスティバル 2019～美術館から発信するＥＳＤ～	受賞者表彰式 講演会 海外受賞者とのテレビ中継 「スフィア」（デジタル地球儀）体験学習イベント
8 月 24 日(土)～ 10 月 18 日(金)	新居浜の美術 コレクション展示 第Ⅱ期　北代省三の写真	ゲストギャラリートーク 担当学芸員によるギャラリートーク
1 月 25 日(土)～ 3 月　1 日(日)	新居浜の美術 コレクション展示 第Ⅲ期 2018 年度 新収蔵品公開	ミュージアムボランティアによる展示ガイド 担当学芸員によるギャラリートーク

（3）ホールイベント

期日	事業名	人数（人）
5月　2日（木）	ドクトペッパズ「うしのし」上演	102
7月 27 日（土）	あかがねジャズフェスティバル 2019	256
8月　3日（土）・4日（日）	おやこで楽しめる公演「妖怪屋敷 de 妖怪ショー!!」	130（2回公演）
8月 11 日（日）・12 日（月）	「にせ桃太郎」公演	624（3回公演）
9月 22 日（日）	和太鼓の魅力を探る	200
11 月 23 日（土）	座・高円寺レパートリー「ピン・ポン」Ping-Pong 公演	152

4　教育普及事業、ワークショップ

2月16日（土）	ミュージアムボランティアによる展示ガイド
4月～3月	あかがね教室シリーズ　9教室（うち子ども対象:3教室）
4月～3月	ぼくたち私たちの青い壁プロジェクト「鉱石を使って絵の具をつくろう」他29件
4月～3月	アート工房での展示　18団体

5　新居浜市美術品購入基金

令和2年3月31日現在の残高　112,563,973円（美術品66,600,000円　　現金45,963,973円）

図書館の主な施策と実績

1　図書館の利用状況

（1）貸出図書　　（H31．4．1～R 2．3．31）

開館日数 291 日

ア　本　館　　（単位：冊）

分類／区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出点数	6,617	10,977	26,820	21,673	36,259	41,627	9,791	42,917	3,656	189,827	5,674	106,030	246	31,570	533,684

イ　移動図書館　　（単位：冊）

分類／区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出点数	832	804	2,120	877	3,103	3,867	790	7,363	164	14,804	521	9,709	7	212	45,173

ウ　角野分館　　（単位：冊）

分類／区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出点数	702	1,128	3,162	1,897	4,195	4,574	663	5,111	449	21,161	421	11,900	32	2,667	58,062

エ　合　計　　（単位：冊）

分類／区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出点数	8,151	12,909	32,102	24,447	43,557	50,068	11,244	55,391	4,269	225,792	6,616	127,639	285	34,449	636,919

オ　ＡＶ資料

	館　内	館　外	計
Ｃ　Ｔ（本）（カセットテープ）		0	0
Ｖ　Ｔ（本）（ビデオテープ）	18	41	59
Ｃ　Ｄ（枚）		11,209	11,209
ＤＶＤ（枚）	887	16,874	17,761
計	905	28,124	29,029

（2）登録者数　　（単位：人）

区　分	児　童（小学生以下）	一　般（中学生以上）	団　体	計
登　録　者	9,156	56,374	247	65,777

（3）団体貸出

市内の幼稚園、学校、福祉施設、読書会等に貸出をしている。

貸出冊数 100 冊以内、貸出期間は４週間。

令和元年度貸出冊数　20,110 冊

（４）心身障害者に対する図書退出

市内に在住する心身障害者（身体障害者の場合は１級～３級の手帳を有する者）が、貸出希望を申し出た場合、郵送による貸出及び連絡車による配送を実施している。（郵送に要する費用は図書館が負担している。）

貸出冊数５冊以内、貸出期間は 30 日間。

（５）開架図書冊数　（Ｒ２．３.31 現在）

（単位：冊）

区分／館別	一　般	児　童	計
本　館	115,790	34,886	150,676
移動図書館	3,629	7,100	10,729
角野分館	9,163	9,177	18,340
計	128,582	51,163	179,745

（６）　リクエスト　（H31．４．１～Ｒ２．３.31）

（単位：件）

区分／館別	窓　口	館内ＯＰＡＣ	ＷｅｂＯＰＡＣ	携帯ＯＰＡＣ	リクエスト	合　計
本　館	4,680	2,813	21,926	7	1,490	30,916
移動図書館	19					19
角野分館	977	192			81	1,250
計	5,676	3,005	21,926	7	1,571	32,185

（７）相互貸借

予約された資料などが自館で手に入らない場合、他館から借用することがある。

（国立国会図書館総合目録ネットワークに参加）

（H31．４．１～Ｒ２．３.31）

（単位：件）

借　受		貸　出	
県内図書館	県外図書館	県内図書館	県外図書館
244	42	203	23

２　主な事業

（１）図書館運営における市民サポーター制度の推進強化

図書館サポーターとの協働による図書館支援の強化を図るとともに活動の情報発信に取り組み、サポーター登録者の拡大を図る。

登録数　個人 12 名　団体３団体

活動内容　書架整理、館内外美化環境整備、イベントの補助、読み聞かせ等

（２）読書活動の推進と機会の提供、生涯学習の支援

市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会・場所の提供に努める。

・「子ども読書通帳マラソン」

平成 31 年４月 20 日から令和元年８月 18 日まで子ども読書通帳マラソンを実施し、上位者を表彰。期間中参加者 120 名のうち各部門上位３名計 15 名表彰。最高冊数は 1270 冊（幼児部門）令和元年８月 24 日（土）

表彰式

・図書館まつり

令和元年 11 月 24 日（日）9:00～17:00

日頃、図書館を支えてくれる市民の皆さんに感謝し、楽しんでもらうため開催

「ブックリサイクル」　9:00～

図書館での役割を終えた本や雑誌、市民からの寄贈本（重複及び図書館において資料的価値のないもの）約 13,200 冊を市民に無償で提供した。（来場者約 500 人/開場 20 分のカウント）

「おはなし会」9:30～10:15 子ども向けおはなし会（協力：回転木馬）（参加者 38 名）

「図書館見学」13:00～13:30 図書館の概要、書庫、郷土資料室等施設の見学。（参加者９名）

「詩のワークショップ」テーマ『だれでも　いつでも　どこでも　詩人』講師　すぎもとれいこ氏　14:00～16:00（参加者 42 名）

・定例おはなし会

本館　　毎月第１木曜日（乳幼児０～３歳対象）、第２・４水曜日（幼児対象）、第３土曜日（小学生対象）

角野分館　毎月第１・３水曜日（幼児対象）

紙芝居 、絵本の読みきかせ、パネルシアター、エプロンシアター、ストーリーテリング等を行う。

協力（ボランティア）回転木馬､民話の里すみの

（参加者　子ども 973 名、 大人 664 名）※新型コロナウイルス感染防止のため 3 月のおはなし会は中止

（３）関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進

市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、学校や学校図書館、病院や福祉施設、地域企業との連携を強化する。

・ブックスタート事業

毎月 2 回開催される、保健センターの５か月児健康相談（対象 740 名）において司書が説明の言葉を添えて絵本等の入ったブックスタートパックを手渡す。（737 名　配布率 99.6%）

※新型コロナウイルス感染予防のため３月の健康相談は延期

・健康支援

市民の多様な健康情報へのニーズにこたえるため、医療機関と連携して健康講座（２回）を行い、所蔵する健康関係の図書リストを作成し、配布。（健康支援図書コーナーも設置）

第 35 回「認知症予防について～リハレクしましょう～」令和元年６月６日（木）　（参加者 30 名）

第 36 回「ロコモを知って、伸ばそう健康寿命～寝たきりを防ぎ、元気に歩く為に～」令和元年 12 月５日（木）（参加者 26 名）

・がん情報ギフトコーナー設置

・ロビー展

「ピンクシャツデーを日本に広めましょう！」「からだの健康は、お口から！」「第 61 回水道週間」等　計 18 回

・出前講座

放課後児童クラブ、保育園、高齢者福祉施設等へ出かけ「お話会」等を行い、本やお話に親しんでもらい、図書館のＰＲも行う。 計 23 回　（参加者子ども 643 名、大人 212 名）

・図書館ネットワーク

・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスによる資料提供

・愛媛県立図書館図書の遠隔地返却サービス協力

・学校及び学校図書館との連携

子どもの読書活動・学習活動を推進していくため、学校や学校図書館との連携を行う。

団体貸出、図書館見学・職場体験の受入、図書購入時や調べ学習の図書リストの作成・情報提供、リサイクル図書等の活用

・雑誌スポンサー制度の実施　平成 24 年７月１日より開始

「雑誌スポンサー制度」とは、雑誌そのものを寄贈してもらうのではなく、雑誌の購入代金を負担してもらう制度。雑誌は、図書館の中でも回転率の高い資料で、多くの人が毎日利用しているので、高い広告価値がある。（雑誌 197 タイトル中 25 タイトル）

・雑誌スポンサータイアップセミナー

雑誌スポンサー（登録 17 団体）の中から協力いただける事業者に専門分野での講座を開催していただくとともに、図書館は所蔵する関連図書のリストを作成、配布。

「知らないと損をする！定年前後のお金のはなし」「キッズ・マネーセミナー」「ココロとカラダの健康セミナー」等（４団体　12 講座開催）

（４）図書館ＰＲ活動の充実

図書館の活動を市民によく知ってもらい、図書館の利用促進につなげるため、PR 活動の改善を図る。

・夏休みは図書館へいこう！

第１弾「夏休み子ども図書館探検！＆おもしろ科学実験！」令和元年７月 25 日（木）

図書館見学・返却体験 9:30～10:00　おもしろ科学実験 10:00～12:00

書庫等の見学、本が書架にならぶまでのしくみや便利な図書館サービスの紹介。

各班で水について実験をし、ミニミニボートとマーベリングストラップを作成。（参加者小学生 32 名）

第２弾「夏の夜のちょっと怖いお話会＆夜の図書館たんけん」令和元年８月２日（金）

子どもと大人対象の怖いお話と語り 19:15～20:00（参加者子ども 56 名、大人 62 名）

夜の図書館探検 20:00～20:30（参加者子ども 37 名）

第３弾「ちょっぴり体験！図書館員」令和元年８月８日（木）10:00～12:20

ブックスタンド作成 10:00～10:20　本のカバー掛け 10:30～11:20　POP の作成 11:30～12:20

（参加者小学生 14 名）

・シン“我楽多講座”

第９回「手塚治虫のビック・コミック～僕たちは、大人になってもマンガを読みたい～」令和元年６月 23 日（日）（参加者 17 名）

第 10 回「続・日本人が愛した洋楽たち～２７位からでも楽しめる！洋楽売上ランキング」令和元年８月 25 日（日）（参加者 20 名）

第 11 回「続々・日本人が愛した洋楽たち～いったい何位から開始できるのか？」令和元年 10 月 20 日（日）（参加者 12 名）

第 12 回「映画音楽を振り返ってみようか　その１」令和元年 12 月８日（日）（参加者９名）

第 13 回「グラミー賞の歴史半世紀　その１」令和２年２月９日（日）（参加者 12 名）

（５）地域資料の保存と情報発信、ふるさと学習の推進

郷土の歴史や文化を次世代に継承するために、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。

・愛媛新聞公開データベースの閲覧

・別子銅山コーナー・住友関連コーナー等の充実

・別子銅山に関する本の解説講座「別子銅山を読む」

あかがねの町新居浜市を紐解く別子銅山に関する本の解説講座。

第１回「雑誌『遠鳴』の昔話」令和元年５月 19 日（日）（参加者大人 38 名）

第２回「『紙碑』の別子銅山時代」令和元年７月７日（日）（参加者大人 44 名）

第３回「江戸のオランダ人」令和元年９月 22 日（日）（参加者大人 50 名）

第４回「宰平の漢詩」令和元年 11 月 17 日（日）（参加者大人 46 名）

第５回「益友を読む」令和２年１月 19 日（日）（参加者大人 53 名）

ちょっぴり体験！図書館員



「詩のワークショップ」

『だれでも　いつでも　どこでも　詩人』



新 居 浜 市 の 教 育

令和２年度版

令和２年7月発行

編集
発行　新居浜市教育委員会

〒792－8585
新居浜市一宮町一丁目５番１号
TEL（0897）65－1300
FAX（0897）65－1306